滿洲日報

調査委員執政府に於て 滿洲國元首とけふ會見

あすは熙洽、丁鑑修氏とも談ず ハルビン行は八、九日ごろか

國際聯盟調査委員は五日午前十一時より執政府において滿洲國元首溥儀氏と會見する事に決定した、なほ調査委員はこれに先だち午前九時半より關東軍參謀長橋本少將と會見北滿を中心とした軍事上の事について事情を聽取するほか午後は二時三十分より滿洲、蒙古青年聯盟の陳情を受け、また四時より滿洲國實業家代表の陳情を聽く筈で、六日は財政部總長熙洽氏、及び交通部總長丁鑑修氏と會見、七日は吉林行の豫定である、ハルビンに向ふのは八日或は九日となる模樣である【長春電話】

滿洲國要人と會見毎に 親睦の度增す委員連

調査委員は新京滯在中溥儀執政をはじめ滿洲國要路大官とは殆ど全部と會見する事となつたが既に謝外交部總長鄭國務總理との會見において滿洲國の發生原因又歷史的過程及び施政方針なども詳細に聽取しそのほか滿洲國民間よりの陳情も聽取の結果委員が滿洲國に對する認識を強める事は疑ひのない事實で調査の實際に當る某有力隨員も四日、舊軍閥によつて誅求せられたる悲慘なる農民の怨嗟の訴へを聞いて『成る程これは非道い舊軍閥の惡政だ』と洩したる事實あり、一方滿洲國要路との會見の度重なるに從ひ調査委員の對滿洲國政府との感情は頗る親睦の度を增して來た【長春電話】

調査委員きのふ午後 滿洲國鄭總理を訪問 建國並に內政實情聽取

調査委員は四日午後二時より國務院に鄭國務總理を訪問した、委員側は五委員ほかにハース事務長、吉田大使、渡大佐、鹽崎書記官を同伴し、滿洲國側では國務總理鄭孝胥氏、國務總理秘書鄭垂氏、駒井總務司長が出迎へ秘書長室に迎へて會見、鄭國務總理とリットン委員長との間に膝つき合はせて滿洲國成立以後の內政の諸事情につき特に滿洲國發生の歷史的事實にまで亘り和氣藹々裡に會談し約一時間半の後三時四十分委員は鄭垂一秘書長等に送られ引揚げた【長春電話】

滿洲國の施政方針 鄭總理、調査委員に說く

鄭總理は當日の會見において新國家成立の歷史並に建國式以來の滿洲國の內政について說明し鄭國務總理は將來の滿洲國の施政方針は自分が二十年間の體驗によつて民國政治の惡政をよく知つてゐるからその反對のやり方によつて善政を施したいと述べた、リットン委員長は總理の話を默つて頷いてゐたが新政府成立前の東北行政委員會といふものは人民の意思によつて成つたものか又は他の意思によつて出來たものかと質問を發したに對し、總理は自分は當時滿洲國に居つたものでなく政府が出來てからこの地位に就たので以前のことはその當事者に聞いて貰ひたいと述べた、尙鄭總理より委員に對し「滿洲國建國の歷史的意義」と題するパンフレットを贈呈するところあつた【長春電話】

鄭國務總理談

委員を送り出して後鄭國務總理は語る

會見は懇談的に進みました、自分が旅順からこちらに來て後の滿洲國の政治問題につき種々と話しましたが一般的な話ばかりでありました、委員に對しては極く輕い氣持で會談したが委員等は東洋の政治の理想について誰もまだよく解つてゐないのではないかと思ひます【長春電話】

愈よけふ 萬寶山行

既報の如く調査團隨員アンゼリノ氏は五日午前七時より萬寶山に赴き滿洲事變原因の一つとして日事變前の日支關係の重大資料たる萬寶山事件實地調査に向ふ事となつた、一行は途中まで自動車を使用しあとは乘馬で赴く筈【長春電話】

自治機關代表 委員に陳情

奉天省、吉林省、黑龍江省、ハルビン特別區の四自治機關代表張其昌、林鶴皐、許蘭坡、楊貫三の四氏は四日午後四時半ホテルに調査團を訪問陳情した、委員側よりアンゼリノ氏が會見した、四代表は各地方人民の舊軍閥のため壓迫された過去の苦惱と善政を生む新國家要求の輿論を訴へ約二時間半の長い會見の後七時辭去した【長春電話】

吉林ゆきに顧の 同行を必要とせず

四日滿洲國大橋外交司長と調査團のハース事務局長の二回の會見において顧維鈞入國問題は未だ解決を見ず五日改めて會見し該問題を協議するが調査委員側においては吉林行には必ずしも顧維鈞の同行を必要とせずといつてをり七日迄に解決せざる時には顧維鈞を長春に殘して調査團は吉林に赴くものと見られてゐる【長春電話】

ハルビンの 歡迎準備 警備に最も苦心

【ハルビン四日發】七日聯盟調査團が來着する事となつたので、當地は準備に忙殺されてゐるが一行は十二名の多數のため旅館の割當に困つてゐるが、一流旅館モデルンを始めグランドホテルその他に準備を命じた、尙當日は歡迎委員と新聞通信員以外一切を驛構內に近づけない事としてゐる、何分滿鐵附屬地を離れた土地とて調査員一行の身邊に非常な危險が豫期され、支那街に本部を置く北滿共產黨員執行部は調査員襲擊を計畫してゐる模樣である

けふの調印を控へ 支那文の修正完了せず

【上海四日發】停戰協定最後の草案整理委員會は四日午後三時から開催同五時六分散會したが、未だ支那文の修正完了せず若し五日までに間に合はざる場合は英文のみ先に調印し日支兩文は後廻しになる豫定である

重光公使經過良好

【上海四日發】重光公使の容態は更に好轉し體溫三十七度九、脈搏七八、呼吸二四、食欲も漸增し患部の腫れもやゝひき此儘で經過すれば切斷手術の必要なき旨發表された

調印承認の 支那側回訓到着

【上海四日發】支那側は本日午前イギリス公使ランプソン氏に對し國民政府から停戰協定調印許可の訓令が達した旨通告した、我方は未だ訓令が到着せぬが本日中には到着すると見られ到着すれば明五日朝調印をなすべくランプソン公使は明後六日飛行機で北平に向ふに決定、明日の調印その他の協議のため本日午後三時からイギリス總領事館で起草委員會を開會協議する筈である

矢野參事官 上海へ 公使事務代行

【北平四日發】公使事務代行を命ぜられた矢野參事官は明五日午後四時北平發上海に向ふ事となつた、陸路を取るか否かは未定だが、多分濟南經由青島八日出帆の大連汽船の定期船で上海に赴く事にならう、尙矢野參事官は聯盟調査員が今月末頃再び來平するのでそれまでに一應北平に歸る事になる【寫眞は矢野氏】

協定正文八通 英文六日支文二

【上海三日發】停戰協定の日支文は本日日支間で交換し公使館は政府に請訓した、協定正文は英文六通、日支兩國文二通より成り、英文の分は日支兩國と中立國四國代表に交附し、日支文の分は日支兩國が交換するものである

米建艦案 上院本會議可決

【ワシントン三日發】ワシントン、ロンドン兩條約の許容する最大限度迄海軍を擴張する權限をアメリカ政府に附與せんとする米上院海軍委員長フレデリック・ヘール氏提案の建艦案は二日上院本會議に附議されたが、之が審議の動議は本日表決の結果四十六對二十五票で可決された

顧代表また 日本を誣告 隨員保護に關し

【ジュネーヴ三日發】支那代表顧維鈞は本日聯盟事務局に對し報告書を提出したが、右は南京政府よりの電報に基くものでその內容は左の如し

奉天の日本當局側は聯盟調査委員隨行の支那委員の行動を監視し情報蒐集に對する支那側委員の援助を阻止するため種々なる手段を執つてゐる、かゝる日本側の策略は十二月十日附聯盟決議案第五項に反するものなりとし、電報の要旨なりとして左の如き報告をしてゐる

支那側參與員一行は只一回新聞記者と會見することが出來たのみで、その宿舍の周りは刑事によつて包圍され、六、七名の刑事は常に支那委員の行動を監視し、刑事は支那委員の寢室にまで侵入しその談話に干涉し支那側委員への訪問者は阻止され、その內には續いて訪問せんとして捕へられた者も有る、支那側の一速記者はその寢室內に日本人の居るのを發見し入口に逃れたところ數名の日本人が待構へてゐたゝめ遂に大聲で救ひを求めたので日本人は逃走した、調査員一行と雖も監視から自由とはいへない

日米主張對立

航空母艦と潜水艦問題

【ジュネーヴ三日發】本日午前開かれた軍縮會議海軍委員會においてアメリカ代表スワンソン氏は航空母艦は潜水艦と戰ふための防禦的性質を有するものであると主張して極力航空母艦について航空母艦のみ全廢又は縮減しこれに適應した潜水艦の全廢又は縮減を行はないと云ふやうなことはロンドン條約の精神に反すると述べた、右は潜水艦を防禦的武器としてこれが廢止に反對し、航空母艦を攻擊的なりとする日本の主張と明かに對立するものであるこれに對しドイツ代表は航空母艦を攻擊的なりとし、スワンソン氏の主張に反對したが、イタリー、ロシア兩國代表はスワンソン氏の主張を支持した

主力艦問題 攻防の解釋對立 委員會を設けて緩和

【ジュネーヴ三日發】海軍委員會は主力艦の一般討議を終了したが主力艦を攻擊的武器なりと主張する國はドイツ、イタリー、ロシア、支那等を含む多數で之を防禦的武器と主張する國は日本、イギリス、アメリカ、フランスの少數派であつたので結局同委員會はこれ等相反する意見を緩和せる決議案起草のため小委員會を任命した

調査團 豫備報告書の全文 きのふ長春で發表

先月廿九日國際聯盟調査委員が奉天よりジュネーヴに向け發送した豫備報告書の全文が四日午後六時半ジュネーヴにおけると共に長春ヤマトホテルにおいて調査委員より發表された

一、十二月十日の決議第五條を以て任命せられたる調査委員は四月二十一日に奉天着今現地調査に從事してゐる、極東到着後委員は日本及び支那における調査目的にかゝはる一般的情勢を調査した、委員は東京、大阪、上海、南京、漢口、天津、北平を訪問し兩國政府當局と協議し又兩國多數の關係團體及び階級代表者と會見した、北平においては九月十八日以前の東北三省に責任あつた當局と會見した、奉天着後委員は就中日本總領事代理及び滿洲における日本軍總指揮官本庄將軍と會見した

十二月十日の決議に關する理事長宣言は九月三十日の決議において具現され又十二月十日決議に繰り返へされた日程の協定の日本及び支那政府によつて滿足されるが如き實際上の情勢についての豫備報告を調査委員に對し現地到着後可及的速かに理事會宛提出すべきやう指令した、これら協定は

(A)日本政府は日本國民の生命財產の安全が保障せられる限り可及的速かに鐵道附屬地內に軍隊の撤退を行ふこと

(B)支那政府は日本軍隊撤退後支那地方官憲が復舊せる場合附屬地外の日本國民の生命財產の安全に對し責任を持つこと

(C)兩政府は事變の擴大又事態惡化を防止すべき凡ゆる必要なる方法をとるべき事

委員はまだこの三項につき充分なる報告をなすべき點には至らない(事變の擴大、事態の惡化を防止すべき)雙方の協定の考慮については委員は尙後の報告にまたねばならない、然し理事會は(A)及び(B)について日本支那の協定にかゝはるところの實際的情勢について速かなる報告を要求してゐるから茲に次の如き報告を送るものである

二、滿洲における實際的情勢

東北三省における軍隊の位置についての情報は日本陸軍當局より與へられたものであるこれは五項目に分類されてゐる、最初の三項目は日本軍隊及びこれと協力する他の軍隊に關係して居るもので、あとの二項はその反對勢力をあげたものである、第四項目についての資料は支那側より送られたものである

現在調査の目的であるところの茲に述べられたる分類において昨年九月の理事會においては豫想されなかつたところの新樣相が現はれた事を注意する

事變の推移において地方行政が變化した、安寧秩序保持委員會なるものが昨年の十二月に日本の協力によつて設立された、これは本年三月九日に成立された滿洲國政府によつて代へられた右の註釋が日本軍當局によつて用ゐられてゐるところの滿洲國軍隊を說明する爲に必要である

第一、日本正規軍隊勢力

九月十八日には尙滿洲鐵道沿線における日本軍の勢力は一萬五百九十といはれてゐる、この數字は十二月の初旬において鐵道沿線四千、沿線外八千九百合計一萬二千九百となつてゐる、四月の下旬にはその數字は滿鐵沿線六千六百、附屬地外即ちチチハル地方、洮昂、齊山線、ハルビン東部の東支線吉敦線北部に一萬五千八百にして合計二萬二千四百となつてゐる

第二、滿洲國軍隊

日本陸軍當局によつて滿洲國軍さしていはれる軍隊は一部は支那正規軍一部は九月十九日以前より滿洲にをつた支那正規軍が改編されたもの及び一部は新たに募集されたるものよりなつてゐる、この軍隊は日本軍當局の勢力をもつて出來たものである豫備及び現役の多數日本士官が軍顧問として入つて居り又この數は今後增加しつゝある、これ等士官の契約は一年間と限られてゐるものもある、日本高級士官は滿洲國政府國防の顧問として任命されてゐる、これ等の軍隊は奉天、長春、洮南、チチハル、敦化及び東支鐵道及び滿洲國政府に反對する勢力に對抗するため特に東支東部線に駐屯し活動してゐる、滿洲國軍の總計は三月末日には八萬五千といはれてゐる、實際の數字はこの軍隊の現在における情報不確實なるため判明しない

第三、地方警察勢力

その數字は十一萬九千といはれてゐる、そのうち六萬は地方警備に當つてゐる、その警察隊の勢力は主に九月十九日以前のまゝである、この改編は日本官憲の助力の下に行はれつゝある

第四、日本軍隊及び滿洲國軍隊に對抗する勢力

委員は北平において張學良から九月十八日における關外の軍隊勢力は非戰鬪員も入れ奉天省において六萬、吉林省において八萬、黑龍江省において五萬合計十九萬、そのうち奉天省から五萬は直ちに關內に引揚げたと聞いた、よつて關外には十四萬置いてゐるわけである、日本軍當局は關外に殘存する軍隊の勢力を十一萬とし、そのうち六萬は滿洲國軍に編入し、三萬が吉林の東北にあり日本軍隊及び滿洲國軍隊に對抗してをり又約二萬が所謂義勇軍になつたと云つてゐる、この軍隊所在位置は日本軍當局によつて次の如くである

(A)滿洲國政府に對抗する從前の支那軍隊位置

一、ハルビン東北における軍隊三萬(李杜勢力麾下吉林反政府軍及び丁超麾下の東支線に居る反政府軍)

二、奉天西方地方にある軍隊一萬

三、第九騎兵隊の殘部隊、熱河東北國境に三千

(B)義勇軍

一、反日義勇軍東北部隊にして奉天省西部並に錦州の南部に一萬五千乃至二萬五千

二、東北國民義勇軍主に奉天近郊に活動してゐる、この軍隊現在勢力は高度の日本軍の討伐に遭ひ不明

三、熱河の義勇軍これは湯玉麟指揮下にあり比較的組織されたるもので約三千にして張學良第一、第二軍の馬隊殘餘部隊と合併し熱河及び奉天省國境に活動してゐると傳へられてゐる

四、尙義勇軍の小部隊は一部は山海關地方に、一部は敦化附近に活動して居り滿洲國政府に對抗する諸勢力と相應じてゐる

五、匪賊は治安混亂のため增加した、日本側より聞くところによると全滿中に散在してをり特に東支線南部に多い日本側はこの勢力を四萬と見てゐる、加ふるに吉林の東北に一萬二千が第四の(A)及(一)にもとに述べられたハルビンの東北における支那軍隊と合併せんとしつゝありといはれてゐる、これら諸勢力との戰鬪は屢々行はれてゐる、**匪賊は或は日本軍を襲ひ又滿洲國軍隊を襲ひ或は新勢力を獲得せんがために相互に爭つてゐる、その結果は人命損傷、財產損失又治安の混亂を來すのみである**

三、委員は上述の事實及び形相について何等の註釋を施すことをしない、日本軍當局は日本國民の生命財產の安全の保障なくしては附屬地外の軍隊撤退は現在において到底不可能であると極力主張してゐる、日本側は即ち滿洲國軍隊の改編が尙行はれなくしては撤退は出來ないと考へてゐるやうである

支那政府は現在滿洲が如何なる地方においても何等の行政權力を有しない、而して諸事態が最近に擴大せるためその責任を果すべき實際的問題は起らない、滿洲における平和、安寧を恢復し善良なる意志を生ずべき可能的及び適度なる方法は委員においては最終報告において提示さるべきものと首肯する、委員は來週長春を訪問し尙又滿洲の他の地方の調査を續ける

陸軍非公式軍事參議會

【東京四日發】陸軍では四日午後二時から省內に非公式に軍事參議會を開き井上、鈴木、金谷、菱刈、武藤各參議官、荒木陸相、小磯次官等出席、先づ陸相、次官等から上海停戰會議の經過、白川軍司令官以下の遭難、協定調印後の派遣軍の處置、圓卓會議に對する態度、滿洲における兵匪の活動、赤露の狀況、滿洲における調査委員の狀況その他內外重要國際問題に詳細な說明をなし圓卓會議開催は是非とも實現せねばならぬ旨を述べ諒解を求むるところあり、各參議官もこれを諒とし午後四時すぎ散會した

滿洲國新官制

二日國務院において定例閣議を開いた結果、土地局官制、國務院の文書取扱及び施行文程を決議した【長春電話】

けふは尚武の節句 坊つちやんの天下

一家擧つてお祝ひしませう

端午の節句の由來

けふは坊ちやん方が指折り數へてまつてたお節句だ、風薫る若葉の梢から隱見する鯉幟や吹流しの勇ましい姿を見ますと蕪村の「木がくれて名譽の家の幟かな」の句を思ひ出します、端午といふのはもと陰暦五月五日に催された五節句の一つで、最初は初午の意でありましたが午の音が五に通じ五が二つ重なるといふので吉祥とされ

▼…重五 といつてこの日に厄を除け災を攘つてゐたものです、續日本紀によりますと聖武天皇の天平十九年五月五日の詔に「昔は此日菖蒲を用ふ、此頃既に此事を停む、今より以後菖蒲縵にあらざるものは宮中に入るを許さず」とあるのを見てもこの節句がその以前から行はれてゐた事が明かです、中古の朝廷では菖蒲を内裏や殿舍の屋根に葺いて、五日には縫所から菖蒲綬（菖蒲の織物）を獻じ、天皇はその綬をつけて武德殿に出御饌を賜ひ又菖蒲や蓬で拵へた藥玉をも賜はりました。この式が濟みますと左近右近の馬場で騎射の催しがありましたが

▼…この 朝廷の行事が民間にも傳はつて湯僻な山家でも軒端に菖蒲と蓬を葺き、藥玉を柱にかけ、菖蒲筵や菖蒲枕を用ひ菖蒲湯を浴み、眞菰粽を食べ菖蒲酒を飲み、眞田編みにした菖蒲鞭で打ち合ふ遊びまで一般に行はれました。またこの日乙女達はある願ひ事を祈るのに「思ふこと軒のあやめに事問はんかなはゞかけよさゝがにの絲」と唱へて、もし軒のあやめの蜘蛛の網によつて願事の成就をトふといふ風流なならはしもありました。

▼…武者 人形の起原に就いてはいろんな説があり、天應元年五月五日に早良親王が夷狄征伐に出陣の際伏見の藤の森神社に祈願をこめられたので、同社ではその日を記念するために甲冑をつけた武者行列を毎年行ふやうになりこれが端午の武者人形の起原となつたのだともいはれてゐます、このならはしは後世武家時代になつて朝廷の儀式としては衰へましたが嘉例として廣く一般町家にも益々盛に行はれるやうになりました五月人形は三月のきらびやかな雛人形と反對に、凡てが強い大和魂を鼓吹した剛直な末頼もしい立派な男に成人させやうと希ふ

▼…親心 から、虎退治の加藤清正や、裸で熊と相撲をとつてゐる足柄山の金太郎、鬼ケ島退治の桃太郎、武人の典型と崇められる八幡太郎義家、新田義貞、豐太閤、さては武を象徴する鎧、太刀など武張つたものが大部を占めてゐますが、中には可愛い若葉人形や雅致に富んだ木目込人形なども可なり古くから一般に用ひられてゐます、男子の出世を象徴する鯉幟を用ゆるやうになつたのは德川中世以後、武士全盛時代の反映で、尚武の氣風が一世を風靡し男兒の武運長久を祝つたのが、後では單に男兒の出世祝福の意となりました。

▼…端午 に粽や柏餅を造つて食べるやうになつたその起原は、昔楚の屈原が五月五日に汨羅に身を投げましたが、兄思ひのその妹が兄を弔ふため飯を供へますのに、飯が江底に達するまでに江中の龍が食べてしまはないやうにと楝葉に包んで江の中に投じたといふ傳説から始まつたのだといふ説があります、支那ではこの日雄黄酒を飲み、これを子供の額に王字型に塗り、或は家の壁や塀に撒布して五毒を拂ふのにも用ひます北平の少女達はこの日紅色の毛絲で小さい虧や虎、家虎、蠍、蛇、蜈蚣の形を造り、これを護符又は五毒花といつて簪として頭髮に挿し以て五毒を祓ふ慣習もあります（小林胖生氏談）

鯉幟

旅順　伊東千鶴子

ほがらかなる朝明のけはひ鯉幟今日は揚げむと勇みて起きつ
わが手ぐる紐にひかれて鯉幟勢ひよくも空にあがれり
咲き照れる櫻の上に鯉幟ゆたかに泳ぐその尾揺り揺り
矢車の在處知らすと幼兒を抱きて見さくる空の眩しさ
五月雛飾りし前に並びたる三人の子らが栗色の頰
世の何を羨しと思はむすこやけき男の子三人の母なり我は

「むづがるのは 虫のため 子供が」

その豫防と除去法

子供が 何故か機嫌が惡かつたり云ふ事を聞かなかつたりすると、昔の人はすぐ「虫が起つた」といひます。虫封じだの虫切りだのといふ加持祈禱は今も相當に盛んなのであります。加持や祈禱でそれが治るといふのは如何にも迷信ですが、虫が子供の胃腸内に入つて子供の機嫌が惡くなるといふのは一概に昔風だと笑へない事實なのであります。蟲卵の附着してゐる食物や、子供の不潔な手又は汚れた玩具物品をいぢつたりなめたりして消化器内に侵入し孵化して、條蟲蛔蟲蟯蟲等となると子供は頗る不快極まる病的症狀が現れて來ます。中でも蛔蟲は一番子供を苦めるもので、瞳孔は散大し、氣分は大層惡くなり、直に怒つたり、泣いたり、癇癪を起こしたりします。常にやさしい子もいふ事を聞かず急に精神が一變して來たり、神經的の子になると夜何事もないのに吃驚して飛び起きると同時に人事不省となる等といふ事もあります。又壁土や灰、炭のやうな變なものを喰べたりするやうな子にもなります。

蛔蟲は 四、五寸の黄白色をした蚯蚓のやうな虫で卵はよく犬猫等の毛についてゐたり土や砂の中にもあり、無論戸外の塵芥中にも居りますから、子供がこれ等の動物と遊んだり砂いぢりをしたりするのは危險ですが、さりとてそれ等をさせない譯にはいきませんから母親は注意して二六時中子供の手を洗つてやる必要があります、指の間爪の中をも特に清潔にします。海人京といふ藥はこの虫の豫防になりますし、サントニーネは虫下しに用ひます。

蟯蟲 といふのは一分か二分位の小さな白い繊糸のやうな虫でその卵は殆ど肉眼では見る事が出來ませんがこの卵が一度子供の腸内に入りましたら二三週間の後には非常な勢ひで繁殖し、數百匹になつて、なかなか除去が出來難いものです。といふのはこの虫は直腸に巣を作つて就寢すると肛門の周りに絶えず出たり入つたりしてゐますので子供は痒いので寢ながら殆ど

無意識 のうちに手をやります指先についた幼蟲又は何時の間にか口から入るといふように循環的に繁殖をつゞけます爲なかなか全滅がむづかしいのであります。檢便の結果この虫がゐる事がわかりましたら服藥すると同時に藥用石鹸で灌腸を行ひ、就寢後、うすい酢の水で肛門の周りを拭きズロースをはかせるなり手袋をはめるなりし直接手が觸れないように致してやります。蛔蟲はこ子供の機嫌を直接惡くするやうなことはありませんが貧血、神經質となり健康狀態を犯されます。

條蟲は 生の豚肉、牛肉に附着してゐるものですから之等の肉の生煮や、生燒を子供が喰べる事に依つて起るのであります、ですから肉類を與へます時には充分氣をつけてよく火の通つたものを供する事が肝要であります。

朗かに…… 五月を踊る人々

けふは正午と午後二時から

滿日講堂で舞踊講習

滿鐵婦人社員と滿日婦人團員は去る三日午後本社講堂で鈴木鈴次郎吉井正子兩氏指導の下に五月祭舞踊と「われらの飛機滿洲號の歌」の舞踊の講習をうけ一同熱心に猛練習をいたしました、寫眞は滿日婦人團員の「滿洲號の歌」の舞踊練習のところ、五つ六つの可愛い孃ちやん方も四五人まじつて立派に踊つていらつしやいました。今日は滿鐵婦人社員は正午から、滿日婦人團員は午後二時からいづれも滿日講堂で講習が開かれますから皆さん振つて御參加下さい、五月祭舞踊も「滿洲號の歌」の舞踊も共にだれにもすぐおぼえられるやさしいもので、しかも非常に優美であり、二三回の練習で立派に踊れるやうになりますから是非多數の御出席をお願ひします、一般の御婦人の御參加をも歡迎いたします。

お父さまの趣味（六）

近頃ダンスのお稽古

兎に角健康のために運動を

語る土田惠美子さん

大連西廣場土田寫眞館主土田寛一氏の長女惠美子さん（二〇）は昨年神明高女を卒業して以來ずつと今日まで人文學院に通學して各方面の知識を求める一方、生花と仕舞のお稽古にもなかなか熱心で、來る九日の大連神社春祭には奉納仕舞に出演してそのあざやかな舞姿を見せることになつてゐます、二人の家族と共に御兩親の慈愛のうちにおつとりと健かに成長した惠美子さんは、謠曲や仕舞で養ひ得た落付のあるおとなしやかな態度で語るのです

▼―▲

仕舞は喜多でつひ先だつて羽衣をあげました、謠曲は四五年前父と一緒に始めましたけれど父は唯今では止めて居ります、父の趣味つて別に取立て申上げる程のものもございません、寫眞の方は商賣氣を離れて非常にたのしみらしく時々寫眞機をかついで遠いところまで行くことがございます、寫眞機さへ提げてゐれば遠道も一向苦にならないらしうございますの

▼―▲

それに先月からダンスをはじめました、毎晩お夕はんが濟んでから先生に來て頂いて父と母と私と三人で練習してゐます、トロットにブルース位どうやら踊れますけれど社交的な意味ではじめたわけぢやございませんからホールなんかにはちつともまゐりません、父も母もいろんな弊害のあるのをおそれて先生も御夫婦御二方いらして頂いてゐます、何しろ父の仕事が朝から夕方まで根をつめますしどうしても運動が不足になりますからその運動を補ふために、一つには氣分の轉換にとはじめました

▼―▲

先年まで夜分青年會館へ出かけて若い方たちと一緒にボーリングや、バレー、バスケツト等をやつて居りましたが、血氣ざかりの若い人たちと一緒ぢや到底均衡のとれやう筈がなくつひやめてしまひました、でも今度のダンスだけは成功らしうございますわ、二時間もやりますと汗ぐつしよりになつて不眠症なんかどつかへとんでしまつたやうでございます、私？そう面白うございますわ、仕舞は氣分が落ちついていゝんですけれど運動といふ點から申しますと、とてもダンスに及びません、といつてこちらも捨てられないいゝ所がありますのね、他に父の趣味と申しましたら時々映畫を見にまゐります位健康には人一倍氣をつけるたちでございますから晩酌に五勺かそこら傾けますだけでお蔭で大變丈夫でございます、晴れた日には毎朝二時間ばかりも星ケ浦の海岸で體操したり散歩したりするのを日課に致して居ります、どんな寒いときでもお陽樣さへ照つてゐれば海岸は熱いよと申しますの

滿日各地版

鳳城縣内の一部に 獨立した馬賊王國
鄧鐵梅の一味公安隊長と通じ 徴税、裁判、武器製造

【奉天】鳳凰城第八區林文偵の談に依れば頭目鄧鐵梅は同縣東門外賣廠永住徳方に彈丸の製造工場を設け職工百八十名を使用して製造を續けてゐるが機械は熱河省湯玉麟の兵工廠より購入し途中官憲の監視を避けるため荷車に積み海城縣を經由搬入したが同縣公安隊長劉景文は之を知りつゝ鄧鐵梅と氣脈を通じ援助してゐる、尚縣自治指導委員は巡警に依つて身邊を嚴重に監視され鄧鐵梅は鳳城縣第四區尖山窰を占據し尖山縣政府を組織し參謀長傳恩深（元鳳城縣公安局總務課長）を縣長に任じ政治を行ふ旨を布告した、即ち期限を定めて徴税し之に應ぜぬものは財産を沒收し又は裁判所を設けて訴訟を取扱ふ等鳳城縣第四區第六區第七區の大半は全く獨立して馬賊王國をなしてゐる

二密河口の戰に 二警官戰死
健氣な覺悟を語る 故坂元警部補の夫人

【本溪湖】四月二十八日朝通化方面の匪賊討伐の重大使命を以て出動したる本溪湖署坂元警部補以下〇〇〇名は奉天にて討伐警察隊と合し約二百八十名は山城子より四十邦里の道を徒歩にて通化に在留邦人救出の爲め急行せる途中五月一日午前九時通化北方二十五支里の二密河口にて大刀會匪約千二百名と遭遇し大激戰の結果本溪湖署の坂元牧之助警部補及皆島清人巡査の兩名は賊彈の爲め名譽の戰死を遂げた、賊匪にも百五十名の死者を出さしめたといふから激戰の程想像以上のものがあつたであらう此の兩名戰死の報を得た本溪湖署では植田署長以下哀愁に閉ざされてゐるが記者は坂元警部補の留守宅に夫人ヌイ子さんを訪問弔詞を述べると新たに造られた佛壇から線香の煙り靜かに立ち昇る中に夫人は記者に語る

夫は滿洲事變發生以來度々匪賊討伐に署員と共に出動しますので常々御國の爲めに働いてゐるから何時賊彈に斃れるかも知れないが之れは覺悟の前であるからと語つてゐましたので今日の事あるは私も覺悟はいたしてゐますが事情がハッキリ判らない爲め充分夫が御國の爲め働いて下さつた事であらうかと唯それのみが案じられます

と涙一滴出さぬけなげな氣丈の夫人には記者も感激されるものがあつたが夫人は十歳を頭に生後間もない四人の子供を殘され尚且つ夫が御國の爲めに死したのは覺悟の前であると何等取り亂したる狀なきは武人の夫人として感に堪へない偉丈夫であるが心中の悲痛はしらず顏に現れ仰ぐだも神々しき感に打たれ記者は辭し去つたが坂元警部補及皆島巡査は本溪湖署の最初の犧牲者で市民の同情は多大のものがある

坂元警部補の略歴

氏は明治三十年八月宮崎縣北諸縣郡庄内村に生れ大正七年三月宮崎縣立都城中學校を卒業同八年六月十六日關東廳巡査兼外務省巡査拜命奉天署を振り出しに奉天總領事館警察署英語通譯同十年十一月二十一日警部補に任官昭和二年一月二十八日東京の警察官講習所本科の課程を終了同四年一月二十八日本溪湖署勤務を命ぜられ今日に及びたるが尚武道は柔道二段の腕前にて署務に忠實熱心にて頭腦明晰將來を囑望されてゐた人である

皆島巡査略歴

氏は明治四十一年十月福岡縣大牟田市に生れ同所三井工業學校を大正十四年十二月二年終了し明治三年十二月龍山步兵第七十八聯隊に入隊五年十月歸休除隊昭和六年十二月二十日關東廳兼外務省巡査を拜命同七年二月二十九日本溪湖署勤務を命ぜられ下馬塘派出所駐在として今日に及んだ人である

本溪湖で市民葬
戰死を悼む本溪湖市民

【本溪湖】時局委員會を本溪湖地事會議室に二日午後一時より開催し多數委員列席の上通化附近にて名譽の戰死を遂げられた坂元警部補及皆島巡査の市民葬に關する件を協議左の通り大體決定を見た

一、坂元警部補は本溪湖市民葬とし皆島巡査は下馬塘と協議合同葬とすること
二、葬儀は小學校庭にて營むこと
三、期日は遺骨到着の上日取を確める事

出動部隊歸る

【本溪湖】通遼に出動北滿警備の大任を果した第〇大隊第〇中隊の成田中尉指揮の一小隊は二日午前十一時着列車にて凱旋したが驛頭には市民多數が萬歲聲裡にこれを迎へ大岩所長市民を代表挨拶をなした

通化へ出動

【本溪湖】通化方面へ本溪湖署より二日午前三時四十分發列車にて巡査巡捕〇〇名が應援の爲め出動した

通化の部落民 我討伐軍を待つ

【撫順】二日午前八時頃通化東方約廿里の興京より撫順電話局長への公用電話によれば目下通化を中心とする東方各縣下桓仁、輯安、臨江、撫松、長白地方一帶には大刀匪公安隊員よりなる約五萬の民衆義勇軍が蹶起して通化領事分館に籠れる副領事以下在留邦人は于芷山軍の擁護により辛ふじて危難を免れてゐるが、叛軍等は昨今滿洲國をにくんで新五色旗の掲揚を禁止して部民に青天白日旗を掲げよと命令し部民は一日も早く日本討伐軍の來援を望んでゐるといふ

最早拔差しならず 寺西社長以下總辭職す
撫順不動產金融組合十一日に 總會を開き役員改選

【撫順】護て貸付金の回收成績不良で二進も三進も身動きされぬ苦境に陷つて悲鳴をあげてゐた撫順不動產金融會社の問題に就ては、その後會社當事者に於て極力債權者たる滿鐵本社に對し借入金の利率引下元金据置期間の延長等を嘆願すると共に他方株主即ち債務者とも協議して百方善後策を講じたるも、滿鐵本社に於ても勿論無條件で右の如き要望に副ふべくもなく又債務者等にも

名案 出でずこゝもと會社當事者はいよいよ兩者の間に挾まつて手の下しやうなくこの儘では到底營業繼續の見込み立たぬことゝなるに及び、今回現社長寺西主五氏以下山下七太郎、田中廣吉兩取締役、中原祥光、中島新藏兩監查役はその任に堪えぬと同時に會社の前途を思ひ且は滿鐵乃至株主に對する責任上何れも連袂辭表を提出して會社を投げ出すに至つたので十一日午後一時より實業協會樓上に於て臨時株主總會を開催改めて社長以下の役員全部を改選し併せて會社今後の善後策につき協議する筈であるが、右につき山下專務は語る

當社 の內容に就ては既に御存じの通りで申上ぐるまでもありませんが、十二月末まで一萬五千圓程度の未回收金が三月には三萬圓になり更に四月には三萬五千圓といふ工合にだんだん未收が嵩むばかりですし、滿鐵では會社の方で何等かの形をつけてくれれば直に要求に應ずるわけにもゆかぬといふし全くこの儘ではどうにもならぬので私等は責任上又株主乃至債務者の反省を促して今後に善處するやう役員總辭職の方途に出たわけです、臨時總會の結果役員や今後の對策がどうなるかは目下不明ですが株主乃至債務者等の氣分が一致して善處することにならぬからには恐らく幾度役員だけが替つて見たところで駄目ではないでせうか

國際聯盟委員團
公主嶺で一ト休みの

【公主嶺】長春行の途、二日午後三時四十五分着特別列車で公主嶺に着いた國際聯盟調査委員團は此處で一休みすることゝなり下車、各方面を視察して同六時發列車で長春に向つたが寫眞は向つて（上）右——ホームで挨拶を交はすリットン卿と馬春田懷德縣長（同）左——農事試驗場牧場中に設けられた休憩所で挨拶する委員達と稱獨立守備隊司令官夫人（下）お茶を飲んで疲れを休める一行

懷德縣農會から 調査團へ陳情書
過去の縣狀を縷述

【公主嶺】來公の國際聯盟調查團に對し懷德縣農會々長より提出した陳情書の原文は左記の如くである

現在私等懷德縣農會を代表致しまして農會長として謹みて國際聯盟調査團諸先生に過去の一切の實情を報申上ます、目下諸公調査の使命を以て懸懸的に渡滿せられ多大の御心勞の程を我等農民一同感激の下に萬腔より歡迎の意を表します、而して此の良機會に過去に於ける縣の狀況並に匪賊に蹂躙されたる經過を述べ以て貴調查團の

參考 の一になしたいと思ひます、吾が懷德の西部遼河の流域は南北に貫通し樹木繁茂し從來匪賊の巢窟となつて居り縣境西北の土地は悉く瘠地にして人民は甚しい非常なる貧窮生活をなして居りましたが、逐年凶作の關係上飢寒に迫られたる者千乃至萬に達しました、その上近來奉天省長張學良の軍閥時代の惡政による民の支出增加し一切の負擔は大部分農民より供給し平素相當の財產を有する者もこれがため殆ど貧者と變じ物價暴騰に次ぐ穀物價格の低減全農村における破產者失業者續出し昨年來頃より匪賊の數日增に多く掠奪殺人強姦等橫暴の極に達したため農民は大部分他所に移住し老弱者は死し幼年者は危險を冒し逃走父母妻子は東西南北に離散し其の慘狀は筆舌の盡すところでありません、何の罪ありて斯る浩劫に逢遇するのでありませうか、然るに突如として新國家が

生れ まして農民は九死に一生の喜びを見ることが出來たのであります、新政治を公布して善政を施行すると共に重税を減少して人民の負擔を輕くすることは民政問題に對しても最も肝要な件とします、此の飢饉に際し當局より多大の糧穀を受け春耕の救濟も受け實に甘霖の降下したるが如く今や未來の福利は正に旭日昇天の勢にて民福に進みつゝあり新甚の永與を深く祈願して謹みて本農民の誠意を披瀝します、併て調查團御一同樣の武運長久を祈ります、懷德縣農會々長趙祉軒、畢樹勳

日滿露聯合 大運動會
けふ蓋平で擧行

【蓋平】來る五日西門外中學校校庭において滿洲國の建國記念のため各中學校より各小學校職業學校等二十校の生徒約三千名の男女學生により大運動會開催、當日は附近部落よりの參觀者も頗る多數にのぼり如實に各民族の融合を示して當地としては未曾有の大會とならう

傷痍軍人の 慰問運動
大石橋でも旺ん

【大石橋】今次事變傷痍軍人後援會滿洲支部に於て森永製菓株式會社の後援に依り當地理事三谷製菓店及滿日支局員等と共に趣旨の宣傳に努めつゝあり、二日より店頭その他目貫の街頭に森永ミルクキャラメルの外函又は同チヨコレイトの外裝紙の投入函を配置し、「貢獻し兵士を勞りませう」のポスターを貼付して宣傳に努めてゐるまた三日午後七時からは公會堂で映畫の夕べを催したが趣旨贊助の意味を以て地方事務所は公會堂を無料で電燈會社は電氣の寄贈をなす等多大の便宜後援を與へ近來にない盛況で葛目少佐、小栗中尉の戰況方面の實戰談は最も多大の感動を與へた

海城でも今晩 講演映畫の夕

【海城】傷痍軍人後援會滿洲支部海城に於ける運動は豫定の通り五日午後六時半より公會堂に開催される、入場料は無料であるが陸海軍兩省秘藏の各種映畫と島崎砲兵中尉の講演がある

十三名の 戰傷兵收容

【鐵嶺】通遼方面の戰鬪に於て戰傷せる勇士十三名は三日午後九時十分着列車にて鐵嶺着當衛戍病院に收容された

鎭江山の櫻 愈々滿開

【安東】二三日來の陽氣に惠まれた鎭江山の櫻も赤い唇を靜かにほころばせかけ安東デーにはチラホラ微笑み出したが二日の溫かさで全山の櫻は殆三分ほどの開花を見た、この調子では七、八頃には早咲きの櫻は散りかける事とならうが、滿開は先づお節句の五日頃からと見られ二日夜から灯された二百三十籠の雪洞も花の間をつてたてられたので一段と興趣を添へる事となつた

龍首山の杏

【鐵嶺】春暖く露となり鐵嶺名所龍首山の杏花は今や滿開に近く此日曜日頃が最も見頃であらうと思はれるが山紫水明の天然の美に杏花點綴し一層の雅趣を添へ沿線からの遊客を待つてゐる一日の清遊を試みるも又興深きものであらう

第廿七回旅順に閉塞の盛大な記念式擧行
★……白玉山麓記念碑において

【旅順】旅順口閉塞第二十七回記念式は第三回の壯擧當日たる三日午後二時から白玉山麓記念碑に於て擧行、主催者を代表し海軍班長吉田海軍中佐及び大塚在鄕軍人分會長以下各分會員來賓參列の下に祭の如く神官により嚴かなる式典を行ひ吉田中佐大塚分會長玉串奉奠について小坂長官代理、安藤要塞司令官陸軍代表(田中大佐)海軍代表(久保田海軍駐在武官)官衙代表(土屋高等法院長)滿鐵代表(山本驛長)市民代表(永山市長)順次玉串を奉奠ののち昇神撤饌後閉式、更に參列の海軍無線電信所員により「閉塞隊」の軍歌合唱栗田旭順師の琵琶歌等が演奏された、尙當日は式前第一小學校生兒童の參拜あり參列者は右のほか御影池、藤原兩課長、山村重砲兵大隊長、矢澤病院長、米内山民政署長、東畑市會議長、佐藤無電所長清水警察署長、松浦分隊長、樋口高等學校長及び日淸寺婦人會員等多數にて盛大を極めた【寫眞は祭典の光景】

從來の弊を破り市民本位に
旅順の市民大運動會

【旅順】來る廿二日の日曜日に執行の豫定である旅順市民大運動會に關し從來の競技種目が兎角學生や兒童本意となり一種の型に拘束され眞の市民享樂を本意とする種目が乏しいので本年は從來の弊を破つて市民の家族會と云ふ意味を多分に含めプログラムを編成し場所も道變に依り一層の歡樂氣分を作興せしめるため賞金等としては如何との說を唱へる者多く來る十日頃各方面の代表者參集且協的協議を行ふ事となつた

戰捷記念の安東デー
大いに賑ふ

【安東】市民こぞつて祝福すべき戰捷記念日の安東デー(五月一日)はさんよりした空模樣に明けたが安東神社は早朝からの參詣人で賑はひ、打ちあげる煙火に一層景氣を煽つた、恒例に依る神輿も午前十時半から黄色の鉢卷に紺のハッピ姿も威勢よく市中を練り祝賀氣分をバラ撒いた宵から張り出された、市内の高張り提灯も一入濃やかに夜景を彩り新義州からも多數押し寄せて鎭江山は人の渦を捲いた、櫻もチラホラ笑ひ初めて山櫻は大きな柔い葉を一杯出してゐるが四方に擴げられた宴席にはなまめかしい絃聲や三味の音締も春風に乘つてさゞめき、ほろ醉ひ機嫌の連中も頗る多く見受けられた此の日鉄劍術や神社下の土俵では奉納角力に四股の響きも勇ましく圍繞する群衆に力瘤を握らせる盛況を呈した、夜に入つてもヒッキりなしの人出で十一時過ぎまでは飲み唄ふた連中も見受けられたが概して賑くは晝夜のけじめなく鎭江山へ杖引く人々で賑はひ、不景氣も何處へやらフッ飛ばして了ふ樣だ

歸順の天地樂代表を派遣

【遼陽】遼陽城西第十區李大人屯附近に於て猛威を振ひ村民を脅かして居た頭目天地樂は官憲に歸順して第十區自衞團長となり村民から租税を徵して團費に充てゝ居るが歸順後の初對面と云ふて一日來城楊縣長に面會したが其の實頭目の天地樂でなく副頭目の要的好と云ふ者であつた副頭目の云ふ處に依れば天地樂自身が出頭すべきであるが身邊の危險を惧れて代理で出頭したが縣長初め官憲の十分なる諒解があれば本人を入城さすとのことで揚縣長は副頭目を一先づ歸村せしめ頭目天地樂の入城を命じたと

遼中道路進捗
六月中に竣工

【遼陽】遼陽から徐王子楊家林子を經て大砂嶺、小北河に到る道路は吉川組の請負で六丁場に分ち千數百人の人夫を使役して着々進工中で遲くも六月中旬迄には竣工の豫定であるまた遼中縣から小北河に到り遼陽からの工事と接續する道路工事も遼中縣長を初め各方面の多大なる援助で近日起工する運びに進みつゝありとのことである

鐵嶺

徵兵檢査執行

今年の徵兵檢査を受くべき在鐵壯丁は二十五名であるが檢査は五日奉天に於て執行せらるゝにつき四日富村兵事係附添の下に壯丁全員午後三時半發列車にて受檢のため赴奉した

三負傷者退院

去る二十五日の夜城内の火災現場に急ぐ途中領事館前で追突顚覆負傷したる村田岩作氏を始め北墻運轉手、長谷川、舘野憲兵上等兵は旣報の如く滿鐵醫院と衞戍病院に收容手當中であつたが經過頗る良好で長谷川上等兵は數日前に退院し北墻運轉手も三日退院舘野、村田氏も共に近く退院の運び

龍首山觀櫻會

鐵嶺滿洲側官民有力者は來る七日午後三時より龍首山上に於て滿開の杏花を賞すべく花見の宴を催し日本側官民多數を招待すると

加藤軍醫正招宴

新任鐵嶺衞戍病院長加藤軍醫正は今五日午後六時半より鐵嶺ホテルに在鐵官民有力者を招待新任披露の挨拶を兼れて一夕懇談の宴を張る

四平街

新天地開墾

鐵嶺敷島町在住某氏は通遼縣大林南方三十支里淸河南岸五道灣農場德衞公司經理、賓榮甲と開租契約を結び實地踏査をなすと共に通遼にて鮮農募集中のところ本年度は三百石にて二百天地の水田耕作をなし得るをもつて去月二十九日通遼發四洮線列車にて八十六名の鮮人を井發し錢家店驛下車淸河を遡り同地に向はしめたるが更に一週間以内に二百餘名を送る事に決定したと

錦州

勅諭記念式

五日午前九時より師團司令部に於て軍人勅諭御下賜五十周年式が擧行される筈一般在留民はなるべく不敬にあたらざる服裝にて多數參加されたしと式順左の如し

一、國歌合唱二、遙拜式三、勅諭捧讀、四陸軍大臣奉答文の朗讀……

遼陽

陸大視察團

陸軍大學生徒滿蒙視察團一行六十餘名は二十一日頃來鐵一泊の上視察を行ふ筈であるが都合によると士官學校生徒も來鐵する筈

警察署員へ御下賜品

長き邊から遼陽警察署員への御下賜品は三日午後急行で到着したので長山署長以下の幹部が停車場に赴き奉受した

通化へ出動

遼陽警察署の辻中巡査以下二十名は二日午前五時十五分發列車で通化方面の事情益々逼迫に付第二次救援隊として出動したが之と入れ替りに警務局練習所から巡捕二十名が配置され着任した

師團記念植樹

遼陽駐劄第○師團では駐劄後旣に一ケ年を經過したのと勅諭御下賜五十年記念の爲め鞍山苗圃から松樹百本を取寄せ内五十本を忠魂碑境内に五十本を神社境内に昨今移植中である

婦人會總會

遼陽滿鐵社員俱樂部婦人會では七日午後一時半から社員俱樂部日本間に於て總會を開き七年度豫算及總會に關する事項を協議すると

鳳凰城

警察隊を增員

鳳城縣公署に於ては城内に於ける警備機關充實計畫中のところ今回軍部立會協議の結果從來の警察隊百三十名を五月一日より三百名に增員したがこれが要員はさきに歸順せる何盛有の部下五百名中より選定補充し同時に何盛有を警察隊長に任命した、尙何盛有の部下あと三百三十名はそれぞれ手當を與へて解散したが手當總額は大洋票三千元でこれは縣から支出した

撫順

撫順高女の講堂使用問題

撫順高女では從來地元文化發展の一助として公會堂差支への場合或は音樂會、教育映畫會等教育的催しに就ては司會者の希望により電燈料の實費だけで講堂使用に應じてゐたが、近年の經費節減に鑑み又社内各高女の規程を參酌して今後は可及的學校行事以外の使用を拒絕し萬止むを得ないもので且つ營利を目的とせぬ催しに限り冬期は十圓、冬期以外は七圓但しピアノ使用の場合は別に五圓の使用料を徵收して使用を許すことゝしたが、右は學校當局としては止むを得ない事情もあらんも他面當地の如く公會堂が貧弱か常設館の觀を呈せる土地柄としては市街中央の好適地を占めてゐる高女講堂が將來殆ど使用出來ぬことゝなつたのは當地住民の文化向上の見地から頗る遺憾であるといはれてゐる

元巡査始末書一札

鹿兒島縣出水郡出水町字武本元關東廳巡査前田某(三)は最近當地に於て拓殖大學生徒監の名刺をふりまはして自分は今度滿洲國に拓大の卒業生を賣込みに來たものであると稱し各所を徘徊してゐることを撫順署員の探知するところとなり、三日本署に連行在郷警察官として民衆の範となるべきものが右の如き行爲をしたのは何事と申渡され以後は充分改心する旨始末書一札を書かされた

安東

安東陸海軍將校會懇親會

安東陸海軍將校會では二日午後四時から鎭江山朝日閣で慰勞懇親會を開催したが出席者四十餘名に上り盛會であつた

連山關○大隊假本部

驛前にさぶき旅館で執務中の連山關第○大隊假本部は再び連山關へ復歸する事となつたので一日から當分の間鈴木少佐が居殘り駐在する事となつた

觀櫻團體殺到

滿洲八景第一位鎭江山の櫻は朝鮮にまで響いてゐるが、殊に今年の觀櫻團體は素晴らしく多い模樣で旣に決定したものゝみでも、新安州、新幕の千二百名(八日來安)を筆頭に孟中里、南市(十日來安)からの千四百名がありこの調子では今年の鎭江山の呑吐する人口は殆ど數へ切れないだらうと云はれてゐるが安東驛ではこれ等觀櫻團體の準備に汗ダクである

炭塊

▲千金寨郵便局では今回爲替貯金事務取扱ひを開始したが一日平均現大洋二百元の取扱高であると▲北臺町四丁目○番地大村次郎(假名)は最近東京で發刊された淫本繪入好淫記春宵情史一札を手に入れんとしたところ小包より早く京都西陣署から撫順署に手が廻つて現品が着くと同時に警察に沒收本代三圓八十一錢をふんだくられた上高等係でひどい小言を聞かされた▲石橋滿電總務課長は三日朝來安家族同伴六日赴連の筈▲赴連中の宮澤庶務課長は六日頃機任の豫定

▲青年團役員會は二日午後七時より實業協會内で開會市民運動會の選手を決定した

旅順

長友憲兵分隊長

新任新義州憲兵分隊長長友次男氏は二日午前十一時三十五分新義州驛着列車で家族同伴着任した

顧維鈞隨員旅順見物

顧維鈞の隨員民國中南斐聯邦總領事、國際調査委員中國代表處專門委員飽静安氏ほか五名は三日自動車にて來旅、博物館、陳列館、大正公園その他を見學の上午後一時過ぎ離旅した

滿洲國建國宣傳班來旅

滿洲國建設の精神を普及するため中央高級宣傳員呂名實、單守全、大石義夫の三氏は三日來旅市役所を訪問、臨山助役と協議のうへ同日午後三時から支那町公議會に於て在旅滿洲人の智識階級を集め建國精神に關する講演會を開催し尙市内各所へはポスター多數を貼附した

兎耳鷲目

◇二十有六年間默々として歷代長官の護衞巡査であつた神崎造酒藏氏は愈々退官一日の船で郷里千葉縣へ引揚げた

◇退職した元軍人後援會幹事伊澤信一氏は來る十二日午後一時三十分發列車にて一無職族の鍵定

弱いお子様もかうすれば 丈夫になれます

一體に、小兒の皮膚の抵抗力が弱くて風邪をひき易く、氣管支カタルや肺炎などに罹り易いのは、呼吸器の抵抗力を強めるヴイタミンAが不足してゐる爲で、又お腹を壞し易く下痢がちで、疫痢や赤痢にも罹り易いといふお子樣は胃腸の機能に効果のあるヴイタミンBが缺乏してゐる爲であり何うも

發育が捗々しく

なく血色も優れないといふお子樣にはヴイタミンD 其他 ヒスチヂン、リヂン等のアミノ酸類が不足する爲であります。

だから、弱いお子樣にはこれらの榮養素を充分與へなければならない譯ですが、此處で注意を要することは、或一種のヴイタミンとか、又はアミノ酸とかの、榮養素が一方に偏したものを與へたのでは、効果が不充分です。これらは特定の病氣に使ふべきもので、弱い兒の榮養素は必ず一方に偏せず凡ゆる榮養素を含むものが必要です。さりとて榮養が各方面に亘つてゐるだけでも、未だ

片手落ちの憾が

あります。何故かといふと弱いお子樣には折角の榮養も消化吸收が滿足に出來ませんから、何この上にその消化吸收を援ける酵素といふ活動性の物質が必要なのです。

これに就いて面白い實驗は、獨逸の乳兒院で院兒を三部に分ち、一部の乳兒には乾燥した牧草を與へた牛の乳を飮ませ、二部の乳兒には生の牧草を與へた牛の乳を飮ませ、三部の乳兒には、生の牧草を與へて得た牛乳に、更に前記の酵素・酵母したものを與へて、各部の乳兒の發育狀態を實驗した結果一部の乳兒の發育は、著しく惡く二部は普通、三部、即ち酵素を酛醸したものを與へた乳兒の

發育は最も良好

であつたのであります。

これにみても酵素が、如何に貴重な働きをなすかゞ判りますが、これらの活性酵素を十數種も有してゐる上に、前述の虛弱兒に不足がちなヴイタミンA、B、D其他ヒスチヂン、リヂン等の榮養素を多分に含んだ、理想的な榮養酵素劑として、臨床醫家が擧つて賞揚されてゐるのは「錠劑わかもと」であります。これを服ましてて弱いお子樣の體質を見違へる樣に壯健にし、發育生長を著るしく促進したといふ實驗例は、最近の日本では實に夥しいものがあります。

妊婦・產婦に必要な榮養劑と その不足に基く疾病

お產の際日本婦人は世界各國の婦人に比して、一番忍耐強いといふ名譽を擔つてゐるのですが、反面、姙產婦の榮養狀態では、他の文明國婦人に比して甚だ乏しいといふ、面白からぬ說を立てられてゐます。此點は、一等國婦人としての體面上からも是非改めたいものです。

姙產婦は、姙娠のため起つた身體の變化、或は新に生れた赤ちやんの授乳をせねばならぬ關係上等から、何うしても平素より多量の榮養をとる必要に迫られますが、この場合の榮養が不足するか、又は一方に偏するかすると、母體も胎兒も、また生れ出た乳兒も衰弱して、種々の障碍を起します。

例へば、赤ちやんが乳を吐いたり、機嫌が惡くなつて、段々するうちに上眼瞼が腫れて來る――所謂乳兒脚氣ですが、これなどは母親の毎日飮んだ乳の場合に多く現れる症狀で、**脚氣**といふはもと〱ヴイタミンBが、體內に不足するから罹るのであります。又、婦人によつては姙娠二、三ケ月頃からつわりのある方が多いやうですが、これが又多少に拘らず榮養が害せられてゐる爲に起るのです。中には、つわりは姙婦につきもの、樣に考へて、放つておく方がありますが、これは甚だ危險で、衰弱が加つて人工流產を行つても而且つ無效に終ることがありますから、決して輕々には考へられません。

又、姙婦にも產婦にも便秘が伴ふ場合が多いが、便秘は不眠、皮膚病等の原因になる外につわりを助長しますから、警戒を要します。これら病的障碍のある姙產婦は勿論、何等障碍のない姙產婦も、胎兒のために近來盛んに「錠劑わかもと」を賞用されます。

「わかもと」は我國の榮養學者として世界的に名高い、東京帝國大學の澤村名譽教授が發見された榮養と胃腸強壯の二重作用のある珍しい榮養劑で、胎兒、乳兒、母體に必要な**あら**ゆる榮養素が含まれてゐる外に、脚氣に有效なヴイタミンBやつわりに特效あるインシユリン、便秘を癒すに効ある諸種の酵素等が合せ含まれてゐて、榮養と治療の見地からして、實に至れり盡せりの觀があります。

更に喜ばしいことは、發見者の、篤志によつて、これが「榮養と育兒の會」から二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ奉仕的廉價で頒布されてゐることです。各地藥店にありますが、お望みの方は東京芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）へ藥價だけお送りになれば送費は凡つ會で負擔して急送されます。

貧血を癒すには

種々の婦人病の爲め、貧血を起してゐる方、鉛のある白粉を使つて、その中毒で、弱度の貧血に罹つてゐる方など、日本の婦人の過半は貧血で、命を縮めてをられます。

貧血は、慢性症が多く、手足が冷えるとか、肩が凝るとか、顏色が蒼いとか、急激に來る苦痛が少い爲めその、手當が看過されがちですが、貧血の人が年を早くとり、容貌が急に衰へることは、驚くべきものがあります。

貧血の手當として、一番新しく、醫界に賞用されてゐるのは「錠劑わかもと」の服用です。「錠劑わかもと」を服むと、手足も温まり、血色がよくなり、生々として來るので、素顏の美を增す內面的化粧として、上流婦人や女學生間に流行してゐます。

療養實話

虛弱なお母樣が 丸々と丈夫な 女兒を分娩した手柄話

（愛知）村井淸子

私は胃腸が弱く、便通も不規則の上に風邪などにも直ぐに冒されますし、一寸自動車へ乘つてさへ直ぐに嘔吐を催すといふ始末で、殊に月經不順には自分ながらホト〱愛想が盡きてしまひました。尤も其間にも隨分の榮養も攝取いたしましたし、病狀を抑へる爲の適應劑もとつてみましたが、身體の調子は矢張り一進一退、失望の許には効がありませんでした。

其頃から「錠劑わかもと」の評判に心を惹かされまして廿五日分のを買つて服み始めますと、てつきり便通の要領が變つて參りました。又何となしに氣分も晴々しく、同時に主人に笑はれる程よく眠る樣になりました。これに力を得て三ケ月四ケ月と續けて愛用してゐますと私の生來の虛弱體質もすつかり見違へる程壯健になり、身體に少々の無理をしても疲勞しなくなり、月經も勿論順調になつて參りました。

さうした壯健體の嬉しさの裡にひたつてゐるうちに何日しか姙娠し、月滿ちて女兒を分娩致しましたが、この子が父年つて丈夫で他人樣から羨まれる程丸々と太つてゐます。それに「錠劑わかもと」を續けてゐて身體のシンから丈夫になつてゐる故か、お乳もあり餘る程ありますので、生後の肥立ちも至極よろしうございます。

未だ半年にもならないこの頃、坊やは口チ〱言ふ樣になり、昨今は主人の出勤や歸宅にはニコ〱愛嬌をこぼして私の手の上で踊り上りますので、主人も矢鱈によろこび、家のうちが本統に明るくなつて參りました。これも一重に「錠劑わかもと」のお蔭だといつて主人も心から感謝してゐます。

わかもとに
助けまもられわが家は
明るも強く
のびのびにける

戰死傷者を抱へ四日間 濡れ鼠で孤立無援
二密河口に於る救援警官隊の安否頗る氣遣はる

興津副領事以下居留民の脱出が誤報であり、依然通化に留まつてゐることが確實となつた今日事態は寧ろ二密河口の山上に孤立の狀態に陷れる救援警官隊の安否が重大性をおびるに至つた、卽ち同救援隊が大刀會匪賊と衝突し現地に立て籠つて以來既に四日間を過ぎその間完全なる連絡なく、しかも戰死傷者を抱へ匪賊重圍の中に不眠不休にて敵の逆襲に備へ殊に三日夜來の風雨の中に一枚のテントもなく一同濡れ鼠となつて苦鬪を續けてゐるので二日以來三百名の第二救援隊を折角奉天署に集結し乍ら連日空しく待機のまゝ同僚の危急を見殺しにするが如き躊躇逡巡の有樣は何故か、待機中の各員はこの點を頗る憤慨し出動命令を非常の焦燥さを以て待ちこがれてゐる、この事態に對する最高責任者たる某氏は右につき記者に語る

待機中の救援隊員が我々の處置を優柔不斷だと歯がゆがるのも尤もだが種々デリケートな事情があつてこの際あまり積極的な行動を執らぬ方が通化籠城の人々及び二密河口に孤立の警察隊救出に都合よいと信じその方針で目下出來るだけの處置をつくしてゐる、興津副領事も物慣れた人だから自らうまく脱出の方法を講じてゐる事と思ふ、一方于芷山氏の軍でも極力救出に努力してゐて既にその軍隊は新濱まで進んでゐる、最初救援警察隊が三源浦で待機し通化の居留民をそこで迎へる筈であつた手筈が或る事情のため齟齬した結果事態をかく重大化した事は事實である、この上はこれ以上事態を惡化する樣な手段を差控へ、なるべくこれ以上犧牲を出さずに遭難者一同を救出したいと苦心してゐる次第である【奉天電話】

未だに出發せず
奉天で待機中の第二次派遣隊 各方面で漸く疑問視

通化危急の報に奉天に集結待機中の關東廳警官第二次派遣隊は遂に四日も通化に向け出發せず、偵察豫定であつた飛行機も天候不良のため中止となつた、先發の警官隊は三源浦の高地にこれまた待機中で風雪に惱まされてをり通化居留民も依然氣遣はれてゐるに奉天待機中の警官隊が奉天に三日間も滯在し出發せざることに對して各方面は非常な疑問を抱いてゐる【奉天電話】

只奔命に疲れる
奉天待機の派遣警察隊

沿線各地より急遽召集した第二救援警察隊員三百餘名を既に三日間空しく奉天署に待機せしめた徒らに首腦者會議に日を過ごしてゐる當局の優柔不斷な態度は昨今一部世間に疑惑を招いてゐるが自ら隊長となり陣頭に起つべく意氣込んでゐる森本警務課長、遭難者の身の上を氣遣つて自ら飛行機で現地を偵察せる立川奉天署長等は毎日奉天署及び領事館に森島總領事代理等と日に三、四回づゝ會見協議してゐる、口のうるさい人々はこれを小田原會議と嘲笑してゐるが立川署長の如きは二日以來夜もろくく眠られぬと顔色憔悴し……

通化の邦人 脫出か
北山城子方面へ

通溝駐在警官より四日午後二時半安東署への入電によれば通化在留邦人は北山城子方面に脫出したとの噂あり【安東電話】

柳河縣内 暴動化か

通遼附近の大刀會匪は附近匪賊、公安隊を合流して猛威を振つてゐるが二日三源浦にある不逞鮮人を糾合、第三中隊探鑛團は不逞鮮人を糾合兵匪に合流し仁石鎭にある支那騎馬隊二十名も逃走して反亂軍に加はり柳河縣内はこれ等の匪賊により暴動化する形勢にある【奉天電話】

匪賊と逃げ出す
下九臺の鐵道守備兵 小銃四十三挺を携帶

【吉林特電四日發】吉長線下九臺駐屯の滿洲國側鐵道守備中隊に四日朝零時三十分ころ約三百名の匪賊が襲撃し來り警長室に侵入の上居合はせた兵二名のうち一名を射殺、一名に重傷を負はせ、午前二時ころ匪賊及び殘留兵の一個小隊約三十名は小銃四十三挺を携帶の上北方に向け逃走した、因に附近のものゝ言によれば既に守備兵と匪賊とは以前より連絡してゐたものゝ如くこれがため下九臺の住民は戰々兢々としてゐる

警察署に達した電報によれば通化城内には大刀會及び義勇軍一千二百名あり鮮人不逞團も三十日から鮮人の拉去を行ひつゝあり、日本警官隊との交戰は日本側不利なりと宣傳してゐる、在留邦人は今なほ領事分館に籠城中である、また輯安駐屯步兵第三營は三日朝通化に向つた、多分義勇軍と合體するものと見られ輯安の學生は進んで軍隊に加入運動を起し同地の人心は再び動搖をはじめた【安東電話】

輯安の人心 再び動搖

輯安駐在警察官より三日午後安東……

吉敦線橋梁 またも燒却

四日午前七時ころ吉長、吉敦線、敦化、大平嶺間三百三十二キロの……

宙に迷つた 百五十圓也

四日午後一時ごろ大連ヤマトホテル洗濯部洗濯物の整理中五尺位の新モスで作つた胴卷の中に日本紙幣で百圓札一枚十圓札五枚と御守が現はれたので、注文先を調べたが他の洗濯物に紛れ込んで來たものか皆目持主が判らず、處置に困つて大連署に届出た、同署でも今までに遺失届もなく、心當りの届出を待つてゐるがこの不景氣に大金が宙に迷つてゐる

あちら・こちら
カポネ懲役十一年

【シカゴ三日發】昨秋聯邦地方裁判所で審理の結果脫税の廉に依り十一ケ年の懲役を言渡されたギヤング王アル・カポネは其後直に上告の手續を執りシカゴのクック郡刑務所で高等法院の再審理を待つてゐたが、今回それが却下されいよく前判決通り十一年の懲役に服すべく刑務所からアトランタの聯邦刑務所に護送される事となつた、何がさてフーヴアー大統領を凌ぐ勢力ありと稱せられた人物だけに官憲はカポネの護送につき嚴重警戒を極めてゐる【カットはアル・カポネ】

娼妓外出勝手次第

【東京四日發】從來一般娼妓は內務省令娼妓取締規則の第七條により許可無くして規定區域外へ外出する事出來ず公娼制度中の非難の焦點となつてゐたが過般來內務省で調査研究の結果、樓主側の反對を一蹴して娼妓の外出に自由を與ふる事となり右に關する十數項の整理項目等も近く發表すると

インチキ醫藥專

【東京三日發】文部省の私立醫大醫專、藥專十五校の入學に關する不正問題調査は慶應大學醫學部の一部を除くの外全部終了したがその結果、積年の醜狀に關する確證を握つたので四日省議のうへいよく公平たる處分を受けるものは左の如く內定した

東京慈惠會醫科大學▲日本醫科大學▲東京醫學專門學校▲昭和醫學專門部▲東京女子醫學專門學校▲帝國女子醫學藥學專門學校▲明治藥學專門學校▲東京藥學專門學校

遺族の生業助成

【東京四日發】陸軍では今回の滿洲、上海兩事件に際し全國民より獻納の恤兵金の一部約二百萬圓を基礎として永久に意義ある事業として服役者並にその遺族の生業助成資金に使用する方針で恤兵部で具體案を作成中であるがいよく成案を得て兩三日中に陸相のもとに提出し決裁を仰ぐこととなつた

酒精の密輸發覺

【東京四日發】東京稅務監督局では市內で酒精市價標準値段は三十五、六錢するものが二十六、七錢で賣買されてゐる事實を探知し各署と協力探査中、神戶市川崎敏雄（三八）ブローカー中島某ほか一名が淺草北三筋町の酒問屋へ酒精一千貫を持込むところを取押へた、彼等は臺灣から輸出の名で酒精六十噸を青島に廻漕し同地を經て密かに橫濱と東京の中間沖合に潛入、艀で借受けておいた芝浦の倉庫に四月初め陸揚げしたもので密輸酒精は大量で資金五萬圓を有してなり脫稅徵收の形式につき當局は考究中であるが取調べ進行と共に意外に擴大を見るやも知れない

三名虐殺され 九名は行方不明
黑龍江入りの調查團

【チチハル四日發】黑龍江省の金鑛調査との意氣込み鋭く去る二十五日甘南方面に行くとて當地を發した小林金太郎一行十五名は爾來消息を絕つてゐたところ四日に至り一行は甘南の東南四十支里の大有莊において匪賊に襲撃され西、山口、川口の三氏は虐殺され北島、兒玉、黃振成の三氏のみ歸還したが、他は行方不明である

標準匪賊のため燒却された損害、一現場目下取調べ中【吉林發】

紹興酒の密輸發覺

二日夜十時ころ折柄の暗に紛れて露西亞町海岸沖合を矢の樣に走つて來る怪戎克船のあるのを民政署の間稅監視船が北大山通り戎克波止場に入港し、何物かコソく荷揚げ始めたのを追跡し取押へたがこの者は江蘇省江南縣の張根生（三）といひ遙々江蘇省より紹興酒の密輸を企てたものと判明、船中には一斗五升入りの酒樽二十五個三石九斗を積み込んでゐた、大連にて賣捌き一儲けせんと企てたもので民政署間稅係に於て取調べの上現品を沒收し罰金六十圓の卽決を言渡した、銀高の影響により最近ちよいく酒類、煙草の此種密輸が行はれるので目下間稅係では嚴重警戒中である

大連市營住宅 値下げ斷行
民政署の認可次第 最高二割、最低一割

大連市の市營住宅は民家氾濫の影響を受け一般市中の家賃が値下げされたにも拘らず昨年一回一部の値下げを行つたのみ全般的には値下げを行はず、既に昨年値下げした分ですら尙市中家賃と比較しても高い傾きあり、一般借家人より苦情續出し且空家が益々增加するのみか斯くては住宅建設當時の趣旨に悖る事となるので此際市役所では住宅全部にわたつて斷然値下げを敢行すべく民政署に出願した兩三日中に認可となるべく同時に値下げを斷行の方針であるが値下げ率は最高二割、最低一割位の見當で平均一割四分九厘に當る豫定

皇后陛下 愛婦會總會行啓

【東京四日發】皇后陛下には五日青山練兵場の憲法記念館に舉行の日本赤十字社及び愛國婦人會總會に行啓令旨を賜はる御豫定であるが御同日は大宮御所に御寄り遊ばされる筈

衆議院慰問團

滿洲上海派遣軍並に在留邦人慰問の衆議院議員團一行は四日午前十一時民政署貴賓室で竹内民政署長小川市長と會見慰問の辭を述べる處あつた

社員招聘

廿四五歲より四十五六歲まで中等學校程度の素養ある方

大連市大山通五八
日本生命株式會社
大連出張所

強盜の片割れ
沙河口署で逮捕

去る三十日沙河口署内香爐礁附近を徘徊中の舉動不審者を沙河口署岩崎刑事が引致取調べた結果この男は山東省生れ當時住所不定無職世光（三九）といふ昨年九月二日午後七時ころ共犯一名と共に沙河口仲町一三五魏傳氏方へ強盜に押入つたが家人に騒がれて未遂に終つた強盜犯人の片割れであることが判明したので同署では目下餘罪取調中

六大學野球リーグ改革

【東京四日發】六大學野球リーグの改革につき隔て意見を交換しつゝあつた五大學野球應援團（帝大を除く）では愈々聯盟を組織し四日左の要求をリーグ當局に提出することとなつたがリーグでは兩三日中に理事會を開きこれが對策を協議する筈である

一、試合當事校の學生は入場無料とする事
一、球場に於ける學生整理及び入場の件は學生の手に委ねる事
一、指定席の撤廢

高山東拓總裁 滿鐵を訪問

高山東拓總裁は三日午前十一時三十分滿鐵本社を訪問、正副總裁以下理事等と會見東拓移民等の事業方針について意見を交し、午後零時十分辭去し更に市內各方面を歷訪した

ドイツ系露人 ブラジル移民團

國際聯盟附屬ナンセン國際事務所がハルビンにて募集したドイツ系露人のブラジル移民團三百五十餘名は上海事務所主任クエノオー氏に引率され四日午前八時着列車で來連、當夜は大連丸船中に一泊、五日朝出帆上海へ向ふ筈

ヘイ女史來連

さきにツエッペリン飛機の世界一週の際紅一點として騒がれた聯合プレス社女流記者ドラモンド・ヘイ……

優勝戰に殘るは消費か滿電か
けふ午後四時から滿俱球場で 關東州野球大會（第五日目）

本社主催の關東州野球大會準優勝戰たる滿鐵消費組合對南滿電氣戰はいよく五日午後四時より滿俱球場において舉行するが兩軍とも滿俱選手をもつて組織されてゐるので接戰を豫想されてゐる、卽ち消費組合は今春以來益々スピードを加へ好調を續けてゐる工藤を投手に持ち、リリーフとして大橋、野田兩投手を有する、これに對する滿電側は須原、宮內、藤枝の三投手を擁してゐるが、けふの戰ひには消費先づ工藤を起て機に臨んで野田と交代せしめ、滿電は最初より藤枝を起用して消費の健棒を一氣に封ぜんとの作戰に出づるものと思はれる、また內外野陣を比するに消費軍は滿電軍より一日の長あり結局戰ひの分岐點は守備成績如何に依るのではないかと豫想されてゐる

『わが愛し兒こそは……』
集つた自慢の赤ちゃん百六十名

滿鐵、市役所主催の赤ん坊審查會第一日は四日午後一時から市社會館で開かれた、折からの小雨ものかは「わが愛兒こそは」と母の誇りを胸に包んで集まつた自慢の赤ん坊百六十名、カ一杯はち切れるやうな元氣な泣き聲で流石に廣い講堂も賑やかなこと夥しい、第二日も同じく午後一時から四時まで總計三百餘の赤ん坊について體重、身長、胸圍、發育狀態など嚴重な審查を行つたうへ、優良赤ん坊を表彰することになつてゐる、因に第一日締切した赤ちやんは第二日受付けると（寫眞は審查場）

北滿で戰死傷の わが勇士判明す

【ハルビン四日發】一、二兩日烏吉密河（珠河）における激戰で判明せる依田〇團、村井〇團の死傷者左の如し

戰死 步兵第〇隊
步兵中尉 西尾玉次
軍曹 佐藤貞義
伍長 清水幸一
上等兵 木熊三郎
同 吉野清
同 本間勝義
同 村田茂
同 倉橋新
同 羽佛貞義
同 佐野良
一等兵 山田清次
同 山田軍平

砲兵第〇〇隊
戰死 一等兵 小網玉造
負傷 步兵第〇〇隊
上等兵 生稻耕作
同 大石正次
一等兵 伊東巳代次
同 小川久治
同 中原岩松
同 加藤秀之助
同 綱部高吉
同 小椋銀一
砲兵第〇〇隊
負傷 上等兵 渡邊要次
同 阿部勇
一等兵 佐藤純吉
同 佐藤竹三
同 金子熊郎

【ハルビン四日發】三日牡丹江畔の激戰で判明せる依田〇團の死傷者左の如し

戰死 步兵第〇〇隊
一等兵 井上秀夫
同 近藤宗一
同 森田俊雄
負傷 騎兵第〇〇隊
特務曹長 奥田富三
上等兵 濱田安雄

【ハルビン四日發】一日方正の南方及び木蘭の激戰で判明せる中村〇團の死傷者氏名左の如し

戰死 步兵第〇隊
一等兵 岩道進
同 川上隆
同 渡邊隆博
負傷 步兵小尉 藤原熊太郎
同 天野喜德郎
野砲第〇隊
一等兵 有吉興惣次
同 菅原武夫

第二松花江爆破計畫に使用した爆藥は全部ロシア製であるが帝政時代の古物が半分、新しいのが半分である、全部で縱十サンチ横五サンチの方形五百個、三十六貫目あつたのだから驚く。

形はロシア製の石鹸と略同じで一見しては判らない、所々にエム・オー・テー、ベエアウエなどの符號がはりつけてある。これ等火藥は數回にわたつてボグラから運ばれたものだが機關庫勤務バサノフの自白が面白い

自分はある黨員から相當重量のある鑵詰をボグラから持つて來い、トランクを持つてゆけと命ぜられた、そしてその黨員はこの手紙を車掌に渡しその車掌が同志でなかつたらタマリン（在ボグラ職業部代表）に直接渡して品物を受取れと言つて手紙を渡して行つた。

そこで自分は滿洲里から來た列車の或車掌に「線路は安全か」と聞いたらこの車掌の答へは曖昧だつたので直接職業部代理所に行きタマリンに向つて「自轉車を一臺貸してくれ」と言ふと彼は「何處に行くのか」と合言葉で答へたので手紙を渡した、するとタマリンは「機關車で受取れ」と言つた

で自分はハルビン行の列車に乘り込んで太平嶺についた時機關車に行つて見ると鑵の方に自分のトランクがあつたから持つて來た、然しハルビン驛で東支鐵道の警官からきかれて「石鹸」と答へたが沒收されたのだ。

模擬裁判實演會

滿洲法政學院同窓會學友會では學院講師地方法院長森本豐治郎氏の講演並に關東州法曹團有志後援の下に「カフエー女給殺し」模擬裁判實演會を五日午後七時より滿鐵協和會館で開催するが會費二十錢

柳芳書伯個人展

帝國繪畫協會理事にして下關會の幹事たる宮本柳芳氏は得意の花鳥力作品三十餘點を七、八、九の三日間毎日午前八時半より午後六時迄三越三階に陳列個人展覽會を開催す

樂天閣再開業

暫らく休業中の星ケ浦樂天閣は今回朝日館が引受け名も朝日館と改名し室內庭園全部改造面目を一新し食席料理のほか座敷貸しもする由にて家族連れの方にも便宜である

イ孃はその後東洋各地を視察中であつたが、三日午後上海より入港の大連丸で來連した、同孃は二、三日大連に滯在してシベリヤ線經由歐洲に赴く豫定だと

曙の鐘 (274)

倉田潮 / 河野想多畫

未練 (三)

お夏は女中のはる子が返事もせずにじつと自分の顔を見つめてゐるので、狼狽へて身の廻りを見廻したが、別に怪しいことも見あたらなかつた。

「はる子さん、何うなさつたの」

とお夏はつひに眉と眉の間に皺をよせて訊いた。するとはる子は初めて口がほどけたやうに、

「お夏様、何處か御惡いところでも御座いますの」

と訊き返した。

「別に何處も惡いところはないのだが……何か違つたことがあるの」

「ええ、とつても今日は顔色が……まるで土の色よ」

「さうなの」

ふところ鏡を出して見ると、彼女も自分ながら驚いた。まるで今朝までの血色はなく、顔が土色に變つて眼がおちこんでゐる。昨夜眠らずに心配をし續けた爲めだ――と思つたが、それなら鏡の鏡に映つた自分もかうでなしにはならなかつた。しかし、朝の鏡に映つた姿は全然これと違つた血色のよい、上氣したやうな顔ではなかつたか。

お夏は鏡に映る自分の顔を不思議に思つた。が、間もなくそれは今してゐることが命にかかる冒險であると、半無意識に恐怖してゐた結果だと思ひついた。あけみにはかかる危險があつた。いや、既に昨夜の中あけみは今迄握つてゐた秘密を白日の下にさらけ出してしまつたかもしれない。

お夏はさう思つたが、直また氣をかへて、探るやうに鏡をかへして氣味惡く笑つた。由太郎を奪はれて背へながら生きてゐるのが面白いことだらうか。昨夜は金で戀人をうり渡したが、金ばかりあつたとて何の嬉しいことがあらう。さうだ、命にかけても由太郎を取戻さう。由太郎の爲なら死んでもさらさら惜くない。

「おはるさん、色あげをするから先に熱燗のねきを一杯持つて來ておくれな」

彼女はわざと投げ出すやうにさう云つて、コップ酒が來ると一と息にのみほした。それで顔色も大分よくなつて行くやうだつた。そこへ食物をはこんで來たが、お夏は箸をつける前に、

「實は今日御願ひがあると云つたのは、難當ての後見に出て貰ひたいからなのよ」

と今迄のあけみとのいきさつをざつくばらんにおはるに打ちあけて、

「私、たとへ御孃様だとて、今度は一歩も後には引かないつもりだわ」

と昨夜あけみと由太郎があれから隣りの家に泊つたか何うかを見届けて來てくれないかとたのんだ。するとおはるは譯もなく、

「そんなことなら直ぐ解ります」

といそいそと出て行つた。お夏はその歸りを今か今かと待つてゐた。が、おはるは容易に戻つて來なかつた。外の女中をよんで今度はお銚子を命じたついでに、おはるのことを聞くと、先程隣りの家に行つたまゝまだ歸らないとの返事だつた。

お夏はやけまぎれに茶碗にその酒をついで徳利の半程までのみほしたが、それでもまだおはるが戻つて來ないので、初めてこれはまたあけみに買収されたのではないかと思ひついた。それならたとへ戻つて來たとて、ろくな返事をする氣づかひはない。

酒の勢ひにやけが手傳つて、お夏は思ひ切つて隣りの家へふみこんでやれと思つた。そして、料亭から秘密の家に通ずるぬけ道を廊下に出て探し廻つた。と、奥廊下が行きあたつて押入れになつてゐるのが眼に止まつた。それを開いて見ると、そこから秘密の家の物ほし臺に、同じ物ほしが續いてゐるのを見つけた。

しかし、お夏はその物ほし臺に出る前に、直目の下の庭にあけみが昨夜のままの姿で立つてゐるのを見てギヨッとした。

けふの放送 大連 JQAK

五日午後三時二十分
▲ニュース ▲童話(重い鯉幟)加藤俊一 ▲滿洲工業講座(工業用水)清水本之助
以下内地中繼(七時三十分)
▲長唄(楠公)唄松永和風、同和幸、同和十郎、三味線杵屋勝太郎、同勝東治、同勝惣治、笛望月長之助、小鼓梅屋勘兵衛、同勝造、鼓望月吉三郎、大鼓梅屋左十郎
▲獨唱(帝國ホテルより中繼)一の詠唱、二、歌劇「エロディアード」サロメ 歌劇「ロミオとジユリエット」圓舞歌、宮川美子 ピアノ伴奏松山智惠子
▲常磐津(後の月酒宴の島臺)角兵衛 淨瑠璃常磐津松尾太夫、同宮尾太夫、三登勢太夫、長尾太夫、三味線常磐津文字兵衛、上調子八百八、同梅治、鳴物福原百之助社中
以下大連放送局より
▲五月祭舞踊練習第一回柳本龜二郎 ▲職業紹介事項 ▲ニュース ▲氣象通報

第四十三回 滿日勝繼戦碁 【7】

二級 先相先先番 沼本 近藤

滿洲日報

停戰協定の成立近く 次の問題は圓卓會議
わが軍部首腦部の意見

[illegible] 會議を希望しないとの説もあ [illegible]、支那側が圓卓會議に應じな [illegible] 中立地帶を設ける [illegible] の安全が確保されず、從つて [illegible] 圓卓會議が纏らなくとも [illegible]

愈よあす停戰本會議

[illegible] 郭軍は浦東に軍隊を入れる事 [illegible] 文書によつて發すべしと回訓 [illegible] 本會議開催の豫定 [illegible] に本會議を開催したいとラン [illegible] れ序に一日延ばして日支兩交 [illegible] 回答して來た、依つて會議 [illegible] とする事となつた

國辱條約にあらず
今後眞相を發表せば諒解せん
汪精衛、記者團に語る

[illegible] 事は明かである、停戰協定は決して國辱條約でもなければ屈辱條約でもない、今後眞相を發表 [illegible]

協定非難は當らぬ
羅外交部長談

閘北事件を報告
中立國武官に對し

閘北事件詳報
―陸戰隊發表―

[illegible] 水兵の行方今なほ不明、陸戰隊 [illegible] 今後一層警戒を嚴にしかゝる不逞暴戻の計畫に對しては絶對的の手段を加へるは勿論なり、なほ目下閘北は一切の交通を禁止し搜査に一方警戒を嚴重にしてゐる

羅外交部長 辭表提出

【南京四日發】國民政府外交部長羅文幹は昨日の行政院會議で停戰交渉の經過報告をなし、日本軍撤收後の該地域警備方針につき説明した後、行政院長汪精衛に辭表を提出した、停戰協定が支那側にとつて滿足な結果を得なかつたといふのが辭表提出の理由だ

聯盟調査團、謝外交總長訪問

二日新京へ乘込んだ調査團は三日滿洲國政府謝外交總長を訪問した【寫眞上向つて左よりリツトン、マツコイ、謝介石、マレスコッチ、クローデル諸氏(下)は國務院に到着の一行】

滿洲外交の推移を調査團に説明せん
資料を嚴密に調査しつゝある
昨今の内田滿鐵總裁

聯盟調査委員一行は五月下旬來連の筈であるが、調査委員一行は大連において先づ内田滿鐵總裁との會見に際し併行線問題、借款鐵道問題等の

鐵道問題 の根本的事實に就いて會談を行ふ筈であるが、これ等の專門的部内については滿鐵内各部當事者が説明に當るものと見られ、從つて調査委員と内田總裁との會見で特に注目を拂はれてゐるものは鐵道問題に就いての會談ではなく、卽ち滿洲における支那の條約違反、權益侵害等の外交問題に亘る會談である、卽ち聯盟調査委員一行はつとに内田總裁に對し會談を切望する手紙を寄せて來り、その席上では單なる鐵道の事實問題の會談のみに止まらず當然日本の政府外交界の元老としての内田伯に對し一行は滿洲問題に關し

全般的に 會談を進めるであらうことは容易に想像し得られるところで、一方内田總裁も調査團の來滿確定と共に調査委員一行に正しき滿蒙の認識を與へるため、これが説明を思ひ立ち自ら經驗する日露戰役以後から現在に至るまでの滿洲の外交問題の推移について嚴密なる調査を進め嘗て星ケ浦の自邸で訪問の新聞記者に「最後の御奉公だ」と語つた程の大決心と大努力を以て日夜研究を重ね、殊に委員一行の來連切迫と共に夜は客を避けて書齋に籠り、午前中も會社での執務の煩雜を避けるため、多少出社の時刻を遅らせて

草案を練 りつゝある、かくして國務大臣禮遇として滿鐵總裁として、日本における外交界の元老として、將また不戰條約の調印者として世界各國に名を知られた内田伯が心血を注いで調査した滿洲における日支外交問題の説明は調査委員に最も深い印象を與へるべく、殊にこの會見は調査委員一行が滿洲、支那を全部廻つてから最後に到着する大連で行はれる關係上、一行の滿洲問題に對する認識の最後の契機を與へるものとして非常な期待を以て迎へられてゐる(寫眞は内田總裁)

郭の遭難と聯盟筋の觀察

【ジュネーヴ三日發】郭泰祺の遭難の報は聯盟筋に上海の物情騷然たる事態を強く印象せしめ幷月中旬停戰交渉を[illegible]た重要原因は支那の內政問題にあつたとの感を深くするものが尠くない、然し停戰交渉成立に支障なしと見てゐる

あす公式に執政訪問

聯盟委員は五日(時間未決定)國務院に滿洲國執政を公式訪問することゝなつた【長春電話】

野村中將に治療期間と義眼

【東京四日發】上海爆彈事件で右眼を失つた野村司令長官の左眼の失明は取止むる事確實となつたが伏見軍令部長宮殿下をはじめ海軍首腦部協議の結果野村中將の右眼の治療を便ならしむるために治療期間を與へ義眼を送る事に決定した

野村中將經過良好

【上海三日發】野村中將の經過良好で右眼手術個所の縫糸も拔き去り容體平常に復しつゝあり

兩將軍の經過良好

【上海三日發】陸軍發表、白川軍司令官は今朝から平熱平脈となり植田○團長は無熱平脈傷部の經過も順調、なほ白川大將と植田中將は同室であつたが今夕刻病室を變へた

郭泰祺は全治二週間

【上海三日發】郭泰祺の負傷程度につき主治醫の發表に依れば傷は前額部二個所で大きな斬傷あり出血も相當有つたので全治まで二週間を要する見込み、なほ犯人はそ

舊政權の暴政を涙ながら陳情
鮮農代表調査團に

長春近在鮮農代表三十三名は舊政時代の支那官民に壓迫された實情を訴へるべく四日午前十時ヤマトホテルに調査團を訪問し調査團委員側よりマンゲリー隨員が出てホテル階下ホールにて會見した、鮮農代表は

軍閥政府 の下に受けた壓迫の數々を陳情し、一鮮農の如きは嗚咽の聲と共に鬼畜の如き舊軍憲の暴虐を訴へる樣に、聞くアンゲリー隨員も思はず感動せる如く詳しく當人に聞き返したりした、又鮮農が支那官民のために如何に誅求搾取されたかを具體的事實を擧げ十石の收穫の內、水利局へ二石、灌漑水堰留料二石、地主へ二石、地方官吏へ一石、計七石を搾取され餘す三石が自己の手に殘り、一家七、八人の家族はこれでは生計出來ぬため、これを粟に變へ粟と野菜をまぜ粥を作り漸く一年間の

饑餓線を 彷徨する生活狀態を述べた、アンゲリー氏はそんなに支那官憲に壓迫されるなら日本領事館に訴へるなり、又朝鮮へ歸ればよいではないかと反問せるに對し彼等は領事館から支那側へ抗議しても舊軍憲は受け付けず、又我々は朝鮮で住むべき土地も家もないと悲愴なる叫びをあげる、又萬寶山事件の際壓迫を被つた一代表は萬寶山事件の實相を詳細に述べたアンゲリー氏も彼等の陳情を一ッ一ッノートに記錄し約二時間の陳情を終つて同十一時五十分鮮農代表は引きあげた【長春電話】

萬寶山事件を重點に地方の實情を説明
調査委員と會見後 田代領事語る

四日午前十時我領事館に田代領事を訪問したリットン卿一行の聯盟調査委員は、領事室に招ぜられ約二時間半に亘り會見し、田代領事より詳細な説明を聽取し頗る滿足して零時四十分ヤマトホテルに引揚げた、田代領事は會見後語る

調査團一行は豫じめ質問の用意とて全く無く、從つて自分が領事として長春に來て以來體驗した各種の事情を赤裸々に話して聞かせたに過ぎぬ、勿論地方的には色々な小さい事件も幾多あつたが、何んといつても萬寶山事件が最も重大事件であつた爲めこれに重點を置き事變前の陰慘な空氣及び事變當時の事情などを座談的に説明した、しかし調査團側からは、これといつて聞きたい事項の注文もなかつたが、長春方面に對する一行の認識には相當效果を收めたであらう【長春電話】

調査團午後は鄭總理訪問

四日午後二時聯盟委員ほかハース書記長、顧維鈞らは國務院に國務總理鄭孝胥氏を訪問することゝなつたがこの會見において滿洲國では國賓として應待することゝなつた【長春電話】

吉林調査は日歸り

長春にある聯盟委員一行は五日赴吉し吉林において一泊する豫定であつたが、これを變更し長春滯在を一日延期し吉林調査は日歸りとなる豫定である、これは吉林驛において列車爆破の如何なる危險を惹起するやも知れないためである

我行動を非難の覺書を提出
勞農代表、軍縮會議に

【ジュネーヴ特電三日發】本日の軍縮會議に勞農代表部は國際義務を審判し宣戰布告を行はずして敵對行爲をなす國は完全に軍縮條約を遵守する可能性なしとし、暗に日本を目標とした左の如き覺書を提出した

平和擁護を目的とした國際義務を審判し、宣戰布告を行はずして敵對行爲をなす隣接國は提案中の軍縮條約案の遵守に對し完全なる保障を與ふるものに非ず

滿洲問題と英の態度
英首相、米長官との間に相當諒解
聯盟方面で協調を期待

【ジュネーヴ三日發】米國務長官スチムソン氏は一般の期待を裏切り軍縮會議には別段の生氣を與へず一日歸國の途に就いたが **滿洲問題に關してはマック英首相との間に相當諒解が成立した** と信ぜられてゐる卽ちスチムソン氏はサイモン英外相の極東政策には失望の念を抱いてゐるが、マック首相とは過日會見し、話題が極東問題に移つた時「滿洲問題勃發當初自分は病氣で局に當れなかつたゝめ **イギリスの態度はやゝ軟弱の嫌ひあつたが今後は一層アメリカと協調するやうにしたい**」との意見を披瀝した模樣で、なほ英自治領の代表もスチムソン氏との會見にて、マック首相と同樣アメリカとの協調を確認したといはれてゐる、從つて聯盟方面では今後滿洲問題に關しも英米は從來より緊密な協調を保つて行くと期待してゐるが、滿洲問題が近く聯盟に上程されんとする時 **イギリスの極東政策が何の程度まで轉換する** か注目されてゐる

小包郵便成績

[illegible] の後十一名フランス租界警察に逮捕された

四月中における大連郵便局取扱ひの內地行き小包郵便は總數一萬一千九百九十二個でその內宛地通關のものを除いた殘餘の八千八百十九個に對し通關檢査の結果百五十二個課税された、因に本月の取扱ひ總數は前月に比し三百五十六個の減であるが前年同月に比較すれば實に三千三百七十八個の激増であつたと

大木戶中佐

第二師團經理部長として各地の戰鬪に從つてゐた大木戶仁輔中佐は今回の陸軍異動により陸軍省監査課長に榮轉四日出帆のばいかる丸で歸國した

原代議士歸國

政友會代議士原惣兵衛氏は約二週間に亘り北滿各地を視察してゐたが、去る二日來連、旅順關東廳の訪問を終へ四日出帆のばいかる丸で歸國の途に就いたが、來月下旬再び渡滿し視察旅行を行ふと

陸軍辭令

【東京四日發】四日發表、陸軍異動

第十一師司令部附 歩兵大佐 甘粕重太郎

補歩兵第十五聯隊長

人事

▲三宅光治氏(陸軍中將參謀本部附)轉任挨拶のため四日市內各方面歷訪

▲本間俊平氏(宗教家)四日入港のあめりか丸にて來連

▲中野醇氏(國際運輸東京出張所長)同上

▲深水壽氏(滿鐵審査役)同上

▲肥田琢司氏(前代議士)同上

1932

滿洲事變に最も重要な役割を勤めた三宅中將、昇進榮轉、名譽と地位を得て、愈々近く離滿、邦家のため切に健在を禱る。

◇

羅外交部長辭表を出す、郭代表の負傷に怖れを抱いた。

◇

郭代表の傷も全治二週間、双方代表ヨードホルムにつかつて調印せん、問題の紛糾性以て察すべし

◇

中間に立つて、そこまでまとめたラムプソン公使の勞亦多とすべし、但しトンデもない人間が居やうも知れぬ、身邊警戒肝要。

◇

問題未解決で虎狐は相變らず檻の中(附屬地內)で散歩して居る。

◇

但、この檻、誰が閉ぢ籠めて居るのでもない、傷若子危ふきに近寄つて自分で出さらぬ。

◇

婦女の外出に自由を與へる、一步々々の改善。

九大四教授 近く滿蒙視察

【福岡四日發】九州帝大では滿蒙新天地開拓すべく醫學部長田原博士、工學部長荒川博士、農學部長久保博士、法文學部長鹿子木博士の四教授を滿蒙視察員として滿洲に派遣することに決定旅程約二週間の豫定で近く出發の筈

河端氏に敍位

【東京三日發】去る三十日上海における爆彈事件のため死去した河端貞次居留民行政委員長に對し多年民團のため盡した功勞を嘉せられ同日附で左の御沙汰あつた

敍從六位(特旨) 河端貞次

東亞の謎 (260)
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

エピローグ

「從前通りです、仲がいゝです」

小枝氏は然う云つたが夫れについても、あまり語ることを好まないやうであつた。

「貴郎が大連に來られたのは新國家建設革命事業、その使命のためでせうね」

「どういたしまして」と小枝氏は云つた。「私は時々沙漠から離れて、大連だの奉天だの上海だの、そんな所へ漫遊するのです。文士なんて者は革命事業には、大して必要ありませんからな」

「日本へはもう歸らないのですか?」

「さあ、行くかもしれません」

「どうです、いつそ日本へ歸つて文壇生活をなされたら……」

「せゝこましい日本の文壇生活へだけは、歸つて行かうとは思ひません。音車顏城での私の生活は謂はゞよけい者の生活ですが、それでも何かの役には立つ――そんなやうに思はれますし、蒙古や滿洲や支那といふやうな、漠とした大陸で生活してゐる方が、まだまだ日本で生活するより、私として愉快ですから」

「音車顏城は何處にあるのですかな?」

「それは秘密で申上げられません……しかし……さうですな、暗示的に云へば……經度に於て八十八度、緯度に於て四十八度……といふ處に存在してゐます」

私達は窓から眼の下に見える、大廣場を眺めやつた。

大島大將の銅像が、うしろ向きに立つてゐた。

正金銀行の建物が、なごやかな初夏の陽に輝いてゐた。

人々が長閑に散策してゐた。

ひたすら平和な風景であつた。

「私にも戀人はあるのですよ」

不意に小枝氏がかう云つて、微苦笑めいたものを洩らしたので、私は少しまごまごした。

「ほう、さうですか、それは結構ですな」

「お話した私の冒險談の中に、清子といふ女がゐるでせう」

「崑崙の「日本ムスメの家」にゐた女?」

「さうです、氣の毒なあの私娼でした。……あれも音車顏城へやつて來ましてね。……いや此方から迎へ取つたのです」

「ちやアその清子が貴郎のスキートで?」

「さうです」

と小枝氏はまた微苦笑した。

「あゝいふ女にはあゝいふ女としての、洵によい所があるものでしてね」

「さうですとも」と私は贊意を表した。「それに崑崙ではその清子といふ人に、たしか貴郎は助けられたやうな……」

「さうです、そんな恰好でした」

私達はそれから何も話した。

「文壇生活が厭になり、內地の生活が厭になつたら、私も音車顏城へ行くかもしれません。いや是非とも行きたいものです」

私は眞面目にそんなやうに云つた。

「いらつしやい、是非いらつしやい」

小枝氏はかう云つて名刺の餘白へ、奉天の一所のアドレスを書きそれを私の手へ渡した。

「此處へおたよりを下されば、私の手許へ屆きます。喜んでお迎へに行きませう」

(いつかは音車顏城へ行つて見やう)

私は本當にさう思つた。

黃金、錢、石炭、等々、無盡に藏してゐる戈壁の沙漠に、屹然と立つてゐる音車顏城!そこに巨財を擁しながら、集まつてゐる傑士の群!

何かやり出す!きつとやり出す!

(いつか音車顏城へ行つて見やう)

私は本當にさう思つた(大團圓)

調査團暗殺計畫 中國共産黨省委の恐るべき陰謀發覺

【ハルビン特電四日發】聯盟調査員の到着に際し調査員に危害を加へんとするものありとの情報頻々として集るので特區警察當局は嚴重警戒中一日警戒の目をかすめて窃かに支那語、朝鮮語で印刷した聯盟調査員暗殺を煽動した多數のビラをハルビン及び傅家甸の勞働者の集まる場所に撒布したものあり、特區警察においては多數の嫌疑者を引致秘密裡に嚴重取調べ中のところ右は中國共産黨滿洲省委員會の仕業であること判明した、省委員會執行機關は傅家甸にあつて最近多數の聯盟員が當地に潜入し調査員の視察は滿洲國承認の前提であり資本主義列國の市場化せんとするものだとの理由で調査員に危害を加へ混亂狀態に陥れんとするもので朝鮮共産黨、全露共産黨並びに反吉軍とも連絡し相當大規模の計畫を廻らしてゐたこと判明し當局を驚かしてゐる、彼等の資金が案外潤澤であるのに當局も一驚しその出所を取調べてゐるが目的のために手段を選ばぬ張學良が彼等を利用せんとして資金の大部分を支出してゐる模樣である

露國に嚴重抗議か

【ハルビン四日發】近時テロ團の陰謀頻々たるものあるためハルビン特別警察ではこれ等不穩分子の根本的掃滅に全力を擧げてゐるが、曩に檢擧した赤色テロ團露國人百十九名の嚴密周到な訊問調書を新京政府に送り滿洲政府はこれに基き勞農ロシア政府に對し嚴重なる警告的抗議を發する模樣である

通化籠城の邦人は未だ脱出せず

附近九縣の公安隊と合同し大刀會匪の暴動計畫

四日午前九時奉天總領事館に達した山城子駐在山本警部補よりの通化方面の情況に關する電話報告に依れば一度通化脱出を傳へられた興津副領事並に在留邦人は未だ領事館に籠城し荷物取りまとめを急いでなり、このため脱出は二、三日延引する模樣であるとの噂が盛んである、この噂は興津副領事及邦人の通化脱出を引延し、一方警察隊の出動を阻止せんとするための韓大隊長の宣傳と思はれる節も多分に在るが、ともかくも右の噂に依つて未だ脱出を行つてゐないことが判明した、尚兒山子、五道溝、安口親、五人班、大吐川、三源浦等各地の公安分局及び公安大隊は大刀會匪に參加し、東邊九縣も大刀會匪と連絡し、大暴動を計畫し、金川縣の公安局及び同公安大隊は既に三日兵變を起し逃走、各地にて暴行を働いてをり、このため柳河縣にも危機せまり同縣公署及び公安局要人の家族は四日馬車三十臺にて山城子に引揚げ又柳河駐在警察署員及び在留邦人も近く山城子に引揚げの豫定で準備中であるが、各地に横行する大刀會匪は何れも日本警察隊恐るに足らずと豪語してゐると【奉天電話】

遠からず邦人は救出し得る

林警務局長歸旅語る

林關東廳警務局長は通化危急の報により赴奉中であつたが三日午後八時大連着八田滿鐵副總裁、三宅前關東軍參謀長と會談後歸旅したが語る

通化方面の現狀は大體滿日の朝刊に出てゐる通りで興津副領事以下全部無事なる上于芷山司令と反軍首領との

交渉も 順調に進んでゐるやうだから遠からず全員を救出し得るものと思ふ、わが警官隊は今日も依然通化西北方三里の千五百米高地三源浦にあり、元氣旺盛で奉天からの待機命令に對し髀肉の嘆に堪へぬやうであるが然し警官隊の動作は地域的關係上森島總領事代理に委任した形であるから外交的手腕でこの目的が達せらるればそれに越したことはないわけであり軍でも及ぶだけの助力をなしつゝあるから近く良い結果が得られると思ふ、有本警務課長も現地に行くべく意氣込んでゐたが後方連絡はより以上重要だから

奉天に 留るやう慰留して置いた、尚特に一言したいことは

現業 に勵む社員の爲め教化講演を乞ふ事となつたもので同

花に煙むる春雨は夢のやうに美しい、點々としてゆき交ふ蛇の目傘の姿も一入春の情趣を添へてくれる、降りはじめた三日の夜半ごろは雨勢やゝ強く風さへ加はつて滿開の一番咲きを無殘にふき散らしたが、程なく霧のやうなやさしい春雨に變つた、萌えるやうな若葉もこの雨でグリンの濃度を増すだらうし、星ケ浦、老虎灘の櫻もいよいよ次の日曜日は一齊に滿開の美を競ふことになるであらう【寫眞は四日正午大廣場で寫す】

牡丹江占據

依田〇團

今回の關東廳警官隊の通化派遣は某々方面からの求めに應じ圓滿なる協動同作のもとに行動をとりつゝあるものである

【ハルビン特電四日發】海林に到着した依田〇團は休む間もなく直に前進二日午後二時完全に牡丹江を占據した、同地にあつた劉萬海王德林の兵四千は戰はずして東方に退却牡丹江鐵橋を爆破したので、わが騎兵〇隊は破壞所偵察のため牡丹江南方河岸に出動したところ對岸から一齊射撃を受け戰死二名負傷特務曹長以下二名を出した、尚依田〇團は牡丹江と海林に一部を殘し三日主力は寧古塔に入つた

東部線反吉軍露人を拉去

【ハルビン特電三日發】東部線における反吉林軍は退却に際してロシア人二十五名を拉致した、うち十七名は警察官他は東支從業員、職人その他で女教員一名も混つてゐる、その目的は不明であるが生死を氣遣はれてゐる

宮長海の部隊高力帽に蟠居

【ハルビン特電三日發】反吉軍中の荒武者と云はれてゐる宮長海は高力帽に蟠居し松花江を下つた我が〇〇部隊を襲撃せんとして頻りに隙を狙つてゐるので我が第三艦隊は新甸に一個大隊五站に野砲〇門木蘭にそれぞれ若干部隊を置き彼等に備へることゝなつた

四勇士の遺骨

昨夜長春到着

盤石黒嶺石において戰死した〇隊歩兵軍曹齋藤鐵太郎以下四名の遺骨は三日午後九時四十分長春に到着した、因に敦化方面その後の情況は依然平穩ならずわが出動部隊は協力兵匪の掃蕩に努力してゐる【長春電話】

「後藤伯との約束今果すのだ」

本間俊平翁けふ來連船のサロンで語る

かつて德富蘆花氏や森鷗外博士等より「秋吉臺の聖者」として稱へられた本間俊平翁は四日入港あめりか丸で來連した、そのへり下つた生活と深い信仰ぶりに世の幾多の迷へる者のよきパイロットとして驚歎され、そのもつ教化の力はこの混沌たる世相に明るく反映してゐるが今回滿鐵地方部では奧地にあつて黙々

翁をサロンにたづれると語る

滿洲には後藤伯とお約束をして是非一度はと思ひ乍ら延びくになつて遂に今日になつた、全くの初めてだ、後藤伯とのお約束は何十年ぶりで實現したわけだ、滿鐵の御依頼によつて沿線の現業の人達に精神修養上の話をするんだそうだが總べてのプログラムは全然知らない、秋吉臺の方は家のものに任せて自分は一昨年の暮から神戸に出て更に約半年前から東京に居る、これは自分だけの考へだがこんな事をお話しようと思つてゐる、珍らしくも新しくもないが日本人の滿洲における心の置き所をよほど深い所に置かねばならぬ、一時の

金儲 や事業や大豆や山から金が出るなんてことに惑されることなく自分達の國が神武帝時代九州四國と平定するにどんな苦勞があつたか、その骨折をその苦しみを心として支那の人滿洲の人その他外の國の人に接したいものだ、滿洲の人達にも好い兄さん好い姉さんと云はれる樣な賴もしい心掛でやられればうそだ、こう云ふ苦しみをもたないで金儲をしやうなんて渡航する、即ち腰掛氣分は排したいこんな氣分は個人としても國家としても面白くない、今度は何日お世話になり何處に連れて行かれるか知らないが自分の信念に間違ひでもあれば教へて頂くつもりだ、要するにこちらの人に滿洲の捨石となり埋草となり土臺石となる覺悟が必要である、こちらには大森理事をはじめ大分知つた人が居る、殆どいたるところに居るそれだけに嬉しい旅だ、尚後の船で住友の常務田中作二氏も來てくれる事になつてゐる

大連基督青年會總主事稲葉氏等に出迎へられ上陸したが大連には八日迄滯在して金州、瓦房店、奉天等主要地を廻り朝鮮經由歸京する(寫眞は本間翁)

同僚を弔ひつゝたいん丸船員歸る

卅一名の淋しい歸國

たいん丸に乘組み沈沒の際幸ひにも生命を全うした船員三十一名は海員組合員、山下汽船代理店員、吉林丸乘組員その他多數の見送りを受けて五日午前十時出帆のばいかる丸に便乘、行方不明の五名の友人の身の上を思ひ、後に心を殘しつゝ神戸に向け旅立つた、三十一名は二等と三等に分乘してゐたが二等の一號室には行方不明の五名の姓名を書いた白木と唯一の遺留品であつた帽子とを正面に飾り線香を立てゝれんごろに弔つてあつた、船室に一同を訪ふと服こそ潔新らしい作業服を身につけてゐたが一夜の休養も心の疲れをなほすに足らぬと見え、困憊し切つて顏色は尚蒼ざめてゐた

今日も赤霧が深いな、時化より霧が怖ろしいなア

とお互に顏を見合せて沈沒當時を思ひ出してゐる樣であつたが、一同は記者に對して交々語る

色々御世話になりまして、何ともお禮の申上げやうもありません、我々は一先づ神戸の本社に歸ることになりました、船長、水夫長、火夫長の三人が糸崎丸で現地に再び向ひましたが、どうせもう駄目だと思つて、我々は船中でも五名の同僚の靈を慰めて行きます、三十五名も助かつて五名だけが未だに行方不明だなんて、こんな淋しいことはありません、せめて死體だけでも早く見つかればよいと思つてゐます、貴紙から御心配をかけた市民諸氏によろしく御傳へ下さい

吉林丸又御難

沖に流されて

なほ顚覆の際腰部に打撲傷を負ふた清水一雄氏は腰骨突起を三個所折つてゐるため、當分大連醫院に入院加療することゝなつた

ガスの爲衝突した吉林丸は三日入港、直に寺兒溝危險棧橋に繫留積載の石油積卸作業を行つたが三日夜の強風の爲ロープが外れずるずると引づられて沖に流され一時は大騷ぎを演じた

黒石礁に溺死體

一見會社員風の邦人

四日午前九時ごろ黒石礁滿鐵水泳場西方約十三丁の海岸に年齢三十五六歳の日本人溺死體が漂着してゐるのを通行人が發見、沙河口署に屆出でた、同署では熊谷司法主任竹澤警醫師その他係員急行檢視した結果、死體は死後約一ケ月を經て全身腐爛し鼠色のジャケツの上に富士綿のワイシャツ、黒のネクタイ、左手に八型金側時計を着け一見會社員風の男であるが外傷なく他殺の疑ひはなきも投身自殺者らしく身許不明のため目下同署で取調中

飛行學校機淺川で墜落

【所澤四日發】所澤飛行學校學生横山初見(二三)は今朝七時甲式四型戰闘機六百四十五號を操縱僚機七機と共に各務ケ原に向ふ途中七時半頃淺川驛(中央線)東方畑地に墜落した

横山軍曹慘死

【東京四日發】所澤飛行學校三十九期學生横山初兒軍曹は四日午前七時十分甲式四型戰闘機を操縱各務ケ原に向ふ途中淺川驛東方畑地に墜落慘死した

石油關係者の視察團來滿

四日入港あめりか丸で關西石油會社、山陽石油會社合同になる滿鮮視察團一行二十名が來連した、一行を代表して伊藤藤吉氏は語る

商用上の視察が主なるもので新興國滿洲の需給關係をよく見ておきたいと思つてゐる、今日のうちに旅順を見て北上する氣だが特に滿鐵が力を入れてをられる撫順のオイルセイル事業については出來るだけ充分視察する氣だ

自動車と衝突

四日午前九時ごろ市内聖德街五丁目一二番地先十字路で同所に來合せた鐵山町二三山田源太郎の操縱する自動車と市内信濃町一三五木村パン店員王智興(二〇)の自轉車が出會頭に側面衝突し王智興は車上より跳飛ばされて左手骨折、顔部を強打して田邊病院に收容された

カフエーの日本間廢止

斷行に決定

カフエーの風紀淨化を目的とする日本間廢止問題は屢々所轄署から營業者に内命を下してゐるが、その都度延期願が出され容易に實現を見なかつたが、大連署ではいよいよ七月二十日附をもつて斷然撤廢さすことゝなり三日附管内營業者に嚴達するところあつた

不正事件の保田に營業取消

大連警察署では軍用トラック不正事件として目下軍法會議豫審に附されてゐる市内越後町二四番地保田元三郎に對しトラック營業權の取消處分を行つた

竹内滿新支社長

滿洲新報大連支社長竹内坦道氏は一昨春左眼失明以來兎角執筆に不自由を感じて居たが、今回同社と諒解の上圓滿引退四日退任挨拶の爲め市内各方面を歷訪した、尚ほ同氏は在連二十三年この倦まざる日々の健筆ぶりに對しては知友間から深い敬意を拂はれて居た、今後は電氣遊園内の木魚庵で悠々自適すると

旅順重砲隊記念式延期

四日擧行の筈であつた旅順重砲兵大隊の記念式典は雨天のため延期し六日改めて一層盛大に行ふことゝなつたが同隊では四日不參の方も六日は是非萬障繰り合せ出席を希望してゐる

刀劍座談會

五日午後三時半尚武の節句に大連刀劍同好會では西公園南華園にて刀劍に關する座談會と參來の試斷を行ひ觀櫻の宴を催すと

本社見學

撫順永安尋常小學校兒童百九十七名は島巣訓導引率、公主嶺尋常小學校六年生三十七名は山本、大塚兩訓導引率の下に四日午前中夫々本社を見學した

天氣豫報

北西の風(曇)後晴 五日

各地溫度 四日午前十一時

	最低	最高	四日午前十一時
大連	九、八	一〇、六	一一、一
旅順	七、三	八、〇	[illegible]
營口	八、三	六、四	[illegible]
奉天	八、三	七、五	[illegible]
長春	二、九	八、五	[illegible]

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一七九圓二五錢

本社懸賞 滿蒙維新の歌 佳作歌詞(上)

嚴選を經た五篇

園山亘之助作

(一)
瑠璃の空はてもなき
大地の彼方陽は出でぬ。
歡喜にもゆる民草は
三千餘萬手をとりて
いざ朗かに建國の
今日の維新を唱へつゝ。

(二)
軍閥の罪打倒しぬ。
平和の女神下り立たし
恵みも深き王道に
隣國の御代は復古して
族旗翩翻花の影

(三)
義軍迎へて大同の
契ひは堅し鐵のごと
國と國との交りは
いよいよ厚く東西の
うまし文化を八千草の
花と咲かせんこの國土。

(四)
解放の日よ民の日よ
自由の國は築かれぬ。
忠實業にはげみつゝ
誠實政を治めなん。
輝しからずや、新國旗
南の風にひらめく日。

(五)
五絃の琴を彈ずらん。

吉田不二男作

(一)
あゝ黎明は輝けり
張家二代の暴戻に
三千萬の民衆の
呪ひの雲に閉されし
滿洲野の山河朗かに
平和の鐘は高鳴りつ。

(二)
待望の日は來りたり
五族協和の理想鄕
古聖の道に則りて
文化の華を開くべく
輝き使命を胸にして

(五)
瑞雲爛たり、糺縵々
日月光華、旦復旦。
滿洲國の名を負ひて
年は大同寿たちぬ。
讃めよ、我等の平和の地。
うたへわれらの地の樂土。

(三)
滿洲野の民に歡喜あり。
見よ清新の氣は燃えて
三千萬の民衆の
高鳴る血潮創業の
緒繹は成りぬ滿洲の國
五色の旗の燦として
樂土よ永久に光あれ。

(四)
東風跳ぶ興安に
開拓の斧振ふとき
曠茫千里蒙古路に
長城の月仰ぎつゝ
努力の汗を讃ふとき
平和の民に榮あれ。

(五)
瑞雲調むる東に
歷史榮ある大日本
同文同種共榮の
堅き盟ひの友として
滿洲野の民よ諸共に
永久に守らむ平和鄕。

文字組合當選者

去る三月三十一日の本紙上で大連に於ける信用ある著名な會社商店を紹介し、この廣告中に新春の懸賞として、文字組合懸賞募集を發表した所、俄然讀者の多大なる人氣を呼んで遠く内地各地方よりも續々と解答のはがきが殺到してその總數は實に八千四百二十三名の多數に達した、本社は係員に於て解答の正否を慎重に審査し、公平なる抽籤の結果左の通り當選者を決定した、賞品は大連市内は本社に於て直接本人に交付するから六日午前中に受取られたく、又沿線及内地方面の當選者へは各々郵送することにした

▲一等 大連市榮町二ノ二七、松尾壽夫

▲二等 大連市聖德街一ノ三四八松下正雄

▲三等 大連市能登町二二、松本元一△沙河口大正通七二、大谷百井壽々代△旅順市鮫島町六、耕△乃木町十一ノ廿七、福田幸子△彌生町三八、戸田方山崎春治△大連市北大山通八ノ十三、佐藤俊雄△敷島町六八、加藤和子△近江町五十二、新井穂雅△大連沙河口元町二二三、濱崎孝△同白雲町三、安田ゆき△長春郵便局電信、高田守△鐵嶺驛通西、村田太鶴△公主嶺櫻町一ノ二、正隆銀行内緒方テル子△奉天平安街二三、橋和則△瀋陽店、鹿島縣姶良郡重富町、鶴木洋服店三郎△北海道室蘭市榮町一八、渡邊一郎△奉天松島町一五、松澤忠△奉天霞町十六、河田富久子△市内周水子小野田セメント、金森峰雄△遼陽白塔寮四九、埼田勇二△湯成四旅團歩兵第五聯隊五中隊、飯田雄次郎

武門血笑記 (134)

下村悦夫作　布施長春挿畫

女郎蜘蛛（三）

「お蓮、久しぶりぢや」

源之丞はお蓮の枕頭に座ると、その縲帶の隙からはみ出してゐる片つ方の目で、凝乎とお蓮の顔を見下ろした。

「其のお顔は？」

お蓮は聞きたいと思ふ事を眞先に云つた。

「怪我をしたのぢや」

源之丞は冷たい笑ひを口許に浮べて答へた。

「ひどく？」

「いや」

源之丞は輕く打ち消して

「それよりも、お前、何かあつたさうで」

「…………」

お蓮は無言で、源之丞の目を見返しながら、その蒼ざめた顔をこつくりさせたが、直ぐ

「よく來て下さいましたのね、妾……」

と、眼をしばたゝきながら

「會ひたかつた！」

と、少女のやうにぽつと顔を赤めた。

二人とも、心の中で、云ひたいことが、先を爭ふやうに縺れてゐた。その癖、二人とも、何かを憚るやうに、ぢつと顔を見合はしたまゝ、默つてゐた。

「白須賀の宿で、陣野を撃つたのはお前だつたのか」

暫くして、源之丞が、口を切つた。

お蓮は無言で頷いた。

「あれから、ずつと此方に？」

だが、お蓮は、源之丞のさうした言葉に答へないで、不意に

「源之丞さん！」

と、息を喘ませながら、その細やかな手を源之丞の膝頭に乘せて

「妾を連れて逃げて下さい」

と、ぐつと指の先に力を入れて搖つた。

「逃げて呉れい？」

「えゝ、妾もうこんな暮しが嫌で嫌で堪らないの、それに此處何だかすきが廻つたやうな氣がして……」

お蓮はぢれつたさうに、その美しい眉を顰めた。

が、源之丞は、無言で胸紐をも

たまゝ、凝然とお蓮の顔を見下してゐた。

「厭？　妾がこんな身體では？」

「厭ではないが」

「では、何故」

「今宵にもか？」

「ええ」

二人は、また無言で探るやうに眼を見合せた。

と、その折り、づかづかと這入つて來た八公

「へえ、お屋敷から御手紙が參りました。急ぎの御用ださうで、直ぐ御覽になるやうに、と云ふ事で」

と、獨りで喋りながら、お蓮の枕頭へ一通の手紙を置いた。

「で、使の者は？」

面倒臭さうなお蓮の口調だ。

「玄關で待つてゐます。おつと明りをつけなけりや」

と、八公急に氣が付いたやうに部屋の隅から行燈を持ち出して火を入れる。

「源之丞さん、見て下さい」

「ふむ」

源之丞は苦笑ひをしながら、手紙を取り上げて封を切つた。

（前略此手紙被見次第使の者と同道にて町駕籠を雇ひ當屋敷に罷り越す可く候　お豐どの）　お蓮殿

と、源之丞が讀み終ると

「へん、馬鹿にしてるわ、八助、どうでもいゝから使の者を歸してしまひな！」

お蓮は鮑もほろろの調子で云つた。

龍の娘

早川雪洲主演　映樂館上映

「フー・マンチユー博士の祕書」及び「續フー・マンチユー博士」の續篇で、原作は前二篇と同じくサックス・ローマーの作、監督は「青春倶樂部」のロイド・コリガンで、主演は唯一の支那女優アンナ・メイ・ウオング、前二篇でフウマンチユー博士になつたワーナー・オーランド、及びフレツチヤー・フランセス・デードが早川雪洲で、ズラムウエル・フレッチャー助演しこの間物故したジョージ桑も一寸顔を出す

物語りは、死んだものと思はれてゐた復讐鬼フー・マンチユー博士（ワーナー・オーランド）が二十年後のロンドンに再び姿を現はし二十年前後の毒牙を逃れたサー・ジョン・ピートリーを毒煙草で殺害する處より始るフー博士出現の報にピートリー邸に馳せつけた警視廳の支那人探偵アー・キー（早川雪洲）は拳銃でフー博士を狙撃し重傷を負はせる、そしてフー博士は娘でロンドンの女王と噂されてゐる女優リン・モイ（アンナ・メイウオン）の下に逃れ歸り、ピートリーの一人息子ロナルドを殺すことを誓はせて瞑目する、その後リン・モイとアー・キーの間に物凄い競爭が行はれるが、最後にリン・モイはアー・キーの彈丸に倒れアー・キーも死んで、怖ろしい龍の呪縛が破れて行く

この映畫の持つ吸引力は場面の獵奇的な點にある、この獵奇的だと云ふことを除けば、ストオリイも演出も演技も、昔流行した冒險映畫を音畫化したものでしかない、トーキーとしては割合に效果を上げてゐる、殊に度々用ひられてゐる神祕的なドラの音はこの映畫の獵奇趣味をいやが上に煽つてゐる、又死んだフー博士の聲が聞えて來る處等もトーキーなるが故に出て來る面白味だ、映畫としてはロイト・コリガンの監督よりもヴイクター・ミルナーのキヤメラに感心させられる點が多い

俳優ではワーナー・オーランドよりもアンナ・メイ・ウオンとにミステリアスならんとした演技振りと大時代がかつて些か氣になる、しかし二人とも會話は豫想してゐた程ギゴチなくないオーランドは例の如く、ジョージ桑のエキストラ振りは淋しい早川雪洲主演のトーキーとして觀客には喜ばれるだらう、例によつて適度に邦人タイトルが挿入されてゐる（映樂館にて上映）

◇◇令孃と與太者◇◇　蒲田獨特のナンセンス映畫、野村浩將監督作品で、結城一郎、井上雪子主演、若水照子、磯野秋雄、三井秀男助演「丁髷便衣隊」（小泉嘉輔、大林梅子主演）と共に中央映畫館にて上映【寫眞は結城と井上】

滿洲法政學院 十周年記念 模擬裁判を實演

滿洲法政學院同窓會及學友會主催に係る同校創立十周年記念の模擬裁判「カフエー女給殺し」實演は五日午後七時から協和會館で開催するがその概要及び役割は左の如くであると

▲概要　京城帝國大學を卒業した白神一男は朝鮮都督府鐵道部技手を辭して大連市櫻花臺に轉地靜養し愛妻艶子を連鎖街カフエー日輪に女給として働かせ辛うじて生活を續けて居つた、月日の經つに從ひ妻の素行に疑を懷いた彼は苦惱の結果より逃れん爲め齋ろ愛妻を殺害し愛兒を道連れに自殺せんとしたが遂に未遂に終つた

▲役割　被告人白神一男（友田亮爾卒業生）裁判長小野實雄（講師）檢察官長吉三郎（講師）陪席判官立川増吉（卒業生）同村上英壽（在校生）書記田中通德（卒業生）辯護人木原鐵之助（講師）同大波多其一（卒業生）同山路德松（卒業生）證人白神艶子（カフエー日輪女給重美）同有馬惣吉（政本秀治郎卒業生）

川畑靜子一行 萬歳と舞踊 五日より大劇で

東京淺草を出發點として各地巡業中の舞踊と萬歳川畑靜子、杉本松月、東雲立坊一行五十餘名は大連劇場にて五月五日初日にて開演する事と決定したが重なる演藝萬歳舞踊、少女の演藝、コミック七變化等入場料は特別の大勉強にて五十錢均一であると

トリック專用の ステージ建設

新興キネマが嵐山に

新興キネマではトリック方法に新しい道を開くべく豫てより研究中であつたが漸々これが成案を得てトリック專用のステーヂを嵐山に建設する事となつた鐵骨總建坪五十坪のもので五月早々工事に着手するこれは特殊の設計になるホリゾントライト設備は勿論モデルワークに必要な一切の設備が設置される筈でこのステーヂに依り始めてモデルワークとカメラワークその他のトリック技巧を結合した所謂復合トリック撮影が可能となるわけである

噂話

大日活の長稗大が今日の定期船で歸つて來たがお土産話はと聞くと「まあ見てゐて下ッせ……」と例の如くニヤッイてゐるが▲長氏の話しによると新興の立花氏は五日に京城に到着し、同地から飛行機で來連するとのこと▲立花氏も色々計畫してゐるさうだが、その内容に關しては長氏曰く「まあ見てゐて下ッせ……」▲但し妻三郎の同件は全然誤傳で妻三郎は「成吉斯汗」のロケのため本月末頃來連するかも知れぬと

滿洲日報
發行人 編輯人 印刷人
大連市東公園町 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢
廣告料 普通一行 特別一行 指定

調査委員きのふ午後 滿洲國鄭總理を訪問 建國並に内政實情聽取

調査委員は四日午後二時より國務院に鄭國務總理を訪問した、委員側は五委員ほかにハース事務長、吉田大使、渡大佐、鹽崎書記官など同伴し、滿洲國側では國務總理鄭孝胥氏、國務總理秘書鄭垂氏、駒井總務司長が出迎へ秘書長室に迎へて會見、鄭國務總理とリットン委員長との間に膝つき合はせて滿洲國成立以後の内政の諸事情につき特に滿洲國發生の歷史的事實にまで亘り和氣靄々裡に會談し約一時間半の後三時四十分委員は鄭垂秘書長等に送られ引揚げた【長春電話】

問題は四日中に解決 大橋司長、ハ事務長訪問

滿洲國大橋外交部總務司長は三日午後三時半よりヤマトホテルにハース聯盟事務長を訪問、鹽崎書記官も立會つて一室に入り密議したが、調査團の滿洲國入國に先だつて解決を要する顧維鈞入國問題に就いて協議せるもので、同五時半大橋司長は辭去、當日の會見に於ては顧維鈞問題は遂に片づかなかつたが四日午前十一時より大橋、ハース兩氏は再び會見協議する筈で、四日中には問題は妥協を見出すであらう、右問題解決後調査團の滿洲國における行動の事務的打合せを行ひ決定する筈、一方調査委員團に同行して滿洲國新京に着した顧維鈞はヤマトホテルに入つた儘、姿を見せなかつたが、三日午後六時四十分ハフシー顧問を伴ひたつた二人きり飄然とホテル玄關を出て散歩に出かけた、服裝は奉天の時と同じ黑のオーバーにいつものステッキをついて食後の散歩といつた形、自分の身邊について滿洲國大橋司長と調査團側のハース兩氏が頭をひねつて協議してゐる心配も知らぬ顔に悠々と中央通りを濶歩、夕闇の西公園を約三十分ぶらついて七時二十分フラリとホテルに歸つた【長春電話】

滿洲國の施政方針 鄭總理、調査委員に說く

鄭總理は當日の會見において新國家成立の歷史並に建國式以來の滿洲國の内政について說明し鄭國務總理は將來の滿洲國の施政方針は自分が二十年間の體驗によつて民國政治の惡政をよく知つてゐるからその反對のやり方によつて善政を施したいと述べた、リットン委員長は總理の話を默つて頷いてゐたが新政府成立前の東北行政委員會といふものは人民の意思によつて成つたものか又は他の意思によつて出來たものかと質問を發したに對し、總理は自分は當時滿洲國に居つたものでなく政府が出來てからこの地位に就たので以前のことはその當事者に聞いて貰ひたいと述べた、尙鄭總理より委員に對し「滿洲國建國の歷史的意義」と題するパンフレットを贈呈するところあつた【長春電話】

調査や陳情聽取に 多忙な調査團 四日午前の長春ヤマトホテル

四日における國際聯盟調査委員一行は午前十時リットン卿、マレスコッチ伯、クローデル將軍、マッコイ將軍、ケネーの五委員が自動車でホテルを出發、わが領事館に田代領事を正式に訪問し、萬寶山事件の說明を聽取した、一方午前九時七分調査團に陳情のため鮮農鄭之一外三十名がホテルを訪問、大廣間においてコッツェ氏と會見事變勃發以來の慘虐、暴政、搾取壓迫などその實例を列擧して悲壯な陳情をなし、また三日來新した蒙古自治籌備委員代表蒙古人誌明阿、吉爾嘎戩郞、海達胡、瑪尼達喇、鮑清方の五名は午前十時十分調査團をホテルに訪問、リットン卿秘書アスター氏は撞球場隣接のバーを臨時に會見場にあて會見して陳情を聽取し、また午前十一時には外交部大橋總務司長はホテル階上にハース氏を訪問、前日に引續き膝をつき合せて顧維鈞問題に對する交渉を進めるなど、ホテルは新聞通信記者の右往左往で雨天にも拘らず頗る緊張してゐる【長春電話】

會見することゝなつたがその內容について仄聞するに調査員一行の內蒙古方面への視察は到底不可能なるため同地方における事情を詳細に說明するにあると【長春電話】

謝外交總長 答禮訪問

謝外交部總長は三日午前の調査委員訪問に答禮のため午後五時三十分ヤマトホテルに調査委員を訪問午前中の訪問の挨拶を述べた、委員側はリットン委員長以下各委員モーニングに改めホテル階下ホールに招き入れ、吉田參與員、鹽崎書記官も加はつてお茶を吞みながら午前に引續き滿洲國の諸事情に就いて懇談的に話し合つた、約一時間の後、六時卅分謝總長は委員に送られ辭去した【長春電話】

調査員一行 田代領事を訪問 四日萬寶山事件聽取

目下來長中のリットン卿一行は四日午前十時正式に長春領事館に田代領事を訪問、日支事變の遠因と見られてゐる萬寶山事件に對する詳細な說明を聽取することに決定したが田代領事は萬寶山事件に對し最初からこれに關係し、鮮農對支那人地主との間に交換された契約書等も保存されてあるため恐らく調査團の滿足するまで說明が行はれるものと見られてゐる、なほ事變當初から水田經營に從事してゐた鮮農及び彼等の總てに援助を與へてゐた長春鮮人居留民會長金東晩氏等からも萬寶山事件に對する詳細な陳情をなす筈である【長春電話】

齊王四日會見

興安局長齊王は四日午前九時半よりリットン卿一行と

萬寶山視察 殆んど絶望

調査員一行の隨員中支那通と稱せられるオランダのアンヂエリノ氏は萬寶山の檢證を希望してゐるが長春、萬寶山間は道路惡しく自動車の運轉不可能なる事情にあり、また最近萬寶山附近の第三公安分局が匪賊團のため包圍さるゝの事

滿洲問題の討議は 全報告書到着後 聯盟首腦部の意嚮

【ジュネーヴ二日發】聯盟首腦部では總會は理事會がリットン卿以下支那調査委員團の報告書全部を總會に提出し是に就いての意見を述べるまで滿洲問題に對する討議は行なはないと云ふに內定しこれを十九國委員會及び總會の決議案となすべくドラモンド氏は密かに各國代表部に右決議案草案を內示し諒解を求めた、而して斯かる手段は滿洲問題の討議を今秋まで延期することになるので猛烈な反對が起るものと豫想されて居る

顏代表また 日本を誣告 隨員保護に關し

【ジュネーヴ三日發】支那代表顏惠慶は本日聯盟事務局に對し報告書を提出したが、右は南京政府よりの電報に基くものでその內容は左の如し

奉天の日本當局側は聯盟調査委員隨行の支那委員の行動を妨害し情報蒐集に對する支那側の援助を阻止するため種々なる手段を執つてゐる、かゝる日本側の策略は十二月十日附聯盟決議案第五項に反するものなりとして左の如き報告をなしてゐる

支那側參與員一行は只一回新聞記者と會見することが出來たのみで、その宿舍の周りは刑事によつて包圍され、六、七名の刑事は常に支那委員の行動を監視し、刑事は支那委員の寢室にまで侵入しその談話に干涉し支那側委員への訪問者は阻止され、その內には強いて訪問せんとして捕へられた者も有る、支那側の一通記者はその寢室內に一日本人の居るのを發見し入口に逃れたところ變名の日本人が待構へてゐたゝめ遂に大聲で救ひを求めたので日本人は逃走した、調査員一行と雖も監視から自由とはいへない

ハルビンの 歡迎準備 警備に最も苦心

【ハルビン四日發】七日聯盟調査團が來着する事となつたので、當地は準備に忙殺されてゐるが一行は十二名の多勢のため旅館の割當に困つてゐるが、一流旅館モデルンを始めグランドホテルその他に準備を命じた、尙當日は歡迎委員と新聞通信員以外一切を驛構內に近づけない事としてゐる、何分滿鐵附屬地を離れた土地とて調査員一行の身邊に非常な危險が豫期され、支那街に本部を置く北滿共產黨員執行部は調査員襲擊を計畫してゐる模樣である

滿洲國新官制

二日國務院において定例閣議を開いた結果、土地局官制、國務院の文書取扱ひ暫行文程を決議した【長春電話】

滿洲國閣議決定 事項發表遲る

國務院において每週月、木曜日に開かれる定例閣議事項は翌日直に發表されてゐたが、これは或る支障を來すため今後は一切定例閣議事項を參議において討議した上、執政の裁可を得たのち初めて發表されることゝなつたため幾分發表は遲れることゝなつた【長春電話】

最後の調印打合 きのふ英總領事館で

【上海四日發】本朝郭仲學は日本公使館に來り翻譯打合せを續けてゐるが、午後三時から日支の他四國委員も參加最後のドラフト、コンミッチーを英總領事館に開催、日本側は岡崎、杉原兩書記官出席英、支、日三國最後の打合せをなし明日の調印一切の準備を了する事となつてゐる

協定正文八通 英文六日支文二

【上海三日發】停戰協定の日支文は本日日支間で交換し公使館は政府に請訓した、協定正文は英文六通、日支兩國文二通より成り、英文の分は日支兩國と中立國四國代表に交附し、日支文の分は日支兩國が交換するものである

信任狀捧呈の新駐佛長岡大使

【パリ發】新駐佛大使として赴任した長岡氏は赴任早々ジュネーヴに赴き日支衝突事件を廻る聯盟總會に我國代表として全國民の異常な期待と感謝の內に獅子奮迅の努力を續けた、寫眞は去る四月七日新任駐佛大使として信任狀捧呈の爲エリーゼー宮にドゥーメ大統領を訪問した長岡大使(右より二人目)

段祺瑞見舞

【上海三日發】安福派巨頭段祺瑞は本日重光公使、白川大將、植田、野村兩中將、村井總領事に對し鄭重な見舞電報を寄せて來た

日米陸戰隊 危く衝突を免る 不逞支人逮捕に際し

【上海四日發】三日夜半巡邏中の我陸戰隊に蘇州河對岸より投石せる數名の支那人あり、陸戰隊巡邏兵は之を逮捕せんとして共同租界內新閘路に武裝の儘追跡入り込んだところ、警備區域外のためアメリカ陸戰隊、租界巡捕等之に抗議し、犯人の引渡しを中にあわや米陸戰隊の衝突を惹起せんばかりの危機となつたが、漸く双方の將校驅けつけ諒解成立したが、爾今斯くの如き支那人を嚴重取締る事をアメリカ側より警約して無事解決したが當時附近支那人、外人は日支衝突とばかり非常な大混亂となり避難續出するに至つた

水兵犧牲發表

【上海四日發】陸戰隊發表=二日午後五時閘北〇大隊警備區域內で不發彈を發見屆出た者あり、同大隊は之を處置せんとしたるに突如爆發し一等水兵福島勘太郞、同笛木勇二名即死二等水兵馬場英雄輕傷

[illegible]せり

矢野參事官 上海へ 公使事務代行

【北平四日發】公使事務代行を命ぜられた矢野參事官は明五日午後四時北平發上海に向ふ事となつた、陸路を取るか否かは未定だが、多分濟南經由青島八日出帆の大連汽船の定期船で上海に赴く事にならう、尙矢野參事官は聯盟調査員が今月末頃再び來平するのでそれまでに一應北平に歸る事になる【寫眞は矢野氏】

日米主張對立 航空母艦と潛水艦問題

【ジュネーヴ三日發】本日午前開かれた軍縮會議海軍委員會においてアメリカ代表スワンソン氏は航空母艦は潛水艦と戰ふための防禦的性質を有するものであると主張して極力航空母艦について辯護し航空母艦のみ全廢又は縮減しこれに適應した潛水艦の全廢又は縮減を行はないと云ふやうなことはロンドン條約の精神に反すると述べた、右は潛水艦を防禦的武器としてこれが廢止に反對し、航空母艦を攻擊的なりとする日本の主張と明かに對立するものであるこれに對しドイツ代表は航空母艦を攻擊的なりとし、スワンソン氏の主張に反對したが、イタリー、ロシア兩國代表はスワンソン氏の主張を支持した

米建艦案 上院本會議可決

【ワシントン三日發】ワシントン、ロンドン兩條約の許容する最大限度迄海軍を擴張する權限をアメリカ政府に附與せんとする米上院海軍委員長フレデリックヘール氏提案の建艦案は二日上院本會議に附議されたが、之が審議の動議は本日表決の結果四十六對二十五票で可決された

主力艦問題 攻防の解釋對立 委員會を設けて緩和

【ジュネーヴ三日發】海軍委員會は主力艦の一般討議を終了したが主力艦を攻擊的武器なりと主張する國はドイツ、イタリー、ロシア、支那等を含む多數で之を防禦的武器と主張する國は日本、イギリス、アメリカ、フランスの少數派であつたので結局同委員會はこれ等相反する意見を緩和せる決議案起草のため小委員會を任命した

廣東獨立準備 陳濟棠の獨裁行動露骨

【廣東四日發】陳濟棠の廣東獨裁計畫は愈々露骨となり軍事的に再び南京政府より獨立すべくその宣言も近く發せられんとしてゐる、三日から廣東海軍の軍艦に對しその出港を禁じ虎門砲臺をして嚴重監視せしめてゐるが、中山艦外數隻は既に逃出した、陳濟棠は財政部長鄭祝萬を免職し區芳浦をその後任として「廣東稅關の四百二十萬元は共產軍討伐のため充當すべし」と發表させてゐる

學良の安福派 拖込成功か

【天津四日發】張學良は安福派拖込みを畫策中の處今回遂にこれが買收に成功し漸次その地盤は鞏固となつたと、尙學良は裁兵費教育費を集め專ら航空隊の充實を圖りつゝあるが、現在その勢力左の如し

偵察機二、戰鬪機三、組立中のもの六、外國より輸送中のもの十數臺でこの他に旅客機二臺を有してゐる

北支に活躍する 廣東派策士 吳佩孚と提携を策す

【天津四日發】廣東派が政權奪取の運動は益々猛烈を極めて居る、上海事變の十九路軍の活躍は明かに蔣介石派に對する爆彈の苦肉策である事は今更いふまでもない事であり彼等一派が策謀は益々暴峻烈を極めて居る、北支那方面においても廣東派は事變以來相當活動を續けて居る、仲文蔚、陳銘樞一派が密かに反張勢力と合流し東北政權の覆滅を策して見たが東北軍の內部的結束は彼等の乘ずべき間隙なく韓復榘の一派も今は全く無力なる食客たるに過ぎない狀態であり、吳佩孚の入京と共に直隷派と策應何等具體的進展を見なかつた、吳佩孚が策したが吳は學良に[illegible]されて彼の舊部下も大概[illegible]で一時に[illegible]近來吳佩孚が國防公司軍組織計畫が[illegible]進捗したとの內報を得た廣東派は再び活動を開始し廣東派策士の來往は頻繁となつたがその實現に就いては大きな疑問である、前日廣東派の重鎭前兩廣總司令劉振寰が重要使命を帶びて入津し目下英租界の某邸に滯在し何等か策謀して居り東北政權は大に神經過敏に其行動を內偵して居るが果して何なる夢みて居るか疑はしいものがある

ドイツ系露人 ブラジル移民團

國際聯盟附屬ナンセン國際事務所がハルビンに於て募集したドイツ系露人のブラジル移民團三百五十餘名は上海事務所主任クエノオード氏に引率され四日午前八時着列車で來連、當夜は大連丸船中に一泊、五日朝出帆上海へ向ふ筈

學良の私財太る 一般民衆の財産窮乏に反し 預金一年に一千萬元增加

【天津三日發】張學良は全般的に財源窮乏に拘らず彼個人は私腹を肥やすに專念する結果、預金は增加し增稅の一部、地方教育費を手に入れ、當地外國銀行の調査によるとこの一ケ年間に約一千萬元の預金增加を示してゐると

社說

移植民問題とその缺陥

移植民に依る海外發展、それは最近の日本內地を風靡して居る輿論であるが、滿洲新國家成立して、門戶開放、機會均等の國是が宣言されてから、殊に此地域商工業界への投資熱は盛んとなり、更に土地の富源を主とする移植民問題も喧しくなつた。土地の富源開拓といつた所で、礦山、林業、農牧等の諸項あり、いづれも軒輕すべからざる問題ではあるが、移植民問題の中心をなすものは農牧業である。

◇

當面の國家經濟からいへば、對滿今後の急務は、產業の開發と、それに伴ふ商工界の繁榮である。唯同じ產業にしても、農牧業の如きは之が建設に時日を要し、商品の販路開拓など一律に論ずることは出來ないが、大衆に安住の地を與へる爲には最も喫緊な問題の一といはねばならぬ。

現に統計的に見た移植民の數字からいへば、滿洲の在住邦人數は如何なる日本の植民地よりも劣つて居ない。殊に年々の增加率に於て然りである。試みに明治四十三年から第一回國勢調査の大正十四年まで、臺灣及び朝鮮が示した在住人口の增率と滿洲に於けるそれとを比較すれば、臺灣は九萬〇四十八より十八萬七千三百三十八に、朝鮮は十七萬一千五百四十三より四十二萬四千七百四十に、滿洲は七萬四千八百七十五より二十四萬一千二百四十八に增加し、臺灣は二倍弱に、朝鮮は二倍半弱に滿洲は三倍强の比率となつてゐるが、斯うした優秀な數字的成績を續けたに拘らず、植民地としての底力は頗る演弱だ。而してその原因は鄕土的安住心の缺けて居る事であり、安住心の缺乏は農牧業の如き地に卽した活動が劣つて居るからである。

◇

其處で問題は如何にして地に卽した移植民を奬勵し得べきかである。……

……ない。否漸次改善はされても根柢が甚だ弱い。深廣な植民的基礎を有する民族は總て獨立心が旺盛である。同じ日本の植民地にしても、その植ゑ方によつて强弱の別が多種多樣だ。これは吾人が移植民論の盛んな今日に於て、政治當局者の方針に俟つもの多いと共に、國民自から深察すべき事項となす所以の一端である。

オリムピック派遣費に 御內帑金を御下賜 畏し聖上の御思召

【東京三日發】聖上陛下におかせられては攝政御在位の當時から我國スポーツマンシップの發揚については深く大御心を垂れさせられて關係者一同感激し奉るところであるが今夏七月三十日からロスアンゼルスに開會される第十回オリムピック大會には我國からも約二百四十五名の精鋭をすぐつて派遣する豫定で文部省からは補助費十萬圓を支出する外六大學リーグの十萬圓寄附等を仰いでもなほ二十五萬圓の經費不足となり日本體育協會、オリムピック後援會等が斡旋して民間篤志家の寄附を求めてゐることを聞し召され特に「スポーツマンシップを通じて國際親善を圖るやう」との畏き御思召で派遣御補助のため御內帑金御下賜の御內沙汰あらせられ宮內省は文部省を通じて三日その實情を聽取したが近く正式に御出されることゝなつたがこの異例の御沙汰に接する文部省、日本體育協會等關係者は深く恐懼してゐる

在滿五年を顧み 實に感慨無量だ 參謀本部赴任仕度に 三宅中將來連語る

今次の北滿事變突發以來その智略縱橫よく皇軍の大捷を博し得た偉大なる功績を遺して參謀本部附に昇進榮轉した元關東軍參謀長三宅光治中將は三日午後八時大連着列車で來天より歸來赴任の準備を急いでゐるが

同中將 を列車內に訪へば流石在滿五ケ年間の思ひ出に感慨無量の態で語る

私は丁度昭和三年八月靑島から赴任し四代の長官に仕へ約五ケ年になり來任當時の某事件で奉天の東拓支店に行つたが今次の事變に際しても亦同所に暮らしたのも何かの因緣だつた、今度は重大なる時機に際し幸ひ國家に大過なく御奉公申し上げるを得て本懷である、既に滿蒙新國家の建設も成り將來愈々健全なる發展へ赴くを見て欣快に堪へぬ、參謀本部には始めてだが大尉當時第一師團附參謀として當時師團長に閑院宮殿下を仰いでゐたこともあり今度再び同宮殿下の下に

御仕へ する事となつた、

在滿五ケ年間を顧れば流石に名殘り惜しい

なほ同中將は三日星ケ浦ヤマトホテルに入り二泊の上旅順に歸り準備を整へて中旬頃愈々赴任の途につく筈である

奉天驛頭の劇的情景

關東軍參謀長として四代の司令官を補佐し、殊に今回の事變以來不眠不休軍務に精勵し滿洲國建國の大功勞者たる三宅中將は三日午後一時二十七分發列車にて思ひ出深き奉天に別れを告げ歸東の途に就いた、驛頭には本庄軍司令官以下軍部將校、臧奉天市長、臧省長代理、滿鐵、關東廳、領事館その他日滿各團體代表、在鄕軍人團等數百名の見送り人、發車と同時に中將の萬歲を三唱したるに對し中將は感激に充てる眼で擧手の禮を以て答へ、龍時情景裡に離奉した【奉天電話】

あらゆる努力で 軍隊を援助せよ 新國家の將來に期待してよい 代議士團の視察團

滿洲上海派遣軍並に在留邦人慰問の衆議院議員團一行は一半の使命を終へて三日午後八時大連着列車で來連したが車中に同團一行を訪へば團長政友會代議士內野辰次郎氏は左の如く語る

吾々は去る二十二日東京を出發し京城を經て奉天、長春、ハルピン、吉林等各地を訪問我が派遣軍將士並びに在留同胞諸士を親しく

慰問し 遼陽では多門將軍にも逢つて來たが國際平和と國權維持及び在留民保護のために盡くされた軍隊の活躍は眞に涙ぐましいものがある、この勇敢なる將士の勞を多とすると共に衷心より感謝の意を表せざるを得ない、新國家も着々確乎たる基礎を築きつゝあるが今後なほ多くの歲月も要しようし迂餘曲折の際日本は精神的にも物質的にもあらゆる努力を拂ひ吾が政府と軍隊の熱誠なる援助をなすべきだ、……

待し各自が大に活動すべきだ、居留民は勿論領事館及び軍隊等の熱誠なるこれが

援助と 努力は眞に涙ぐましく滿鐵等の支援も全く感謝に堪へぬ、今度の旅は本當に有意義に且つ愉快であつた

なほ一行はヤマトホテルに投宿三日滯留するが菊池良一（民）工藤十三雄（政）兩代議士は四日來天より飛行機にて錦州に赴き遼寧區附近の將士を慰問の上來連の筈で一行十九名の今後の日程は左の通りである

▲四日 民政署、滿鐵等を訪問午後油房その他市內各所見學、同夜滿鐵總裁招宴
▲五日 旅順へ赴き關東廳、衞戍病院等を訪問戰蹟を探ぐる
▲六日 各自由行動
▲七日 午前十一時發奉天丸にて靑島を經て上海へ赴き上海に三泊
▲十一日 上海發長崎丸にて內地へ歸還の豫定

一行の歡迎會

滿洲上海視察の途次來連した衆議院議員一行の官民合同歡迎會は竹內民政署長、小川市長、村井商工……

滿鐵六年度の決算 赤字は約二百萬圓 不況と時變影響等で

滿鐵六年度決算は世界經濟恐慌、銀安、滿洲事變等の影響をうけて各營業部門共深刻な減收を結果し總營業收入の八〇％以上を占むる鐵道、礦業兩部門においては前者は約七百萬圓、後者約一千萬圓近くいづれも前年度より減收となれる有樣であり、これに

對應する 營業經費の節約は左の如き槪算を示し協はず、總體費、支拂利息等も職制改正、時局關係並に金融市場の逼迫等のため總額的には割合に減少せず總局……

學良は又々最近 小刀細工を始む 菊地武夫男視察談

大連魚市場 移轉問題審議

滿鐵重役會議

外蒙の近況

大東京近く實現 世界第二の大都市

趙欣伯氏が私費で 親仁學舍を建築 來滿靑年に無料開放

公安局長に 朝鮮人を採用 滿洲國政府の英斷

總督、總監の 進退問題

5A－1

本社主催 關東州野球大會（第四日）

消費勝つ 對鐵道工場

全滿中等學校 準硬球大會

組合せ決定 準優勝戰

高山總裁披露宴 三日夜ヤマトホテルで

六日旅順市會

聯邦農事局が 棉花を賣出す

對米戰債の銀 償還決議案

英首相手術

中村學長來滿

共產軍の暴虐 福建石碼の慘狀

林警務局長

國際運輸支店 長會議

生糸引受 延期說 農林省調査開始

爆傷慰問の爲 有吉大使派遣

政友選擧法改 正委員會 首相の挨拶

人絹統制機關の 歐洲大同盟成る

關東廳辭令

滿鐵辭令

人事

うらる丸の船客

市況（四日）

株式

商品

錢鈔

市場電報

內地市況

けふは尙武の節句　坊つちやんの天下

一家擧つてお祝ひしませう

端午の節句の由來

けふは坊ちやん方が指折り數へてまつてたお節句だ、風薫る若葉の梢から隱見する鯉幟や吹流しの勇ましい姿を見ますと蕪村の「木がくれて名譽の家の幟かな」の句を思ひ出します、端午といふのはもと陰暦五月五日に催された五節句の一つで、最初は初午の意でありましたが午の音が五に通じ五が二つ重なるといふので吉祥とされ

▼…**重五** といつてこの日に厄を除け災を攘つてゐたものです、續日本紀によりますと聖武天皇の天平十九年五月五日の詔に「昔は此日菖蒲を用ふ、此頃既に此事を停む、今より以後菖蒲鬘にあらざるものは宮中に入るを許さず」とあるのを見てもこの節句がその以前から行はれてゐた事が明かです、中古の朝廷では菖蒲を內裏や殿舍の屋根に葺いて、五日には縫所から菖蒲綬（菖蒲の織物）を獻じ、天皇はその綬をつけて武德殿に出御し饌を賜ひ又菖蒲や蓬で拵へた藥玉をも賜はりました。この式が濟みますと左近右近の馬場で騎射の催しがありましたが

▼…**この** 朝廷の行事が民間にも傳はつて邊僻な山家でも軒端に菖蒲と蓬を葺き、藥玉を柱にかけ、菖蒲蓙や菖蒲枕を用ひ菖蒲湯を浴み、眞菰粽を食べ菖蒲酒を飮み、眞田編みにした菖蒲綬で打ち合ふ遊びまで一般に行はれました。またこの日乙女達はある願ひ事を祈るのに「思ふこと軒のあやめに事問はんかなはばかけよさゝがにの糸」と唱へて、もし軒のあやめの蜘蛛の絲によつて願事の成就をトふといふ風流なならはしもありました。

▼…**武者** 人形の起原に就いてはいろんな說があり、天應元年五月五日に早良親王が夷狄征伐に出陣の際伏見の藤の森神社に祈願をこめられたので、同社ではその日を記念するために甲冑をつけた武者行列を毎年行ふやうになりこれが端午の武者人形の起原となつたのだともいはれてゐます、このならはしは後世武家時代になつて朝廷の儀式としては衰へましたが嘉例として廣く一般町家にも益々盛に行はれるやうになりました　五月人形は三月のきらびやかな雛人形と反對に、凡てが強い大和魂を鼓吹した剛直な末賴もしい立派な男に成人させやうと希ふ

▼…**親心** から、虎退治の加藤淸正や、裸で熊と相撲をとつてゐる足柄山の金太郎、鬼ケ島退治の桃太郎、武人の典型と崇められる八幡太郎義家、新田義貞、豐太閤、さては武を象徵する鎧、太刀など武張つたものが大部を占めてゐますが、中には可愛い若葉人形や雅致に富んだ木目込人形なども可なり古くから一般に用ひられてゐます、男子の出世を象徵する鯉幟を用ゆるやうになつたのは德川中世以後、武士全盛時代の反映で、尙武の氣風が一世を風靡し男兒の武運長久を祝つたのが、後では單に男兒の出世祝福の意となりました。

▼…**端午** に粽や柏餅を造つて食べるやうになつたその起原は、昔楚の屈原が五月五日に汨羅に身を投げましたが、兄思ひのその妹が兄を弔ふため飯を供へますのに、飯が江底に達するまでに江中の龍が食べてしまはないやうにと棟葉に包んで江の中に投じたといふ傳說から始まつたのだといふ說があります、支那ではこの日雄黃酒を飮み、これを子供の額に王字型に塗り、或は家の壁や塀に撒布して五毒を攘ふのにも用ひます北平の少女達はこの日紅色の毛絲で小さい帶や虎、家虎、蠍、蛇、蜈蚣の形を造り、これを健符又は[illegible]花といつて簪として頭髮に挿し以て五毒を祓ふ慣習もあります（小林肝生氏談）

鯉幟

旅順　伊東千鶴子

ほがらかなる朝明のけはひ鯉幟今日は揚げむと勇みて起きつ

わが手ぐる紐にひかれて鯉幟ひよくも空にあがれり

咲き照れる櫻の上に鯉幟ゆたかに泳ぐその尾搢り搢り

矢車の在處知らすと幼兒を抱きて見さくる空の眩しさ

五月雛飾りし前に並びたる三人の子らが栗色の頰

世の何を羨しと思はむすこやけき男の子三人の母なり我は

朗かに……五月を踊る人々

けふは正午と午後二時から　滿日講堂で舞踊講習

滿鐵婦人社員と滿日婦人團員は去る三日午後本社講堂で鈴木龜次郞吉井正子兩氏指導の下に五月祭舞踊と「われらの飛機滿洲號の歌」の舞踊の講習をうけ一同熱心に猛練習をいたしました、寫眞は滿日婦人團員の「滿洲號の歌」の舞踊練習のところ、五つ六つの可愛い孃ちやん方も四五人まじつて立派に踊つていらつしやいました。今日は滿鐵婦人社員は正午から、滿日婦人團員は午後二時からいづれも滿日講堂で講習が開かれますから皆さん振つて御參加下さい、五月祭舞踊も「滿洲號の歌」の舞踊も共にだれにもすぐおぼえられるやさしいもので、しかも非常に優美であり、二三回の練習で立派に踊れるやうになりますから是非多數の御出席をお願ひします、一般の御婦人の御參加をも歡迎いたします。

子供が「むづがるのは　虫のため

その豫防と除去法

子供が 何故か機嫌が惡かつたり云ふ事を聞かなかつたりすると、昔の人はすぐ「虫が起つた」といひます。虫封じだの虫切りだのといふ加持祈禱は今も相當に盛んなのであります。加持や祈禱でそれが治るといふのは如何にも迷信ですが、虫が子供の胃腸內に入つて子供の機嫌が惡くなるといふのは一概に昔風だと笑へない事實なのであります。蟲卵の附着してゐる食物や、子供の不潔な手又は汚れた玩具物品をいぢつたりなめたりして消化器內に侵入し孵化して、條蟲蛔蟲蟯蟲等となると子供は頗る不快極まる病的症狀が現れて來ます。中でも蛔蟲は一番子供を苦めるもので、瞳孔は散大し、氣分は大層惡くなり、直に怒つたり、泣いたり、癇癪を起こしたりします。常にやさしい子もいふ事を聞かず急に精神が一變して來たり、神經的の子になると夜何事もないのに吃驚して飛び起きると同時に人事不省となる等といふ事もあります。又壁土や灰、炭のやうな變なものを喰べたりするやうな子にもなります。

蛔蟲は 四、五寸の黃白色をした蚯蚓のやうな虫で卵はよく犬猫等の毛についてゐたり土や砂の中にもあり、無論戶外の塵埃中にも居りますから、子供がこれ等の動物と遊んだり砂いぢりをしたりするのは危險ですが、さりとてそれ等をさせない譯にはいきませんから母親は注意して二六時間中子供の手を洗つてやる必要があります、指の間爪の中なども特に淸潔にします。海人草といふ藥は二の虫の豫防になりますし、サントニーネは虫下しに用ひます。

蟯蟲といふのは一分か二分位の小さな白い絹絲のやうな虫でその卵は殆ど肉眼では見る事が出來ませんが、この卵が一度子供の腸內に入りましたら二三週間の後には非常な勢ひで繁殖し、數百匹になつて、なかなか除去が出來難いものです。といふのはこの虫は直腸に巢を作つて就寢すると肛門の周りに絶えず出たり入つたりしてゐますので子供は痒いので寢ながら殆ど

無意識 のうちに手をやります指先についた幼蟲又は何時の間にか口から入るといふように循環的に繁殖をつゞけますなかなか全滅がむづかしいのであります。檢便の結果この虫がゐる事がわかりましたら服藥すると同時に藥用石鹸で灌腸を行ひ、就寢後、うすい酢の水で肛門の周りを拭きズロースをはかせるなり手袋をはめるなりし直接手が觸れないように致してやります。蛔蟲ほど子供の機嫌を直接惡くするやうなことはありませんが貧血、神經質となり健康狀態を犯されます。

條蟲は 生の豚肉、牛肉に附着してゐるものですから之等の肉の生煮や、生燒を子供が喰べる事に依つて起るのであります、ですから肉類を與へます時には充分氣をつけてよく火の通つたものを供する事が肝要であります。

おくさまの趣味（六）

近頃ダンスのお稽古

兎に角健康のために運動を

語る土田惠美子さん

大連西廣場土田寫眞館主土田寬一氏の長女惠美子さん（一九）は昨年神明高女を卒業して以來ずつと今日まで人文學院に通學して各方面の知識を求める一方、生花と仕舞のお稽古にもなかなか熱心で、來る九日の大連神社宵祭には寒紗仕舞に出演してそのあざやかな舞姿を見せることになつてゐます、二人の姉妹と共に御兩親の慈愛のうちにおつとりと健かに成長した惠美子さんは、謠曲や仕舞で養ひ得た落付のあるおとなしやかな態度で語るのです

▼―――▲

仕舞は寡多でつひ先だつて羽衣をあげました、謠曲は四五年前父と一緒に始めましたけれど父は唯今では止めて居ります、父の趣味つて別に取立て申上げる程のものもございません、寫眞の方は商賣氣を離れて非常にたのしみらしく時々寫眞機をかついで遠いところまで行くことがございます、寫眞機さへ提げてゐれば遠道も一向苦にならないらしうございますの

▼―――▲

それに先月からダンスをはじめました、毎晩お夕はんが濟んでから先生に來て頂いて父と母と私と三人で練習してゐます、トロットにブルース位どうやら踊れますけれど社交的な意味ではじめたわけぢやございませんからホールなんかにはちつともまゐりません、父も母もいろんな弊害のあるのをおそれて先生も御夫婦御二方いらして頂いてゐます、何しろ父の仕事が朝から夕方まで根をつめますしどうしても運動が不足になりますからその運動を補ふために、一つには氣分の轉換にとはじめました

▼―――▲

先年まで夜分青年會館へ出かけて若い方たちと一緒にボーリング、バレー、バスケット等をやつて居りましたが、血氣ざかりの若い人たちと一緒ぢや到底均衡のとれやう筈がなくつひやめてしまひました、でも今度のダンスだけは成功らしうございますわ、二時間もやりますと汗ぐつしよりになつて不眠症なんかどつかへとんでしまつたやうでございます、私？そう面白うございますわ、仕舞は氣分が落ちついていゝんですけれど運動といふ點から申しますと、さてもダンスに及びません、といつてこちらも捨てられないいゝ所がありますのれ、他に父の趣味と申しましたら時々映畫を見にまゐります位健康には人一倍氣をつけるたちでございますから麻雀だの碁だのも體をこわすからと申していたしませんしお酒も晩酌に五勺かそこら傾けますだけでお陰様で大變丈夫でございます、晴れた日には毎朝二時間ばかりも星ケ浦の海岸で體操したり散歩したりするのを日課に致しております、どんな寒いときでもお陽様さへ照つてゐれば海岸は暖いよと申しますの

滿日各地版

鳳城縣內の一部に獨立した馬賊王國
鄧鐵梅の一味公安隊長を通じ徴税、裁判、武器製造

【奉天】鳳城第八區赫文個の談に依れば頭匪鄧鐵梅は岫巖縣東門雜貨商永性德方に彈丸の製造工場を設け職工百八十名を使用して製造を續けてゐるが機械は熱河省湯玉麟の兵工廠より購入し途中官憲の監視を避けるため荷車に積み海城縣を經由搬入したが同縣公安隊長劉縣文は之を知りつゝ鄧鐵梅と氣脈を通じ援助してゐる、尚縣自治指導委員は巡警に依つて身邊を嚴重に監視され鄧鐵梅は鳳城縣第四區尖山窰を占據し尖山縣政府を組織し參謀長傳恩深（元鳳城縣公安局總務課長）を縣長に任じ政治を行ふ旨を布告した、即ち縣賦を定めて徴税し之に應ぜぬものは財產を沒收し又は裁判所を設けて訴訟を取扱ふ等鳳城縣第四區第六區第七區の大半は全く獨立して馬賊王國をなしてゐる

二密河口の戰に二警官戰死
健氣な覺悟を語る故坂元警部補の夫人

【本溪湖】四月二十八日朝通化方面の匪賊討伐の重大使命を以て出動したる本溪湖署坂元警部補以下〇〇〇名は奉天にて討伐警察隊と合し約二百八十名は山城子より四十邦里の道を徒歩にて通化に在留邦人救出の爲め急行せる途中五月一日午前九時通化北方二十五支里の二密河口にて大刀會匪約千二百名と遭遇し大激戰の結果本溪湖署の坂元牧之助警部補及皆島清人巡査の兩名は賊彈の爲め名譽の戰死を遂げた、賊團にも百五十名の死者を出さしめたといふから激戰の程想像以上のものがあつたであらう此の兩名戰死の報を得た本溪湖署では植田署長以下哀悼に閉ざされてゐるが記者は坂元警部補の留守宅に夫人ヌイ子さんを訪問弔詞を述べると新たに造られた佛壇から線香の煙り靜かに立ち昇る中に夫人は記者に語る

夫は滿洲事變發生以來度々匪賊討伐に署員と共に出動しますので常々御國の爲めに働いてゐるから何時賊彈に殪れるかも知れないがこれは覺悟の前であるからと語つてゐましたので今日の事あるは私も覺悟はいたしてゐますが事情がハツキリ判らない爲め充分夫が御國の爲め働いて下さつた事であらうかと唯それのみが案じられます

と涙一滴出さぬけなげな氣丈の夫人には記者も感激されるものがあつたが夫人は十歳を頭に生後間もない四人の子供を殘され尚且つ夫が御國の爲めに死したのは覺悟の前であると何等取り亂したる狀なきは武人の夫人として感に堪へない健氣丈夫であるが心中の悲痛はしらず顏に現れ仰ぐだも神々しき感に打たれ記者は辭し去つたが坂元警部補及皆島巡査は本溪湖署の最初の犧牲者で市民の同情は多大のものがある

坂元警部補の略歴

氏は明治三十年八月宮崎縣北諸縣郡庄內村に生れ大正七年三月宮崎縣立都城中學校を卒業同八年六月十六日關東廳巡査兼外務省巡査拜命奉天署を振り出しに奉天總領事館警察署英語通譯同十年十一月二十一日警部補に任官昭和二年一月二十八日東京の警察官講習所本科の課程を終了同四年一月二十八日本溪湖署勤務を命ぜられ今日に及びたるが尙武道は柔道二段の腕前にて署務に忠實熱心にて頭腦明晰將來を囑望されてゐた人である

皆島巡査略歴

氏は明治四十一年十月福岡縣大牟田市に生れ同所三井工業學校を大正十四年十二月二年終了し明治三年十二月龍山步兵第七十八聯隊に入隊五年十月歸休除隊昭和六年十二月二十日關東廳兼外務省巡査を拜命同七年二月二十九日本溪湖署勤務を命ぜられ下馬塘派出所駐在として今日に及んだ人である

本溪湖で市民葬
戰死を悼む本溪湖市民

【本溪湖】時局委員會を本溪湖地事會議室に二日午後一時より開催し多數委員列席の上通化附近にて名譽の戰死を遂げられた坂元警部補及皆島巡査の市民葬に關する件を協議左の通り大體決定を見た

一、坂元警部補は本溪湖市民葬とし皆島巡査は下馬塘と協議合同葬さすること

二、葬儀は小學校庭にて爲すこと

三、期日は遺骨到着の上日取を確める事

出動部隊歸る

【本溪湖】通遼に出動北滿警備の大任を果した第〇大隊第〇中隊の成田中尉指揮の一小隊は二日午前十一時着列車にて凱旋したが驛頭には市民多數が萬歲聲裡にこれを迎へ大岩所長市民を代表挨拶をなし成田中尉の訓辭ありて隊伍堂々〇〇守備隊に入つた

通化へ出動

【本溪湖】通化方面へ本溪湖署より二日午前三時四十分發列車にて巡査巡捕〇〇名が應援の爲め出動した

通化の部落民
我討伐軍を待つ

【撫順】二日午前八時頃通化東方約廿里の興京より撫順電話局長への公用電話によれば目下通化を中心とする東方各縣下桓仁、輯安、臨江、撫松、長白地方一帶には大刀匪公安隊員よりなる約五萬の民衆義勇軍が跋扈して通化領事分館に籠れる副領事以下在留邦人は于芷山軍の掩護により辛ふじて危難を免れてゐるが、叛軍等は昨今滿洲國をにくんで新五色旗の掲揚を禁止して部民に青天白日旗を掲げよと命令し部民は一日も早く日本討伐軍の來援を望んでゐるといふ

最早拔差しならず
寺西社長以下總辭職す
撫順不動産金融組合十一日に總會を開き役員改選

【撫順】從て貸付金の回收成績惡くて二進も三進も身動きされぬ苦境に陷つて悲鳴をあげてゐた撫順不動產金融會社の問題に就ては、その後會社當事者に於て極力債權者たる滿鐵本社に對し借入金の利率引下元金据置期間の延長等を嘆願すると共に他方株主即ち債務者とも協議して百方善後策を講じたるも、滿鐵本社に於ても勿論無條件で右の如き要望に副ふべくもなく又債務者等にも名案　出ですこゝもと會社當事者はいよ〳〵兩者の間に挾まつて手の下しやうなくこの儘では到底營業繼續の見込み立たぬこととなるに及び、今回現社長寺西圭五氏以下山下七太郎、田中廣吉兩取締役、中原靜光、中島新藏兩監査役はその任に堪えぬと同時に會社の前途を思ひ且は滿鐵乃至株主に對する責任上何れも連袂辭表を提出して會社を投げ出すに至つたので十一日午後一時より實業協會樓上に於て臨時株主總會を開催改めて社長以下の役員全部を改選し併せて會社今後の善後策につき協議する筈であるが、右につき山下專務は語る

當社の內容に就ては既に御存じの通りで申上ぐるまでもありませんが、十二月末まで一萬五千圓程度の未回收金が三月には三萬圓になり更に四月には三萬五千圓といふ工合にだん〳〵未收が嵩むばかりですし、滿鐵では會社の方で何等かの形をつけてくれれば直に要求に應ずるわけにもゆかぬといふし全くこの儘ではどうにもならぬので私等は責任上又株主乃至債務者の反省を促して今後に善處するやう役員總辭職の方途に出たわけです、臨時總會の結果役員や今後の對策がどうなるかは目下不明ですが株主乃至は債務者等の氣分が一致して善處することにならぬからには恐らく幾度役員だけが替つて見たところで駄目ではないでせうか

懷德縣農會から調査團へ陳情書
過去の縣狀を縷述

【公主嶺】來公の國際聯盟調査團に對し懷德縣農會々長より提出した陳情書の原文は左記の如くである

現在私等縣農會を代表致しまして農會長として謹みて國際聯盟調査團諸先生に過去の一切を御報申上ます、目下諸公調査の使命を以て慈惠的に渡滿せられ多大の御心勞の程を我等農民一同感激の下に萬腔より歡迎の意を表します、而して此の良機會に過去に於ける縣の狀況並に匪賊に蹂躪されたる經過を述べ以て貴調査團の

參考の一になしたいと思ひます、吾が懷德の西部遼河の流域は南北に貫通し樹木繁茂し從來匪團の匪藪淵となつて居り縣境西北の土地は悉く瘠地にして人民は爲めに非常なる貧窮生活をなして居りましたが、逐年凶作の關係上飢寒に迫られたる者千乃至萬に達しました、その上近來奉天省長張學良の軍閥時代の惡政による民の支出增加し一切の負擔は大部分農民より供給し平素相當の財產を有する者もこれがため殆ど貧者と變じ物價暴騰に次ぐ穀物價格の低減全農村における破產者失業者續出し昨年來頃より匪賊の數日增に多く掠奪殺人強姦等橫暴の極に達したため農民は大部分他所に移住し老弱者は死し幼年者は危險を冒し逃走父母妻子は東西南北に離散し其の慘狀は筆舌の盡すところでありません、何の罪ありて斯る浩劫に遭遇するのでありませうか、然るに突如として新國家が

生れまして農民は九死に一生の喜びを見ることが出來たのであります、新政治を公布して善政を施行すると共に重税を減少して人民の負擔を輕くすることは民政問題に對しても最も肝要な件とします、此の飢饉に際し當局より多大の糧穀を受け春耕の救濟も受け實に甘霖の降下したるが如く今や未來の福利は正に旭日昇天の勢にて民福に進みつゝあり新甚の永榮を深く祈願して謹みて本農民の誠意を披瀝します、併て調査團御一同樣の武運長久を祈ります、懷德縣農會々長趙祉軒、畢樹勳

公主嶺で一ト休みの國際聯盟委員團

長春行の途、二日午後三時四十五分着特別列車で公主嶺に着いた國際聯盟調査委員團は北嶺で一休みすることゝなり下車、各方面を視察して同六時發列車で長春に向つたが寫眞は向つて（上）右―ホームで挨拶を交はすリツトン卿と馬春田懷德縣長（同）左―農事試驗場牧場中に設けられた休憩所で挨拶する委員連と森獨立守備隊司令官夫人（下）お茶を飲んで疲れを休める一行

日滿露聯合大運動會
けふ蓋平で擧行

【蓋平】來る五日西門外中學校校庭において滿洲國の建國記念のため各中學校より各小學校職業學校等二十校の生徒約三千名の男女學生により大運動會開催、當日は附近部落よりの參觀者も隨分多數にのぼり如實に各民族の融合を示して當地としては未曾有の大會となるらう

傷痍軍人の慰問運動
大石橋でも旺ん

【大石橋】今次事變傷痍軍人後援會滿洲支部に於て森永製菓株式會社の後援に依り當地理事三谷製藥店及滿日支局員等と共に趣旨の宣傳に努めつゝあり、二日より店頭その他目貫の街頭に森永ミルクキヤラメルの外函又は同チヨコレイト外裝紙の投入函を配置し、「負傷戰士を勞りませう」のポスターを貼付して宣傳に努めてゐるまた三日午後七時からは公會堂で映畫の夕べを催したが趣旨敷衍の意味を以て地方事務所は公會堂を無料で電燈會社は電氣の寄贈をなす等多大の便宜後援を與へ近來にない盛況で葛目少佐、小栗中尉の敎化方面の實戰談は最も多大の感動を與へた

海城でも今晩講演映畫の夕

【海城】傷痍軍人後援會滿洲支部による海城に於ける運動は豫定の通り五日午後六時半より公會堂に開催される、入場料は無料であるが陸海軍兩省秘藏の各種映畫と島崎砲兵中尉の講演がある

十三名の戰傷兵收容

【鐵嶺】通遼方面の戰鬪に於て戰傷せる男士十三名は三日午後九時十分着列車にて鐵嶺獨立守備隊病院に收容された

鎭江山の櫻愈々滿開

【安東】二三日來の陽氣に惠まれた鎭江山の櫻も赤い唇を靜かにほころばせかけ安東デーにはチラホラ微笑み出したが二日の溫かさで全山の櫻は稚二分ほどの開花を見た、この調子では七、八頃には早咲きの櫻は散りかける事とならうが、滿開は先づお節句の五日頃から二三日と見られ二日夜から灯された二百三十個の雪洞も花の間を縫つてたてられたので一段と興趣を添へる事となつた

龍首山の杏

【鐵嶺】春漸く濃となり鐵嶺名所龍首山の杏花は今や滿開に近く此日曜日頃が最も見頃であらうと思はれるが山紫水明の天然の美に杏花點綴し一層の雅趣を沿へ沿線からの遊客を待つてゐる一日の消遊を試みるも又興深きものであらう

第廿七回旅順に閉塞の盛大な記念式擧行

★……白玉山麓記念碑において

【旅順】旅順口閉塞第二十七回記念式は第三回の壯擧當日たる三日午後二時から白玉山麓記念碑に於て擧行、主催者を代表し海軍班長吉田海軍中佐及び大塚在郷軍人分會長以下各分會員來賓參列の下に左の如く神官により嚴かなる式典を行ひ吉田中佐大塚分會長玉串奉奠について小坂長官代理、安藤要塞司令官陸軍代表（田中大佐）海軍代表（久保田海軍駐在武官）官衙代表（土屋高等法院長）滿鐵代表（山本驛長）市民代表（永山市長）順次玉串を奉奠ののち昇神撤饌の後閉式、更に參列の海軍無線電信所員により「閉塞隊」の軍歌合唱、栗田旭順師の薩摩琵琶等が演奏された、尚當日は式前第一小學校生兒童の參拜あり參列者は右のほか御影池、關東廳原兩課長、山村重砲兵大隊長、矢澤病院長、米內山民政署長、東畑市會議長、佐藤無電所長、清水警察署長、松浦分隊長、橋爪高等學校長及び日清寺婦人會員等多數にて盛大を極めた【寫眞は祭典の光景】

從來の弊を破り市民本位に

旅順の市民大運動會

【旅順】來る廿二日の日曜日をトし興行の豫定である旅順市民大運動會に關し從來の競技種目が兎角學生や兒童本意となり一種の型に拘束され眞の市民享樂を本意とする種目が乏しいので本年は從來の弊を破つて市民の家族會と云ふ意味を多分に含めプログラムを編成し場所も遠慮に依り一層の歡樂氣分を作興せしめるため黃金臺としては如何との說を唱へる者多く來る十日頃各方面の代表者參集具體的協議を行ふ事となつた

戰捷記念の安東デー大いに賑ふ

【安東】市民こぞつて祝福すべき戰捷記念日の安東デー（五月一日）はどんよりした空模樣に明けたが安東神社は早朝からの參詣人で賑はひ、打ちあげる煙火に一層景氣を煽つた、恒例に依る神輿も午前十時半から黃色の袢纏に紺のハッピ姿も威勢よく市中を練り祝賀氣分をバラ撒いた宵から張り出された、市內の高張り提灯も一入濃まやかに夜景を彩り新義州からも多數押し寄せて鎭江山は人の渦を捲いた、櫻もチラホラ笑ひ初めて山櫻は大きな柔い蘂を一杯出してゐるが四方に擴げられた宴席にはなまめかしい絃歌や三味の音締も春風に乘つてさゞめき、ほろ醉ひ機嫌の連中も頗る多く見受けられた此の日銃劍術や神社下の土俵では奉納角力に四肢の響きも勇ましく圍繞する群衆に力瘤を握らせる盛況を呈した、夜に入つてもヒッキりなしの人出で十一時過ぎまでは飲み唄ふた連中も見受けられたが遊暫くは晝夜のけぢめなく鎭江山へ杖引く人々で賑はひ、不景氣も何處へやらフッ飛ばして了ふ程だ

歸順の天地塋代表を派遣

【遼陽】遼陽縣西第十區李大人屯附近に於て盜賊を擁び村長を脅かして居た頭目天地塋は官憲に歸順して第十區自衛團長となり村民か

遼中道路進捗

六月中に竣工

【遼陽】遼陽から徐王子根家林子を經て大砂嶺、小北河に到る道路は吉川組の請負で六丁場に分ち千數百人の人夫を使役して着々進工中で遲くも六月中旬迄には竣工の豫定であるまた遼中縣から小北河に到り遼陽からの工事と接續する道路工事も遼中縣長を初め各方面の多大なる援助で近日起工する運びに進みつゝありとのことである

ら租稅を徵して團費に充てゝ居るが歸順後の初對面さ云ふて一日來城楊縣長に面會したが其の實頭目の天地塋でなく副頭目の要的好と云ふ者であつた副頭目の云ふ處に依れば天地塋自身が出頭すべきであるが身邊の危險を惧れて代理で出頭したが縣長初め官憲の十分なる諒解があれば本人を入城さすとのことで揚縣長は副頭目を一先づ歸村せしめ頭目天地塋の入城を命じたさ

鐵嶺

徵兵檢查執行

今年の徵兵檢查を受くべき在鐵壯丁は二十五名であるが檢查は五日奉天に於て執行せらるゝにつき四日宮村兵事係附添の下に壯丁全員午後三時半發列車にて受檢のため赴奉した

三負傷者退院

去る二十五日の夜城內の火災現場に急ぐ途中領事館前で追突顚覆負傷したる村田岩作氏を始め北垣運轉手、長谷川、舘野憲兵上等兵は既報の如く滿鐵醫院さ衛戍病院に收容手當中であつたが經過頗る良好で長谷川上等兵は數日前に退院し北垣運轉手も三日退院舘野、村田氏も共に近く退院の運び

龍首山觀櫻會

鐵嶺滿洲側官民有力者は來る七日午後三時より龍首山上に於て滿開の杏花を賞すべく花見の宴を催し日本側官民多數を招待するさ

加藤軍醫正招宴

鐵嶺衛戍病院長加藤軍醫正は今五日午後六時半より鐵嶺ホテルに在鐵官民有力者を招待新任披露の挨拶を兼ねて一夕懇談の宴を張る

四平街

新天地開墾

鐵嶺敷島町在住某氏は通遼縣大林南方三十支里清河南岸五道灣農場德樹公司總理、買榮甲と商租契約を結び實地踏查をなすと共に通遼にて鮮農募集中のところ本年度は三百石にて二百天地の水田耕作をなし得るをもつて去月二十九日通遼發四洮線列車にて八十六名の鮮人を井發し錢家店驛下車淸河を渡り同地に向はしめたるが更に一週間以內に二百餘名を送る事に決定したさ

錦州

勅諭記念式

五日午前九時より師團司令部に於て軍人勅諭御下賜五十周年式が擧行される筈一般在留民はなるべく不敬にあたらざる服裝にて多數參加されたしと式順左の如し

一、國歌合唱二、遙拜式三、勅諭捧讀、四陸軍大臣奉答文の朗

陸大視察團

陸軍大學生徒滿蒙視察團一行六十餘名は二十一日頃來鐵一泊の上視察を行ふ筈であるが都合によると士官學校生徒も來鐵する筈

讀五、萬歲の三唱六、散會

遼陽

警察署員へ御下賜品

長き邊から遼陽警察署員への御下賜品は三日午後急行で到着したので長山署長以下の幹部が停車場に赴き奉受した

通化へ出動

遼陽警察署の辻甲巡查以下二十名は二日午前五時十五分發列車で通化方面の事態益々逼迫に付第二次救援隊として出動したが之と入れ替りに警務局練習所から巡捕二十名が配置され着任した

師團記念植樹

遼陽駐劄第○師團では駐劄後既に一ケ年を經過したのと勅諭御下賜五十年記念の爲め鞍山苗圃から松樹百本を取寄せ內五十本を忠魂碑境內に五十本を神社境內に昨今移植中である

婦人會總會

遼陽滿鐵社員俱樂部婦人會では七日午後一時半から社員俱樂部日本間に於て總會を開き七年度豫算及總會に關する事項を協議するさ

鳳凰城

警察隊を增員

鳳凰縣公署に於ては城內に於ける警備機關充實計畫中のところ今回軍部立會協議の結果從來の警察隊百三十名を五月一日より三百名に增員したがこれが要員はさきに歸順せる何盛有の部下五百名中より選定補充し同時に何盛有を警察隊長に任命した、尚何盛有の部下あと三百三十名はそれぞれ手當を與へて解散したが手當總額は大洋票三千元でこれは縣から支出した

撫順

撫順高女の講堂使用問題

撫順高女では從來地元文化發展の一助として公會堂兼用への場合或は音樂會、敎育映畫會等敎育的催しに就ては司會者の希望により電燈料の實費だけで講堂使用に應じてゐたが、近年の經費節減に鑑み又社內各高女の規程を參酌して今後は可及的學校行事以外の使用を拒絕し萬止むを得ないもので且つ營利を目的とせぬ催しに限り冬期は十圓、冬期以外は七圓但しピアノ使用の場合は別に五圓の使用料を徵收して使用を許すことゝしたが、右は學校當局としては止むを得ない事情もあらんも他面當地の如く公會堂が無く劇場が常設館の觀を呈せる土地柄としては市街中央の好適地を占めてゐる高女講堂が將來殆ど使用出來ぬことゝなつたのは當地住民の文化向上の見地からも頗る遺憾であるさいはれてゐる

元巡查始末書一札

鹿兒島縣出水郡出水町字武本元關東廳巡查前田某（もと最近當地に於て拓殖大學生徒の名刺をふりまはして自分は今度滿洲國に拓大の卒業生を賣込みに來たものであると稱し各所を徘徊してゐることを撫順署員の探知するところとなり、三日本署に連行左記警察官さして民衆の範となるべきものが右の如き行爲をなしたのは何とも申譯

安東

安東陸海軍將校會懇親會

安東陸海軍將校會では二日午後四時から鎭江山朝日閣で慰勞懇親會を開催したが出席者四十餘名に上り盛會であつた

連山關〇大隊假本部

滿洲八景第一位鎭江山の櫻は朝鮮にまで響いてゐるが、殊に今年の觀櫻團體は素晴らしく多い模樣で旣に決定したものゝみでも、新安州、新幕の千二百名（八日來安）を筆頭に孟中里、南市（十日來安）からの千四百名がありこの調子では今年の鎭江山の呑吐する人口は殆ど數へ切れないだらうと云はれてゐるが安東驛ではこれ等觀櫻團體の準備に汗ダクである

觀櫻團體殺到

滿洲國建設の精神を普及するため中央高級官僚員呂名實、單宗全、大石義夫の三氏は三日來旅市役所を訪問、鑛山助役と協議のうへ同日午後三時から支那町公議會に於て在旅滿洲人の智識階級を集め建國精神に關する講演會を開催し尚市內各所へはポスター多數を貼附した

旅順

顧維鈞隨員旅順見物

顧維鈞の隨員民國中南要聯邦總領事、國際調查委員中國代表處專門委員顧維詳安氏ほか五名は三日自動車にて來旅、博物館、陳列館、大正公園その他を見學の上午後一時過ぎ離旅した

長友憲兵分隊長

新任新義州憲兵分隊長長友次男氏は二日午前十一時三十五分新義州着列車で家族同伴着任した

滿洲國建國宣傳班來旅

兎耳鷲目

◇二十有六年間默々として歷代長官の護衞巡查であつた神崎造酒藏氏は愈々退官一日の船で郷里千葉縣へ引揚げた

◇退職した元軍人後援會幹事伊澤信一氏は來る十二日午後一時三十分發列車にて一應歸郷の豫定

炭塊

なく以後は充分改心する旨始末書一札を書かされた

▲千金寨郵便局では今回郵貯貯金事務取扱ひを開始したが一日早々現大洋二百元の取扱高であるさ▲北臺町四丁目○番地大村次郎（假名）は最近東京で發刊された淫本繪入好淫記春宵情史一札を手に入れんとしたところ小包より早く京都西陣署から撫順署に手が廻つて現品が着くと同時に警察に沒收本代三圓八十一錢をふんだくられた上高等係でひどい小言を喰かされた▲石橋滿電總務課長は三日朝來撫家族同伴六日赴奉▲赴連中の宮澤庶務課長は六日頃歸任の豫定

青年團役員會は二日午後七時より實業協會內で開會市民運動會の選手を決定した

滿日案內

三行二回　金九拾
被服廣告　金六拾
五行二回　金壹圓五拾
十行二回　金參圓
十五行二回　金四圓五拾
二十行二回　金六圓
姓名在社は一回金三拾錢

廣告部電話は三六九五・四四九一番です

雇人

内職・女子・女行・店員・店員・和服・外勤・女中・女子・女中・女給・女給

敎授

習字・タイ・囲碁・琴古・ピアノ・邦文・邦文

貸家

貸家・貸家・大勉・貸家・貸家・貸家・南向・住宅・貸家

貸間

貸室

讓店

讓店・工場

賣買

裝飾・子供・ミシン

買物

塵紙・白帆・天帆・算盤・古本・債券・商券・刀劔

貸衣裳

貸衣・貸衣

不用品賣買

フヨ・古着・古着

電話と金融

金融・金融・金融・金融・簡易

醫院

日野・鶴見

治療

モミ・ぜん・林養・ホネ・家傳・林病・クサ

名藥

中風・家傳

印刷と寫眞

和洋紙、封筒、荷札、塵紙、トイレツトペーパー、金庫、書庫、印刷用インキ、印刷製本諸材料　特價廉賣　大連市大山通　小林又七支店　電話二三二七番

犬　粉田畜犬商會

家政婦　家政婦會

通勤家政婦　一日一圓也

附添婦派遣　ミツワ附添婦會

勝寫版及謄寫版、美術印刷

大氣堂

早川齒科醫院

家畜

犬　石井家畜病院

旅館

邦文・實印・寫眞

下宿

下宿・一圓

食料品

牛乳・牛乳

諸商業

麻雀・ピア・門札

雜件

セパ・兒犬

敎授

ラヂウム温泉

淋病

濟生醫院　大連市三河町

得利格諾賣

強力治淋新藥

性感冒流行　四ツ目印にんにく

家傳お灸

ハリ灸療院

電氣・一般マツサージ

運送

引越荷物運搬　滿トラ　貨物自動車　電四九一六番

引越荷物　古市運送店

家具室內裝飾　美風堂

內科・小兒科・婦人科　荒井醫院

特價販賣　吉川商店

柏餅　ちまき　明治軒

頭痛にノーシン

吉光金庫　佐井田洋行

質　寫眞機・レンズ

萬壽屋質店

專門　ヤナギヤ

易斷　改工舍

萬漬物佃煮は

何卒弊店へ

品質の優良と薄利多賣は弊店の特徵

萬漬物佃煮製造問屋

大連市山縣通七番地

合資會社 若山商店大連出張所

電話五九九一番

野一色電氣療法敎授!!!

東京より野一色先生及日小田講師御來連御指導あり

講習會員募集

◇規則書申込次第送付す

小笠原治療院講習會

端午の節句

柏餅・ちまき

尚内祝の御返しには鯉の龍盛を御利用下さい

伊勢町西廣場

花乃屋分舖

電話 3457 22516

弱いお子樣もかうすれば丈夫になれます

一體に、小兒の皮膚の抵抗力が弱くて風邪をひき易く、氣管支カタルや肺炎などに罹り易いのは、呼吸器の抵抗力を強めるヴイタミンAが不足してゐる爲で、又お腹を壞し易く下痢がちで、疫痢や赤痢に罹り易いといふお子樣は胃腸の機能に効果のあるヴイタミンBが缺乏してゐる爲であり何うも

發育が捗々しく

なく血色も優れないといふお子樣にはヴイタミンD 其他 ヒスチヂン、リヂン等のアミノ酸類が不足する爲であります。

だから、弱いお子樣にはこれらの榮養素を充分與へなければならない譯ですが、此處で注意を要することは、或一種のヴイタミンとか、又はアミノ酸とかの、榮養素が一方に偏したものを與へたのでは、効果が不充分です。これらは特定の病氣に使ふべきもので、弱い兒の榮養素は必ず一方に偏せず凡ゆる榮養素を含むものが必要です。さりとて榮養が各方面に亘つてゐるだけでも、未だ

片手落ちの憾が

あります。何故かといふと弱いお子樣には折角の榮養も消化吸收が滿足に出來ませんから、尚、この上にその消化吸收を援ける酵素といふ活動性の物質が必要なのです。

これに就いて面白い實驗は、獨逸の乳兒院で院兒を三部に分ち、一部の乳兒には乾燥した牧草を與へた牛の乳を飮ませ、二部の乳兒には生の牧草を與へた牛の乳を飮ませ、三部の乳兒には、生の牧草を與へて得た牛乳に、更に前記の酵素を配劑したものを與へて、各部の乳兒の發育狀態を實驗した結果、一部の乳兒の發育は、著しく惡く、二部は普通、三部、即ち酵素を配劑したものを與へた乳兒の

發育は最も良好

であつたのであります。

これにみても酵素が、如何に貴重な働きをなすかゞ判りますが、これらの活性酵素を十數種も有してゐる上に、前述の虚弱兒に不足がちなヴイタミンA、B、D其他ヒスチヂン、リヂン等の榮養素を多分に含んだ、理想的な榮養酵素劑として、臨床醫家が擧つて實揚されてゐるのは、「錠劑わかもと」でありまして、これを服まして弱いお子樣の體質を見違へる樣に壯健にし、發育生長を著ろしく促進したといふ實驗例は、最近の日本では實に夥しいものがあります。

妊婦・産婦に必要な榮養劑と その不足に基く疾病

お産 の際日本婦人は世界各國の婦人に比して、一番忍耐強いといふ名譽を擔つてゐるのですが、反面、姙産婦の榮養當局では、他の文明國婦人に比して遙に乏ろといふ、面白からぬ說を立てられてゐます。此點は、一等國婦人としての體面上からも是非改めたいものです。

姙産婦は、姙娠のため起つた身體の變化、或は新に生れた赤ちやんの授乳をせねばならぬ關係上等から、何うしても平素より多量の榮養をとる必要に迫られますが、この場合の榮養が不足するか、又は一方に偏するかすると、母體も胎兒も、また生れ出た乳兒も衰弱して、種々の障碍を起します。

例へば、赤ちやんが乳を吐が、機嫌が惡くなつて、段々するうちに上眼瞼が腫れて來る――所謂乳兒脚氣ですが、これなどは

脚氣 の母親の乳を飮んだ場合に多く現れる症狀で、脚氣といふはもとくヴイタミンBが、體内に不足するから罹るのであります。又、婦人によつては姙娠二、三ケ月頃からつわりのある方が多いやうですが、これが又多少に拘らず榮養が害せられてゐる爲に起るのです。中には、つわりは姙婦につきものゝ樣に考へて、放つておく方がありますが、これは甚だ危險で、衰弱が加つて人工流産を行つても尚且つ無効に終ることがありますから、決して輕々には考へられません。

又、姙婦にも産婦にも便秘が伴ふ場合が多いが、便秘は不眠、皮膚病等の原因になる外につわりを助長しますから、警戒を要します。これら病的障碍のある姙産婦は勿論、何等障碍のない姙産婦も、胎兒のために近來盛んに「錠劑わかもと」を實用されます。

「わかもと」は我國の榮養學者として世界的に名高い、東京帝國大學の澤村名譽教授が發見された榮養と胃腸強壯の二重作用のある珍しい榮養劑で、胎兒、乳兒、母體に必要な

あらゆる榮養素が含まれてゐる外に、脚氣に有効なヴイタミンBやつわりに特効あるインシユリン、便秘を癒すに効ある諸種の酵素等が合せ含まれてゐて、榮養と治療の見地からして、實に至れり盡せりの觀があります。

更に喜ばしいことは、發見者の、專ら國民保健上の見地からといふ篤志によつて、これが「榮養と育兒の倉」から二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ奉仕的廉價で頒布されてゐることです。お望みの方は東京芝公園大門際、榮養と育兒の倉(振替東京一七〇〇番)へ藥價だけお送りになれば送料は凡て會で負擔して急送されます。

貧血を癒すには

種々の婦人病の爲め、貧血を起してゐる方、鉛のある白粉を使つて、その中毒で、強度の貧血に罹つてゐる方など、日本の婦人の過半は貧血で、命を縮めてなられます。

貧血は、慢性症が多く、手足が冷えるとか、顔色が蒼いとか、肩が凝るとか、急激に來る苦痛が少い爲めその、手當か看過されがちですが、貧血の人が年を早くとり、容貌が急に衰へることは、驚くべきものがあります。

貧血の手當として、一番新しく、醫界に實用されてゐるのは「錠劑わかもと」の服用です。「錠劑わかもと」を服むと、手足も溫まり、血色がよくなり、生々として來るので、素顔の美を増す内面的化粧として、上流婦人や女學生間に流行してゐます。

療養實話

虚弱なお母樣が丸々と丈夫な女兒を分娩した手柄話

(愛知)村井清子

私は胃腸 が弱く、便通も不規則の上に風邪などにも直ぐに冒されますし、一寸自動車へ乗つてさへ直ぐに嘔吐を催すといふ始末で、殊に月經不順には自分ながらホトく愛憎が盡きてしまひました。尤も其間にも隨分の榮養も攝取いたしましたし、病狀を抑へる爲の通藥劑もとつてみましたが、身體の調子は矢張り一進一退、失費の割には効がありませんでした。

其頃から 「錠劑わかもと」の評判に心を惹かされまして廿五日分のを買つて服み始めますと、てつきり便通の要領が變つて參りました。又何となしに氣分も晴々しく、同時に主人に笑はれる程よく眠る樣になりました。これに力を得て三ケ月四ケ月と續けて愛用してゐますと私の生來の虚弱體質もすつかり見違へる程壯健になり、身體に少々の無理をしても疲勞しなくなり、月經も勿論順調になつて參りました。

さうした 壯健體の嬉しさの裡にひたつてゐるうちに何日しか姙娠し、月滿ちて女兒を分娩致しましたが、この子が父至つて丈夫で他人樣から褒まれる程丸々と太つてゐます。それに「錠劑わかもと」を續けてゐて身體のシンから丈夫になつてゐる故か、お乳もあり餘る程ありますので、生後の肥立ちも至極よろしうございます。

未だ半年 にもならないこの頃、坊やは日チく飾ふ樣になり、昨今は主人の出勤や歸宅にはニコく愛嬌をこぼして私の手の上で踊り上りますので、主人も矢鱈によろこび、家のうちが本統に明るくなつて參りました。これも一重に「錠劑わかもと」のお陰だといつて主人も心から感謝してゐます。

わかもとに
助けまもられわが家は
明るも強く
のびくにける

曙の鐘 (274)

倉田潮　河野想多畫

未練 (三)

お夏は女中のはる子が返事もせずにじつと自分の顔を見つめてゐるので、狼狽へて身の廻りを見廻したが、別に怪しいことも見あたらなかつた。

「はる子さん、何うなさつたの」

とお夏はつひに眉と眉の間に皺をよせて訊いた。すると、はる子は初めて口がほどけたやうに、

「お夏樣、何處か御惡いところでも御座いますの」

と訊き返した。

「別に何處も惡いところはないのだが……何か違つたことがあるの」

「ええ、さつても今日は顔色が……まるで土の色よ」

「さうなの」

ふところ鏡を出して見ると、彼女も自分ながら驚いた。まるで今朝までの血色はなく、顔が土色に變つて眼がおちこんでゐる。昨夜眠らずに心配をし續いた爲めだ——と思つたが、それなら朝の鏡に映つた自分もかうでなしにはならなかつた。しかし、朝の鏡に映つた姿は全然これと違つた血色のよい、上氣したやうな顔ではなかつたが。

お夏は鏡に映る自分の顔を不思議に思つた。が、間もなくそれは今してゐることが命にかかる冒險であると、半無意識に恐怖してゐた結果だと思ひついた。あけみには怖ろしい秘密を握られてゐた。そのあけみと男を爭ふのは、命にかかはる危險があつた。いや、既に昨夜の中あけみは今迄握つてゐた秘密を白日の下にさらけ出してしまつたかもしれない。

お夏はさう思つたが、直また氣をかへて、投げるやうに鏡をかへして氣味惡く笑つた。由太郎を奪はれて脅へながら生きてゐるのが面白いことだらうか。昨夜は金で戀人をうり渡したが、金ばかりあつたとて何の嬉しいことがあらう。さうだ、命にかけても由太郎を取戻さう。由太郎の爲なら死んでもさらさら惜くない。

「おはるさん、色あげをするから先に熱燗のぬきを一杯持つて來ておくれな」

彼女はわざと投げ出すやうにさう云つて、コップ酒が來ると一と息にのみほした。その後で顔色も次第によくなつて行くやうだつた。

そこへ食物をはこんで來たが、お夏は箸をつける前に、

「實は今日御願ひがあると云つたのは、贔屓の後見に出て貰ひたいからなのよ」

と今迄のあけみとのいきさつを、ざつくばらんにおはるに打ちあけて、

「私、たとへ御嬢様だとて、今度は一歩も後には引かないつもりだわ」

と昨夜あけみと由太郎があれから隣りの家に泊つたか何うかを見屆けて來てくれないかとたのんだ。するとおはるは譯もなく、

「そんなことなら直ぐ解りますわ」

といそいそと出て行つた。お夏はその歸りを今か今かと待つてゐた。が、おはるは容易に戻つて來なかつた。外の女中をよんで今度はお銚子を命じたついでに、おはるのことを聞くと、先程隣りの家に行つたまゝまだ歸らないとの返事だつた。

お夏はやけまぎれに茶碗にその酒をついで德利の半程までのみほしたが、それでもまだおはるが戻つて來ないので、初めてこれはまたあけみに買收されたのではないかと思ひついた。それならたとへ戻つて來たとて、ろくな返事をする氣づかひはない。

酒の勢ひにやけが手傳つて、お夏は思ひ切つて隣りの家へふみこんでやれと思つた。そして、料亭から秘密の家に通ずるぬけ道を廊下に出て探し廻つた。と、奥廊下が行きあたつて押入れになつてゐるのが眼に止まつた。それを開いて見ると、そこから秘密の家の物ほし臺に、同じ物ほしが續いてゐるのを見つけた。

しかし、お夏はその物ほし臺に出る前に、直目の下の庭にあけみが昨夜のまゝの姿で立つてゐるのを見てギヨッとした。

けふの放送

大連 JQAK

五日午後三時二十分

▲ニユース

▲童話（重い鯉幟）加藤俊一

▲滿洲工業講座（工業用水）清水本之助

▲長唄（楠公）唄松永和風、同和幸、同和十郎、三味線杵屋勝太郎、同勝東治、同勝惣治、笛望月長之助、小鼓梅屋勘兵衛、同勝造、鼓望月吉三郎、大鼓梅屋左十郎

以下内地中繼（七時三十分）

▲獨唱（帝國ホテルより中繼）一、歌劇「エロディアード」サロメの詠唱、二、歌劇「ロミオとジユリエット」圓舞歌、宮川美子　ピアノ伴奏松山智惠子

▲常磐津（後の月酒宴の島臺角兵衛）淨瑠璃常磐津松尾太夫、同三登勢太夫、長尾太夫、同宮尾太夫、三味線常磐津文字兵衛、上調子八百八、同梅治、鳴物福原百之助社中

以下大連放送局より

▲五月祭舞踊練習第一回榊本龜二郎

▲職業紹介事項

▲ニユース

▲氣象通報

第四十三回 滿日勝繼戰碁

滿洲日報
發行人 ○木○　編輯人 橋本○代治　印刷人 木村武盛
大連市東公園町三十一番地　發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢　郵税 金十五錢　一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

停戰協定の成立近く 次の問題は圓卓會議
わが軍部首腦部の意見

【東京四日發】停戰協定に關聯し軍部最高首腦部の見解左の如し

協定調印で閘北の全安が列國の拘束も加はつて確實なる譯だが、次の問題は圓卓會議だ、支那側は圓卓會議を希望しないとの説もあるが、停戰協定は圓卓會議の前提としての協定なれば支那側がこれを拒む理由はない、支那側が圓卓會議に應じないとか、或は會議に臨んでも横車を押通すことになれば關係列國の力で租界を基點とする中立地帶を設けると云ふやうな安全確保の手段を講ずるは已むを得ない、圓卓會議が纏らなければ上海の安全が確保されず、從つて派兵の目的が達成されぬ所であるから、會議の成否は我軍の撤退と密接な關係があるとの見解は正しい、圓卓會議が纏らなくとも別に方途が確立すれば日本軍は速かに撤兵を實行する

愈よあす停戰本會議

【上海四日發】二日の軍事小委員會の折衷案に關する支那側の留保條件、即ち治安維持の必要ある場合は支那軍は浦東に軍隊を入れる事あるべしとの條件に對し、わが外務、海軍は承認を與へたが陸軍中央部のみは之を懸念し中立國側の保障を文書によつて殘すべしと回訓して來たが、陸軍側代表は右の懸念は不必要なる旨を重ねて中央部に説明し、その諒解を得た模樣で、結局本會議開催の豫定を變更せしめた問題も表面化せずして内部的に解決を告げ、日本側は三日中に本會議を開催したいとランプソン公使に申込んだが、ランプソン公使は日本側の事情を察して郭泰祺の事件も起つたことではあり、遲れ序に一日延ばして日支兩文の條文作成を終つてから明五日に本會議を開催、條文確認と同時に調印したいとて、出發を一日延期した旨回答して來た、依つて會議は五日午前十時と決定、事件發生以來世界を擧げて注目した上海事件も漸く最後的解決を告げる事となつた

國辱條約にあらず
今後眞相を發表せば諒解せん
汪精衞、記者團に語る

【南京四日發】郭泰祺負傷の報に接し汪精衞は支那記者に對し談話の形式で左の如く發表した

今回上海事件に關し郭泰祺、戴戟、黄强諸氏の努力は非常なもので、その態度は公明正大、誠にその使命を辱しめない、會議の經過は隨時政府に報告し、政府と完全に聯絡をとつて愼重にやつてゐる、政府は國務會議にかけてから訓令してやつてゐるので、決して代表だけの責任でない、今郭泰祺氏の負傷の報に接し誠に殘念に堪へない、代表のやり方は政府に對し背かないのみならず、上海の民衆に對してもその意思に背かない事は民衆團體から信任通電を發せられた事からみても明瞭だ、犯人は或る種の野心を抱いて國家の大策を誤らしめんと企むものなる事は明かである、停戰協定は決して國辱條約でもなければ屈辱條約でもない、今後眞相を發表すれば國民も政府の態度を諒解するものと信ずる

協定非難は當らぬ
羅外交部長談

【南京三日發】羅文幹外交部長は停戰協定に對し各方面から非難を浴びてゐるに對し左の如く語る

の聲を聞くは遺憾だが、ランプソン公使案は國際聯盟の精神に違反せず又我國が屈服したといふものでは無い、調印すれば日本は直ちに撤兵を開始する義務があるもので若し之に違反すれば混合委員會から國際聯盟に報告してその履行を迫り得るものだ、一切の政治問題には觸れてない、三日に本會議を開き今週中には調印を終ると思ふ

閘北事件を報告
中立國武官に對し

【上海三日發】昨日の閘北事件に關し阿部艦隊參謀長から中立國武官に報告され中立國武官軍事小委員會の名でこれを本日ジュネーヴに報告したことを非公式に發表した

閘北事件詳報
＝陸戰隊發表＝

【上海三日發】陸戰隊發表、二日午前五時閘北において服務中の哨兵二名（一等水兵山口彌造・二等水兵藤森明）は便衣隊らしき者六名がピストルを持ち薄暗きに乘じ歩哨に近づきしめた歩哨は普通々行人と同樣誰何し取調を開始せんとしたが彼等の二名は背後から不意に小銃を奪はんとしたので哨兵は必死の格鬪を續けたが藤森二等水兵は負傷し、山口一等水兵は逃亡せんとする彼等を追擊した、負傷した藤森はこれを哨兵本部に知らせ再び現場に歸つたが既に便衣隊も山口一等水兵も見えず本部は時を移さず搜査を開始したが、山口水兵の行方今なほ不明、陸戰隊は今後一層警戒を嚴にしかゝる不穩暴戻の計畫に對しては絶對的の手段を加へるは勿論なり、なほ目下閘北は一切の交通を禁止し搜査する一方警戒を嚴重にしてゐる

羅外交部長 辭表提出

【南京四日發】國民政府外交部長羅文幹は昨日の行政院會議で停戰交渉の經過報告をなし、日本軍撤收後の該地域警備方針につき説明した後、行政院長汪精衞に對し正式に辭表を提出した、停戰協定が支那側にとつて滿足な結果を得ないといふのが辭表提出の理由だ

聯盟調査團、謝外交總長訪問

二日新京へ乘込んだ調査團は三日滿洲國政府謝外交總長を訪問した【寫眞上向つて左よりリツトン、マツコイ、謝介石、マレスコツチ、クローデル諸氏（下）は國務院に到着の一行】

滿洲外交の推移を調査團に説明せん
資料を嚴密に調査しつゝある
昨今の內田滿鐵總裁

聯盟調査委員一行は五月下旬來連の筈であるが、調査委員一行は大連において先づ內田滿鐵總裁との會見に際し併行線問題、借款鐵道問題等の

鐵道問題 の根本的事實に就いて會談を行ふ筈であるが、これ等の專門的部內については滿鐵內各部當事者が説明に當るものと見られ、從つて調査委員と內田總裁との會見で特に注目を拂はれてゐるものは鐵道問題に就いての會談ではなく、即ち滿洲における支那の條約違反、權益侵害等の外交問題に亙る會談である、即ち聯盟調査委員一行はつとに內田總裁に對し會談を切望する手紙を寄せて殊に委員一行の來連切迫と共に夜なり、その席上では單なる事實問題の會談のみに止まらず當然日本の政府外交界の元老として の內田伯に對し一行は滿洲問題に關し

全般的に 會談を進めるであらうことは容易に想像し得られるところで、一方內田總裁も調査團の來滿確定と共に調査委員一行に正しき滿蒙の認識を與へるため、これが説明を思ひ立ち自ら經驗する日露戰役以後から現在に至るまでの滿洲の外交問題の推移について嚴密なる調査を進め嘗て星ケ浦の自邸で訪問の新聞記者に「最後の御奉公だ」と語つた程の大決心と大努力を以て日夜研究を重ね、は客を避けて書齋に籠り、午前中も會社での雜務の煩雜を避けるため、多少出社の時刻を遲らせて

草案を練 りつゝある、かくして國務大臣禮遇として滿鐵總裁として、日本における外交界の元老として、將また不戰條約の調印者として世界各國に名を知られた內田伯が心血を注いで調査した滿洲における日支外交問題の説明は調査委員に最も深い印象を與へるべく、殊にこの會見は調査委員一行が滿洲、支那を全部廻つてから最後に到着する大連で行はれる關係上、一行の滿洲問題に對する認識の最後の契機を與へるものとして非常な期待を以て迎へられてゐる（寫眞は內田總裁）

郭の遭難と聯盟筋の觀察

【ジユネーヴ三日發】郭泰祺の遭難の報は聯盟筋に上海の物情騷然たる事態を強く印象せしめ先月中旬停戰交渉を惱へた重要原因は支那の內政問題にあつたとの感を深くするものが尠くない、然し停戰交渉成立に支障なしと見てゐる

あす公式に執政訪問

聯盟委員は五日（時間未決定）國務院に滿洲國執政を公式訪問することゝなつた【長春電話】

小包郵便成績

四月中における大連郵便局取扱の內地行き小包郵便は總數一萬一千九百九十二個でその內宛地通關のものを除いた殘餘の八千八百十九個に對し通關檢査の結果百五十二個課税された、因に本月の取扱ひ總數は前月に比し三百五十六個の減であるが前年同月に比較すれば實に三千三百七十八個の激増であつたと

の後十一名フランス租界警察に逮捕された

舊政權の暴政を涙ながら陳情
鮮農代表調査團に

長春近在鮮農代表三十三名は舊政權時代の支那官民に壓迫された實情を訴へるべく四日午前十時ヤマトホテルに調査團を訪問し調査團委員側よりマンゲリー隨員が出てホテル階下ホールにて會見した、鮮農代表は

軍閥政府 の下に受けた壓迫の數々を陳情し、一鮮農の如き嗚咽の聲と共に鬼畜の如き舊軍憲の惡虐を訴へる樣に、隨員も思はず感動せる如く詳しく當人に聞き返したりした、又鮮農が支那官民のために如何に誅求搾取されたかを具體的事實を擧げ十石の收穫の內、水利局へ二石地主へ二石、灌漑水堰留料二石、地方官吏へ一石、計七石を搾取され餘す三石が自己の手に殘り、一家七、八人の家族はこれでは生計出來ぬため、これを粟に變へ粟さ野菜をまぜ粥を作り漸く一年間の

饑餓線を 彷徨する生活狀態を述べた、アンゲリー氏はそんなに支那官憲に壓迫されるなら日本領事館に訴へるなり、又朝鮮へ歸ればよいではないかと反問せるに對し彼等は領事館から支那側へ抗議しても舊軍憲は受け付けず、又我々は朝鮮で住むべき土地も家もないと悲慘なる叫びをあげる、又萬寶山事件の際壓迫を被つた一代表は萬寶山事件の實相を詳細に述べたアンゲリー氏も彼等の陳情を一々ノートに記録し約二時間の陳情を終つて同十一時五十分鮮農代表は引きあげた【長春電話】

野村中將に治療期間と義眼

【東京四日發】上海爆彈事件で右眼を失つた野村司令長官の左眼の失明は免れる事確實となつたが伏見軍令部長宮殿下をはじめ奉り海軍首腦部協議の結果野村中將の右眼の治療を便ならしむるために治療期間を與へ義眼を送る事に決定した

野村中將經過良好

【上海三日發】野村中將の經過良好で右眼手術個所の縫糸も拔き去り容體平常に復しつゝあり

兩將軍の經過良好

【上海三日發】陸軍發表、白川軍司令官は今朝から平熱平脈となり傷の經過も良く元氣である、また植田○團長は無熱平脈傷部の經過も順調、なほ白川大將と植田中將は同室であつたが今夕病室を變へた

郭泰祺は全治二週間

【上海三日發】郭泰祺の負傷程度につき主治醫の發表に依れば傷は前頭部二個所で大きな傷あり出血も相當有つたので全治まで二週間を要する見込み、なほ犯人はそ

萬寶山事件を重點に地方の實情を説明
調査委員と會見後 田代領事語る

四日午前十時我領事館に田代領事を訪問したリツトン卿一行の聯盟調査委員は、領事室に招ぜられ約二時間半に亙り會見し、田代領事より詳細な説明を聽取し滿足して零時四十分ヤマトホテルに引揚げた、田代領事は會見後語る

調査團一行は豫じめ質問の用意さて全く無く、從つて自分が領事として長春に來て以來體驗した各種の事情を赤裸々に話して聞かせたに過ぎぬ、勿論地方的には色々な小さい事件も幾多あつたが、何んといつても萬寶山事件が最も重大事件であつた爲め之れに重點を置き事變前の陰慘な空氣及び事變當時の事情など座談的に説明した、しかし調査團側からは、これといつて聞きたい事項の注文もなかつたが、長春方面に對する一行の認識には相當效果を收めたであらう【長春電話】

調査團午後は鄭總理訪問

四日午後二時聯盟委員ほかハース書記長、聯盟書記官は國務院に國務總理鄭孝胥氏を訪問することゝなつたがこの會見において滿洲國では國賓として應待することゝなつた【長春電話】

吉林調査は日歸り

長春にある聯盟委員一行は五日赴吉し吉林において一泊する豫定であつたが、これを變更し長春滯在を一日延期し吉林調査は日歸りとなる豫定である、これは吉林驛において列車宿泊は如何なる危險を惹起するやも知れないためである

滿洲問題と英の態度
英首相、米長官との間に相當諒解
聯盟方面で協調を期待

【ジユネーヴ三日發】米國務長官スチムソン氏は一般の期待を裏切り軍縮會議には殆ど何らの生氣を與へず一日歸國の途に就いたが滿洲問題に關してはマツク英首相との間に相當諒解が成立したと信ぜられてゐる即ちスチムソン氏はサイモン英外相の極東政策には失望の念を抱いてゐるが、マツク首相は極東問題に移つた時、話題が極東問題に移つた時、マツク首相はスチムソン氏に對し「滿洲問題に就て英國政府は自分は病氣で局に當れなかつたゝめイギリスの態度はやゝ軟弱の嫌ひあつたが今後は一層アメリカと協調するやうにしたい」との意見を披瀝した模樣で、なほ英自治領の代表もスチムソン氏との會見にて、マツク首相と同樣アメリカとの協調を確信したといはれてゐる、從つて聯盟方面では今後滿洲問題に關し英米は從來より緊密な組織を保つて行くと期待してゐるが、滿洲問題が近く聯盟に上程されんとする時イギリスの極東政策が何の程度まで轉換するか注目されてゐる

我行動を非難の覺書を提出
勞農代表、軍縮會議に

【ジユネーヴ特電三日發】本日の軍縮會議に勞農代表部は國際義務を蹂躙し宣戰布告を行はずして敵對行爲をなす國は完全に軍縮條約を遵守する可能性も無しとし、暗に日本を目標とした左の如き覺書を提出した

平和擁護を目的とした國際義務を蹂躙し、宣戰布告を行はずして敵對行爲をなす隣接國は提案中の軍縮條約案の遵守に對し完全なる保障を與ふるものに非ず

人事

▲三宅光治氏（陸軍中將參謀本部附）轉任挨拶のため四日市內各方面歷訪
▲本間俊平氏（宗教家）四日入港のあめりか丸にて來連
▲中野醇氏（國際運輸東京出張所長）同上
▲深水壽氏（滿鐵審査役）同上
▲肥田琢司氏（前代議士）同上

陸軍辭令

【東京四日發】四日發表、陸軍異動
第十一師司令部附 歩兵大佐 甘粕重太郎
補歩兵第十五聯隊長

大木戸中佐

第二師團經理部長として各地の戰鬪に從つてゐた大木戸仁輔中佐は今回の陸軍異動により陸軍省監査課長に榮轉四日出帆のばいかる丸で歸國した

原代議士歸國

政友會代議士原惣兵衞氏は約二週間に亙り北滿各地を視察してゐたが、去る二日來連、旅順關東廳の訪問を終へ四日出帆のばいかる丸で歸國の途に就いたが、來月下旬再び渡滿し視察旅行を行ふと

九大四教授 近く滿蒙視察

【福岡四日發】九州帝大では滿蒙新天地開拓すべく醫學部長田原博士、工學部長荒川博士、農學部長久保博士、法文學部長恩子木博士の四教授を滿蒙視察員として滿洲に派遣することに決定旅程約二週間の豫定で近く出發の筈

河端氏に叙位

【東京三日發】長き邊では去る三十日上海における爆彈事件のため死去した河端貞次居留民行政委員長に對し多年民團のため盡した功勞を嘉せられ同日附で左の御沙汰あつた

叙從六位（特旨）　河端　貞次

滿洲事變に最も重要な役割を勤めた三宅中將、昇進榮轉、名譽さ地位を得て、愈々近く離滿のため切に健在を禱る。

◇

羅外交部長辭表を出す、郭代表の負傷に怖れを抱いた。

◇

郭代表の傷も全治二週間、双方代表ヨードホルムにつかつて調印せん、問題の紛糾性以て察すべし。

◇

中間に立つて、ここまでまとめたランプソン公使の勞亦多とすべし、但しトンデもない人間が居やうも知れぬ、身邊警戒肝要。

◇

問題未解決で虎穴は相變らず檻の中（附屬地內）で散歩して居る。

◇

但、この檻、誰が閉ぢ籠めて居るのでもない、御丼子危ふきに近寄つて自分で出ぎらぬ。

◇

嬲奴の外出に自由を與へる、一歩々々の改善。

東亞の謎 (260)
國枝史郎　挿畫　伊藤順三

エピローグ

「從前通りです、仲がいゝです」
小枝氏は然う云つたが夫れについても、あまり語ることを好まないやうであつた。
「貴郎が大連に來られたのは新國家建設革命事業、その使命のためでせうね」
「どういたしまして」
と小枝氏は云つた。
「私は時々沙漠から離れて、大連だの奉天だの上海だの、そんな所へ漫遊するのです。今度の旅もさうなんです。文士なんて者は革命事業には、大して必要ありませんからな」
「日本へはもう歸らないのですか？」
「さあ、行くかもしれません」
「どうです、いつそ日本へ歸つて文壇生活をなされたら……」
「せゝこましい日本の文壇生活へだけは、歸つて行かうとは思ひません。音車額城での私の生活は謂はゞよけい者の生活ですが、それ
「ほう、さうですか、それは結構ですな」
「お話した私の冒險談の中に、清子といふ女がゐるでせう」
「庫倫の「日本ムスメの家」にゐた女？」
「さうです、氣の毒なあの私娼です。……あれも音車額城へやつて來ましてね。……いや此方から迎へ取つたのです」
「ぢやアその清子が貴郎のスキートで？」
「さうです」
と小枝氏はまた微苦笑した。
「あゝいふ女にはあゝいふ女としての、洵によい所があるものでしてね」
「さうですとも」と私は贊意を表した。「それに庫倫ではその清子といふ人に、たしか貴郎は助けられたやうな……」
「さうです、そんな恰好でした」
私達はそれから色々話した。
「文壇生活が厭になり、內地の生活が厭になつたら、私も音車額城

でも何かの役には立つ――そんなやうに思はれますし、蒙古や滿洲や支那といふやうな、漠とした大陸で生活してゐる方が、またまだ日本で生活してゐるより、私としても愉快ですから」
「音車額城は何處にあるのですかな？」
「それは秘密で申上げられません……しかし……さうですな、暗示的に云へば……緯度に於て八十八度、經度に於て四十八度……といふ處に存在してゐます」
私達は窓から眼の下に見える、大廣場を眺めやつた。
大島大將の銅像が、うしろ向きに立つてゐた。
正金銀行の建物が、なごやかな初夏の陽に輝いてゐた。
人々が長閑に散策してゐた。
ひたすら平和な風景であつた。
「私にも戀人はあるのですよ」
不意に小枝氏がかう云つて、微苦笑めいたものを洩らしたので、私は少しまごつくした。
「行くかもしれません。いや是非とも行きたいものです」
私は眞面目にそんなやうに云つた。
「いらつしやい、是非いらつしやい」
小枝氏はかう云つて名刺の餘白へ、奉天の一所のアドレスを書きそれを私の手へ渡した。
「此處へおたよりを下されば、私の手許へ屆きます。喜んでお迎へに行きませう」
（いつかは音車額城へ行つて見やう）
私は本當にさう思つた。
黃金、鐵、石炭、等々、無盡に藏してゐる戈壁の沙漠に、屹然と立つてゐる音車額城！そこに巨財を擁しながら、集まつてゐる傑士の群！
何かやり出す！きつとやり出す！
（いつか音車額城へ行つて見やう）
私は本當にさう思つた（大團圓）

調査團暗殺計畫 中國共產黨省委の恐るべき陰謀發覺

【ハルビン特電四日發】聯盟調査員の到着に際し調査員に危害を加へんとするものありとの情報頻々として集るので特區警察當局は嚴重警戒中一日警戒の目をかすめて窃かに支那語、朝鮮語で印刷した聯盟調査員暗殺を煽動した多數のビラをハルビン及び傅家甸の勞働者の集まる場所に撒布したものあり、特區警察においては多數の嫌疑者を引致秘密裡に嚴重取調べ中のところ右は中國共產黨滿洲省委員會の仕業であること判明した、省委員會執行機關は傅家甸にあつて最近多數の戰鬪員が當地に潜入し調査員の視察は滿洲國承認の前提であり資本主義列國の市場化せんとするものだとの理由で調査員に危害を加へ混亂狀態に陥れんとするもので朝鮮共產黨、全露共產黨並びに反吉軍とも連絡し相當大規模の計畫を廻らしてゐたこと判明し當局を驚かしてゐる、彼等の資金が案外潤澤であるのに當局も一驚しその出所を取調べてゐるが目的のために手段を選ばぬ張學良が彼等を利用せんとして資金の大部分を支出してゐる模樣である

露國に嚴重抗議か

【ハルビン四日發】近時テロ團の陰謀頻々たるものあるためハルビン特別警察ではこれ等不穩分子の根本的撲滅に全力を擧げてゐるが、曩に檢擧した赤色テロ團露國人百十九名の嚴密周到な訊問調書を新京政府に送り滿洲政府はこれに基き勞農ロシア政府に對し嚴重なる警告的抗議を發する模樣である

通化籠城の邦人は未だ脫出せず

附近九縣の公安隊と合同し 大刀會匪の暴動計畫

四日午前九時奉天總領事館に達した山城子駐在山本警部補よりの通化方面の情況に關する電話報告に依れば一度通化脫出を傳へられた興津副領事並に在留邦人は未だ領事館に籠城し荷物取りまとめ急いでをり、このため脫出は二、三日延引する模樣であるとの噂が盛んである、この噂は興津副領事及邦人の通化脫出を引延し、一方警察隊の出動を阻止せんとするための韓大隊長の宣傳と思はれる節も多分に在るが、ともかくも右の噂に依つて未だ脫出を行つてゐないことが判明した、尙兒山子、五道溝、安口親、五人班、大吐川、三源浦等各地の公安分局及び公安大隊は大刀會匪に參加し、東邊九縣も大刀會匪と連絡し、大暴動を計畫し、金川縣の公安局及び同公安大隊は既に三日兵變を起し逃走、各地にて暴行を働いてをり、このため柳河縣にも危機せまり同縣公署及び公安局要人の家族は四日馬車三十臺にて山城子に引揚げ又柳河駐在警察署員及び在留邦人も近く山城子に引揚げの豫定で準備中であるが、各地に横行する大刀會匪は何れも日本警察隊恐るるに足らずと豪語してゐると【奉天電話】

遠からず邦人は救出し得る 林警務局長歸旅語る

林關東廳警務局長は通化危急の報により赴奉中であつたが三日午後八時大連着八田滿鐵副總裁、三宅前關東軍參謀長と會談後歸旅したが語る

通化方面の現狀は大體滿日の朝刊に出てゐる通りで興津副領事以下全部無事なる上于芷山司令と反軍首領との

交渉も 順調に進んでゐるやうだから遠からず全員を救出し得るものと思ふ、わが警官隊は今日も依然通化西北方三里の千五百米高地三源浦にあり、元氣旺盛で奉天からの待機命令に對し髀肉の嘆に堪へぬやうである然し警官隊の動作は地域的關係上森島總領事代理に委任した形であるから外交的手腕でこの目的が達せらるればそれに越したことはないわけであり軍でも及ぶだけの助力をなしつゝあるから近く良い結果が得られると思ふ、有本警務課長も現地に行くべく意氣込んでゐたが後方連絡はより以上重要だから

奉天に 留るやう慰留して置いた、尙特に一言したいことは

牡丹江占據 依田〇團、

今回の關東廳警官隊の通化派遣は某々方面からの求めに應じ圓滿なる協動同作のもとに行動をとりつゝあるものである

【ハルビン特電四日發】海林に到着した依田〇團は休む間もなく直に前進二日午後二時完全に牡丹江を占據した、同地にあつた劉萬海王德林の兵四千は戰はずして東方

「後藤伯との約束今果すのだ」 本間俊平翁けふ來連 船のサロンで語る

かつて德富蘆花氏や森鷗外博士等より「秋吉臺の聖者」として稱へられた本間俊平翁は四日入港あめりか丸で來連した、そのへり下つた生活と深い信仰ぶりに世の幾多の迷へる者のよきパイロットとして尊敬され、そのもつ教化の力はこの混沌たる世相に明るく反映してゐるが今回滿鐵地方部では奧地にあつて營々

現業 に勵む社員の爲め教化講演を乞ふ事となつたもので同翁をサロンにたづねると語る

滿洲には後藤伯とお約束をして是非一度はと思ひ乍ら延び〳〵になつて遂に今日になつた、全くの初めてだ、後藤伯とのお約束は何十年ぶりで實現したわけだ、滿鐵の御依賴によつて沿線の現業の人達に精神修養上の話をするんだそうだが總べてのプログラムは全然知らない、秋吉臺の方は家のものに任せて自分は一昨年の暮から神戶に出て更に約半年前から東京に居る、これは自分だけの考へだが大體こんな事をお話しようと思つてゐる、珍らしくも新しくもないが日本人の滿洲における心の置き所をよほど深い所に置かねばならぬ、一時の

金儲 や事業や大豆や山から金が出るなんてことに惑されることなく自分達の國が神武帝時

東部線反吉軍 露人を拉去

【ハルビン特電三日發】東部線における反吉林軍は退却に際してロシア人二十五名を拉致した、うち十七名は警察官他は東支從業員、商人その他で女教員一名も混つてゐる、その目的は不明であるが生死を氣遣はれてゐる

わが騎兵〇隊は戰壕所偵察のため牡丹江南方河岸に出動したところ對岸から一齊射擊を受け戰死二名負傷特務曹長以下二名を出した、尙依田〇團は牡丹江と海林に一部を殘し三日主力は衛古塔に入つた

宮長海の部隊 高力帽に蟠居

【ハルビン特電三日發】反吉軍中の荒武者と云はれてゐる宮長海は高力帽に蟠居し松花江を下つた我が〇〇〇部隊を襲擊せんとしきりに隙を狙つてゐるので我が第三戰隊は新甸に一個大隊五站に野砲〇門木隊にそれぞれ若干部隊を留き彼等に備へることゝなつた

四勇士の遺骨 昨夜長春到着

盤石黑石鎭において戰死した〇隊步兵軍曹齋藤鐵太郎以下四名の遺骨は三日午後九時四十分長春に到着した、因に敦化方面その後の情況は依然平穩ならずわが出動部隊は極力兵匪の掃蕩に努力してゐる【長春電話】

（寫眞は本間翁）

代九州四國と平定するにどんな苦勞があつたか、その骨折を、その苦しみを心として支那の人滿洲の人その他外の國の人に接したいものだ、滿洲の人達にも好い兄さん好い姉さんと云はれる樣な頼もしい心掛でやられればうそだ、こう云ふ苦しみをもたないで金儲をしやうなんて渡航する、即ち腰掛氣分は排したいこんな氣分は個人としても國家としても面白くない、今度は何日お世話になり何處に連れて行かれるか知らないが自分の信念に間違ひでもあれば敎へて頂くつもりだ、要するにこちらの人に滿洲の捨石となり埋草となり土臺石となる覺悟が必要である、こちらには大

同僚を弔ひつゝ たいん丸船員歸る 卅一名の淋しい歸國

たいん丸に乘組み沈沒の際辛ひにも生命を全うした船員三十一名は海員組合員、山下汽船代理店員、吉林丸乘組員その他多數の見送りを受けて五日午前十時出帆のばいかる丸に便乘、行方不明の五名の友人の身の上を思ひ、後に心を殘しつゝ神戶に向け旅立つた、三十一名は二等と三等に分乘してゐたが二等の一號室には行方不明の五名の姓名を書いた白木と唯一の遺留品であつた帽子とを正面に飾り線香を立てゝれんごろに弔つてあつた、船室に一同を訪ふと眼こそ眞新らしい作業服を身につけてゐたが一夜の休養も心の疲れをなほすに足らぬと見え、悄然し切つて顏色は尙蒼ざめてゐた

今日も亦霧が深いな、時化より霧が怖ろしいなア

とお互に顏を見合せて沈沒當時を思ひ出してゐる樣であつたが、一同は記者に對して交々語る

色々御世話になりまして、何とも御禮の申上げやうもありません、我々は一先づ神戶の本社に歸ることになりました、船長、水夫長、火夫長の三人が糸崎丸で現地に再び向ひましたが、どうせもう駄目だと思つて、我々は船中でも五名の同僚の靈を慰めて行きます、三十五名も助かつて五名だけが未だに行方不明だなんて、こんな淋しいことはありません、せめて死體だけでも早く見つかればよいと思つてゐます、貴紙から御心配をかけた市民諸氏によろしく御傳へ下さい

吉林丸又御難 沖に流されて

なほ艱難の際腰部に打撲傷を負ふた淸水一雄氏は腰骨突起を三個所折つてゐるため、當分大連醫院に入院加療することゝなつた

ガスの爲衝突した吉林丸は三日入港、直に寺兒溝危險棧橋に繫留積載の石油橫卸作業を行つたが三日夜の强風の爲ロープが外れするずると引づられて沖に流され一時は大騒ぎを演じた

黑石礁に溺死體 一見會社員風の邦人

四日午前九時ごろ黑石礁滿鐵水泳場西方約十三丁の海岸に年齡三十五六歲の日本人溺死體が漂着してゐるのを通行人が發見、沙河口署に屆出でた、同署では熊谷司法主任竹澤警醫その他係員急行檢視した結果、死體は死後約一ケ月を經て全身腐爛し鼠色のジャケツの上に富士絹のワイシヤツ、黑のネクタイ、左手に八型金側時計を着け一見會社員風の男であるが外傷なく他殺の疑ひはなきも投身自殺者らしく身許不明のため目下同署では調査中

飛行學校機 淺川で墜落

【所澤四日發】所澤飛行學校學生權山初兒(二三)は今朝七時甲式四型戰鬪機六百四十五號を操縱僚機七機と共に各務ヶ原に向ふ途中七時

橫山軍曹慘死

【東京四日發】所澤飛行學校三十九期學生橫山初兒軍曹は四日午前七時十分甲式四型戰鬪機を操縱各務ヶ原に向ふ途中淺川驛東方畑地に墜落慘死した

半頃淺川驛（中央線）東方畑地に墜落した

文字組合 當選者

去る三月三十一日の本紙上で大連に於ける信用ある著名な會社商店を紹介し、この廣告中に新春の懸賞として、文字組合懸賞募集を發表した所、例然讀者の多大なる人氣を呼んで遠く內地各地方よりも續々と解答のはがきが殺到してその總數は實に八千四百二十三名の多數に達した、本社は係員に於て嚴正公平なる抽籤の結果左の通り當選者を決定した、賞品は大連市內は本社に於て直接本人に交付するから六日午前中に受取られたく、又沿線及內地方面の當選者へは各々郵送することにした

▲一等　大連市榮町二ノ二七、松尾壽夫

▲二等　大連市聖德街一ノ三四八松下正雄

▲三等　大連市能登町二一、松本元一△沙河口大正通七二、大谷百井壽々代△旅順市鮫島町六、耕△乃木町十一ノ廿七、福田幸子△彌生町三八、戶田方山崎春治△大連市北大山通八ノ十三、佐藤俊雄△敷島町六八、加藤和子△近江町五十二、新井敏雅△大連沙河口元町二二三、濱崎幸△同白雲町三、安田ゆき△長春郵便局電信、高田守△鞍嶺線道西、村田太鶴△公主嶺櫻町一ノ二、正隆銀行內緒方テル子△普蘭店平安街二三、橋和則△鹿兒島縣姶良郡重富町、鶴木洋服店△北海道室蘭市榮町一八、渡邊覺一郎△奉天松島町一五、松澤忠△奉天霞町十六、河田富久子△市內周水子小野田セメント、金森峰雄△遼陽白塔寮四九、增田勇二△混成四旅團步兵第五聯隊五中隊、飯田雄次郎

石油關係者の 視察團來滿

四日入港あめりか丸で關西石油會社、山陽石油會社合同になる滿鮮視察團一行二十名が來連した、一行を代表して伊藤藤吉氏は語る

商用上の視察が主なるもので新興國滿洲の需給關係をよく見ておきたいと思つてゐる、今日のうちに旅順を見て北上する氣だが特に滿鐵が力を入れてをられる撫順のオイルセイル事業については出來る丈充分視察する氣だ

自動車と衝突

四日午前九時ごろ市內聖德街五丁目一二番地先十字路で同所に來合せた鑑山町二二山田灘太郎の操縱する自動車と市內信濃町一三五木村パン店員王智興(二)の自轉車が出會頭に側面衝突し王智興は車上より跳飛ばされて左手骨折、頭部を强打して田邊病院に收容された

カフエーの日本間廢止 斷行に決定

カフエーの風紀淨化を目的とする日本間撤廢問題は屢々所轄署から營業者に內命を下してゐるが、その都度延期願が出され容易に實現を見なかつたが、大連署ではいよ〳〵七月二十日限りをもつて斷然撤廢さすことゝなり三日管內營業者に嚴達するところあつた

不正事件の保田に營業取消

大連警察署では軍用トラック不正事件として目下軍法會議に附されてゐる市內越後町二四番地保田元三郎に對しトラック營業權の取消處分を行つた

竹內滿新支社長

滿洲新報大連支社長竹內垣造氏は一昨春左眼失明以來兇角執筆に不自由を感じて居たが、今回同社と諒解の上圓滿引退四日退任挨拶の爲め市內各方面を歷訪した、尙ほ同氏は在連二十三年この倦まざる日々の健筆ぶりに對しては知友間から深い敬意を拂はれて居た、今後は電氣遊園內の木魚庵で悠々自適すると

旅順重砲隊 記念式延期

四日擧行の筈であつた旅順重砲兵大隊の記念式典は雨天のため延期し六日改めて一層盛大に行ふことゝなつたが同隊では四日不參の方も六日は是非萬障繰り合せ出席を希望してゐる

刀劍座談會

五日午後三時半尙武の節句に大連刀劍同好會では西公園甫南華園にて刀劍に關する座談會と珍藏の試斬を行ひ觀櫻の宴を催すと

本社見學

撫順永安臺常小學校兒童百九十七名は島巣訓導引率、公主嶺尋常小學校六年生三十七名は山本、大塚兩訓導引率の下に四日午前中夫々本社を見學した

北西の風（曇）後晴　五日

各地溫度（四日午前十一時）

	最	三日 低
大連	一一、一	九、八
旅順	八、〇	一〇、六
營口	六、四	七、三
奉天	七、五	八、三
長春	八、五	二、九

けふの小洋相場（正午）金百圓は一七九圓二五錢

夢のやうな花にけむる春雨

花に煙むる春雨は夢のやうに美しい、點々としてゆき交ふ蛇の目傘の姿も一入春の情趣を添へてくれる、降りはじめた三日の夜半ごろは雨勢や、强く風さへ加はつて滿開の一番咲きを無殘にふき散らしたが、穩なく霧のやうなやさしい春雨に甦つた、萌えるやうな若葉もこの雨でグリーンの濃度を增すだらう、馬ケ灘、老虎灘の櫻もいよ〳〵次の日曜日は一齊に滿開の美を競ふことになるであらう【寫眞は四日正午大廣場で寫す】

本社懸賞

滿蒙維新の歌 佳作歌詞（上） 嚴選を經た五篇

園山艮之助作

（一）
瑞雲の空はてもなき
大地の彼方陽は出でぬ。
歡喜にもゆる民草は
三千餘萬手をとりて
いざ賑かに建國の
今日の維新を頌えつゝ。

（二）
軍閥の群打倒しぬ。
平和の女神下り立たし
惠みも深き王道に
陶虞の御代は復古して
誇れ腔腸護花の□

（三）
義軍迎へて大同の
契ひは堅し鵬のごと
國と國との交りは
いよ〳〵厚く東西の
うましき文化を八千草の
花と咲かせんこの國土。

（四）
解放の日よ民の日よ
自由の國は築かれぬ。
忠實業にはげみつゝ
就職□を治めなん。
□しからずや、新國旗
□の風にひらめく日。

五色の旗を靡ずらん。

（五）
瑞雲棚引たり、紀瑞々
日月光華、旦復旦。
滿洲國の名を負ひて
年は大同春たちぬ。
謳めよ、我等の平和の地。
うたへわれらの地の樂土。

吉田不二男作

（一）
あゝ黎明は輝けり
張家二代の暴戾に
三千萬の民衆の
呪ひの雲は閉されし
滿洲野の山河朗かに
平和の鐘は高鳴りつ。

（二）
待望の日は來りたり
五族協和の理想樂
古聖の道に勵みて
文化の華を開くべく
重き使命を胸にして
滿洲野の民に歡喜あり。

（三）
見よ滿新の氣は燃えて
三千萬の民衆の
高鳴る新滿創業の
基礎は成りぬ滿洲の國
五色の旗の燦として
樂土よ永久に光あれ。

（四）
東風囀ぶ興安に
開拓の斧振ふとき
驟洋千里蒙古路に
長城の月仰ぎつゝ
勢力の汗を讓ふとき
平和の民に榮あれ。

（五）
風雲謡むる東に
歷史聲ある大日本
同文同種共榮の
堅き盟ひの友として
滿洲野の民よ諸共に
永久に守らむ平和境。

武門血笑記（134）

下村悅夫作　布施長春挿畫

女郎蜘蛛（三）

「お蔦、久しぶりぢや」

源之丞はお蔦の枕頭に坐ると、その纐纈の襟からはみ出してゐる片つ方の目で、凝乎とお蔦の顔を見下ろした。

「其のお顔は？」

お蔦は聞きたいと思ふ事を眞先に云つた。

「怪我をしたのぢや」

源之丞は冷たい笑ひを口許に浮べて答へた。

「ひどく？」

「いや」

源之丞は軽く打ち消して

「それよりも、お前、何かあつたさうで」

「…………」

お蔦は無言で、源之丞の目を見返しながら、その蒼ざめた顔をこつくりさせたが、直ぐ

「よく來て下さいましたのね、妾……」

と、眼をしばたゝきながら

「會ひたかつた！」

と、少女のやうにぽつと顔を赧めた。

二人とも、心の中で、云ひたいことが、先を爭ふやうに縺れてゐた。その癖、二人とも、何かを憚るやうに、ぢつと顔を見合はしたまゝ、默つてゐた。

「白須賀の宿で、陣野を撃つたのはお前だつたのか」

暫くして、源之丞が、口を切つた。

お蔦は無言で頷いた。

「あれから、ずつと此方に？」

だが、お蔦は、源之丞のさうした言葉に答へないで、不意に

「源之丞さん！」

と、息を喘ませながら、その嫋やかな手を源之丞の膝頭に乘せて

「妾を連れて逃げて下さい」

と、ぐつと指の先に力を入れて搖つた。

「逃げて呉れい？」

「えゝ、妾もうこんな暮しが嫌で嫌で堪らないの、それに此頃何だかすさが廻つたやうな氣がして……」

お蔦はぢれつたさうに、その美しい眉を顰めた。

が、源之丞は、無言で腕組をしたまゝ、凝然とお蔦の顔を見下してゐた。

「眠？、妾がこんな身體では？」

「眠ではないが」

「では、何故」

「今宵にもか？」

「ええ」

二人は、また無言で探るやうに眼を見合せた。

と、その折り、づかづかと這入つて來た八公

「へえ、お屋敷から御手紙が參りました。急ぎの御用ださうで、直ぐ御覧になるやうに、と云ふ事で」

と、獨りで喋りながら、お蔦の枕頭へ一通の手紙を置いた。

「で、使の者は？」

面倒臭さうなお蔦の口調だ。

「玄關で待つてゐます。おつと明りをつけなけりや」

と、八公急に氣が付いたやうに部屋の隅から行燈を持ち出して火を入れる。

「源之丞さん、見て下さい」

「ふむ」

源之丞は苦笑ひをしながら、手紙を取り上げて封を切つた。

（前略此手紙被見次第使の者と同道にて町駕籠を雇ひ當屋敷に罷り越す可く候

お豐どの　主膳）

と、源之丞が讀み終ると

「へん、馬鹿にしてるわ、八助、どうでもいゝから使の者を歸してしまひな！」

お蔦はけんもほろろの調子で云つた。

龍の娘

早川雪洲主演　映樂館上映

「フー・マンチユー博士の秘書」及び「續フー・マンチユー博士」の續篇で、原作は前二篇と同じくサックス・ローマーの作、監督は「青春倶樂部」のロイド・コリガンで、主演は唯一の支那女優アンナ・メイ・ウォング、前二篇でフウマンチユー博士になつたワーナー・オーランド、及び早川雪洲で、ズラムウエル・フレッチャー・フランセス・デードが助演しこの間物故したジョージ桑も一寸顔を出す

物語りは、死んだものと思はれてゐた復讐鬼フー・マンチユー博士（ワーナー・オーランド）が二十年後のロンドンに再び姿を現はし二十年前彼の毒牙を逃れたサー・ジョン・ピートリーを毒煙草で殺害する處より始るフー博士出現の報にピートリー邸に馳せつけた警視廳の支那人探偵アー・キー（早川雪洲）は拳銃でフー博士を狙撃し重傷を負はせる、そしてフー博士は娘でロンドンの女王と噂されてゐる女優リン・モイ（アンナ・メイウォン）の下に逃れ歸り、ピートリーの一人息子ロナルドを殺すことを誓はせて瞑目する、その後リン・モイとアー・キーの間に物凄い競爭が行はれるが、最後にリン・モイはアー・キーの彈丸に倒れアー・キーも死んで、怖ろしい龍の呪縛が破れて行く

この映畫の持つ吸引力は場面々々の獵奇的な點にある、この獵奇的だと云ふことを除けば、ストオリイも演出も演技も、昔流行した冒險映畫を音畫化したものでしかない、トーキーとしては割合に效果を上げてゐる、殊に度々用ひられてゐる神秘的なドラの音はこの映畫の獵奇趣味をいやが上に煽つてゐる、又死んだフー博士の聲が聞えて來る處等もトーキーなるが故に出て來る面白味だ、映畫としてはロイド・コリガンの監督よりもヴイクター・ミルナーのキヤメリに感心させられる點が多い

俳優ではワーナー・オーランドよりもアンナ・メイ・ウォンと早川雪洲が中心であるが、無理にミステリアスならんとした演技振りと大時代がかつて些か氣になる、しかし二人とも會話は豫想してゐた程ギゴチなくないオーランドは例の如く、ジョージ桑のエキストラ振りは淋しい早川雪洲主演のトーキーとして觀客には喜ばれるだらう、例によつて適度に邦人タイトルが挿入されてゐる（映樂館にて上映）

◇令嬢と與太者◇ 蒲田得意のナンセンス映畫、野村浩將監督作品で、結城一郎、井上雪子、若水照子、磯野秋雄、三井秀男助演「丁髷便衣隊」（小泉嘉輔、大林梅子主演）と共に中央館にて上映【寫眞は結城[illegible]】

滿洲法政學院　十周年記念　模擬裁判を實演

滿洲法政學院同窓會及學友會主催に係る同校創立十周年記念の模擬裁判「カフエー女給殺し」實演は五日午後七時から協和會館で開催するがその概要及び役割は左の如くであると

▲概要　京城帝國大學を卒業した白神一男は朝鮮都督府鐵道部技手を辭して大連市櫻花臺に轉地靜養し愛妻艶子を連鎖街カフエー日輪に女給として働かせ辛うじて生活を續けて居つた、月日の經つに從ひ妻の素行に疑を懷いた彼は苦惱の結果より逃れん爲め寧ろ愛妻を殺害し愛兒を道連れに自殺せんとしたが遂に未遂に終つた

▲役割　被告人白神一男（友田莞爾卒業生）裁判長小野實雄（講師）檢察官長吉三郎（講師）陪席判官立川增吉（卒業生）同村上英壽（在校生）書記田中通德（卒業生）辯護人木原鐵之助（講師）同大波多其一（卒業生）同山路德松（卒業生）證人白神艶子（カフエー日輪女給重美）同有馬惣吉（政本秀治郎卒業生）

川畑靜子一行　萬歳と舞踊　五日より大劇で

東京淺草を出發點として各地巡業中の舞踊と萬歳川畑靜子、杉本松月、東雲立坊一行五十餘名は大連劇場にて五月五日初日にて開演する事と決定したが重なる演藝は萬歳、舞踊、少女の演藝、コミック七變化等入場料は特別の大勉強にて五十錢均一であると

トリック專用の　ステーヂ建設

新興キネマが嵐山に

新興キネマではトリック方法に新しい道を開くべく豫てより研究中であつたが愈々これが成案を得てトリック專用のステーヂを嵐山に建設する事となつた鐵骨總建坪五十坪のもので五月早々工事に着手することは特殊の設計になるホリゾントライト設備は勿論モデルワークに必要な一切の設備が設置される筈でこのステーヂに依り始めてモデルワークとカメラワークその他のトリック技巧を綜合した所謂複合トリック撮影が可能となるわけである

噂話

大日活の長御大が今日の定期船で歸つて來たがお土産話はと聞くと「まあ見てゐて下ッせ……」と例の如くニヤツイてゐるが▲長氏の話しによると新興の立花氏は五日に京城に到着し、同地から飛行機で來連するとのこと▲立花氏も色々計畫してゐるさうだが、その内容に關しては長氏曰く「まあ見てゐて下ッせ……」▲但し妻三郎の同件は全然誤傳で妻三郎は「成吉斯汗」のロケのため本月末頃來連するかも知れぬと